

盛岡地区
救急医療体制
のあゆみ

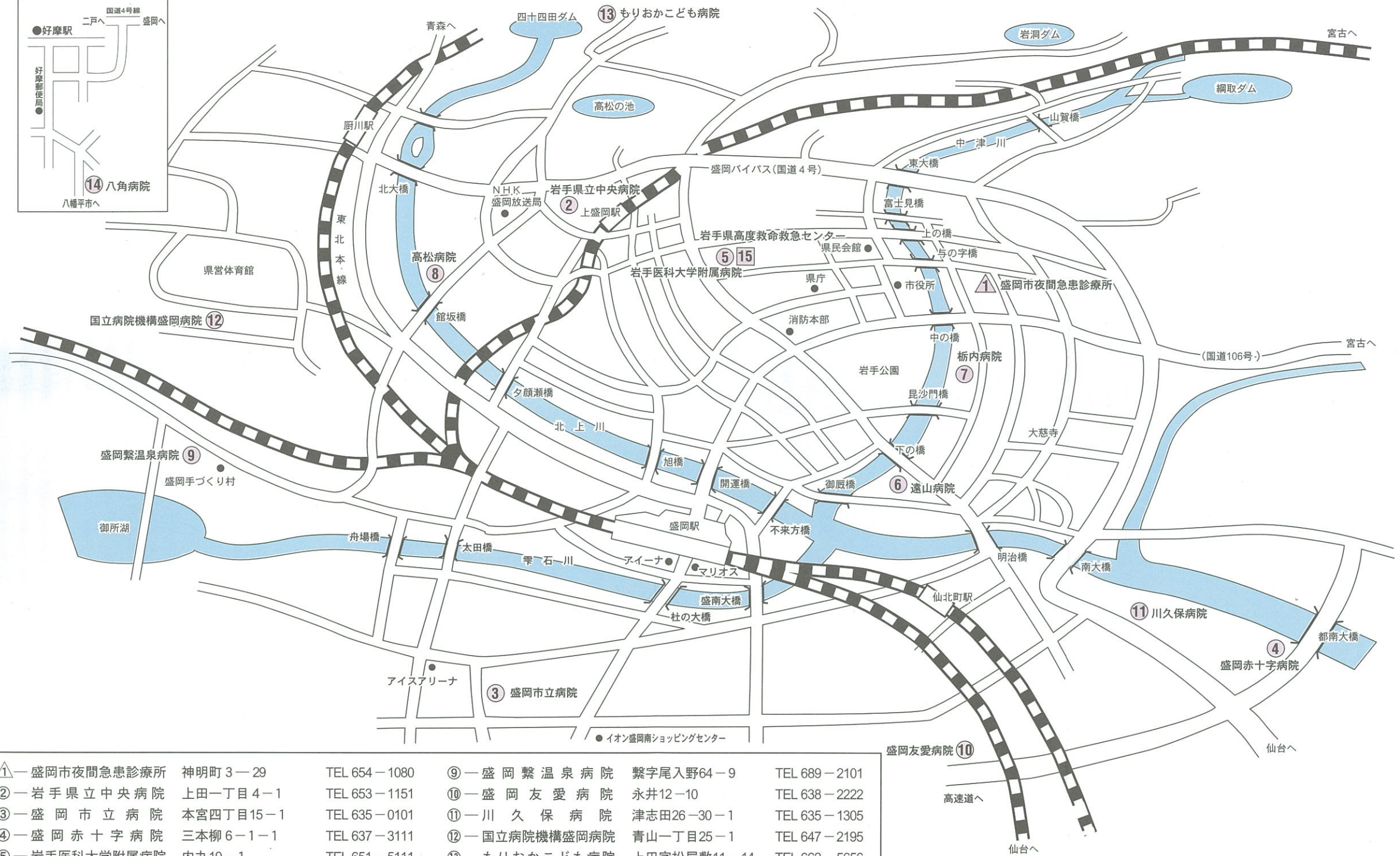
2016

盛 岡 市

盛 岡 市 医 師 会

盛岡地区二次救急医療対策委員会

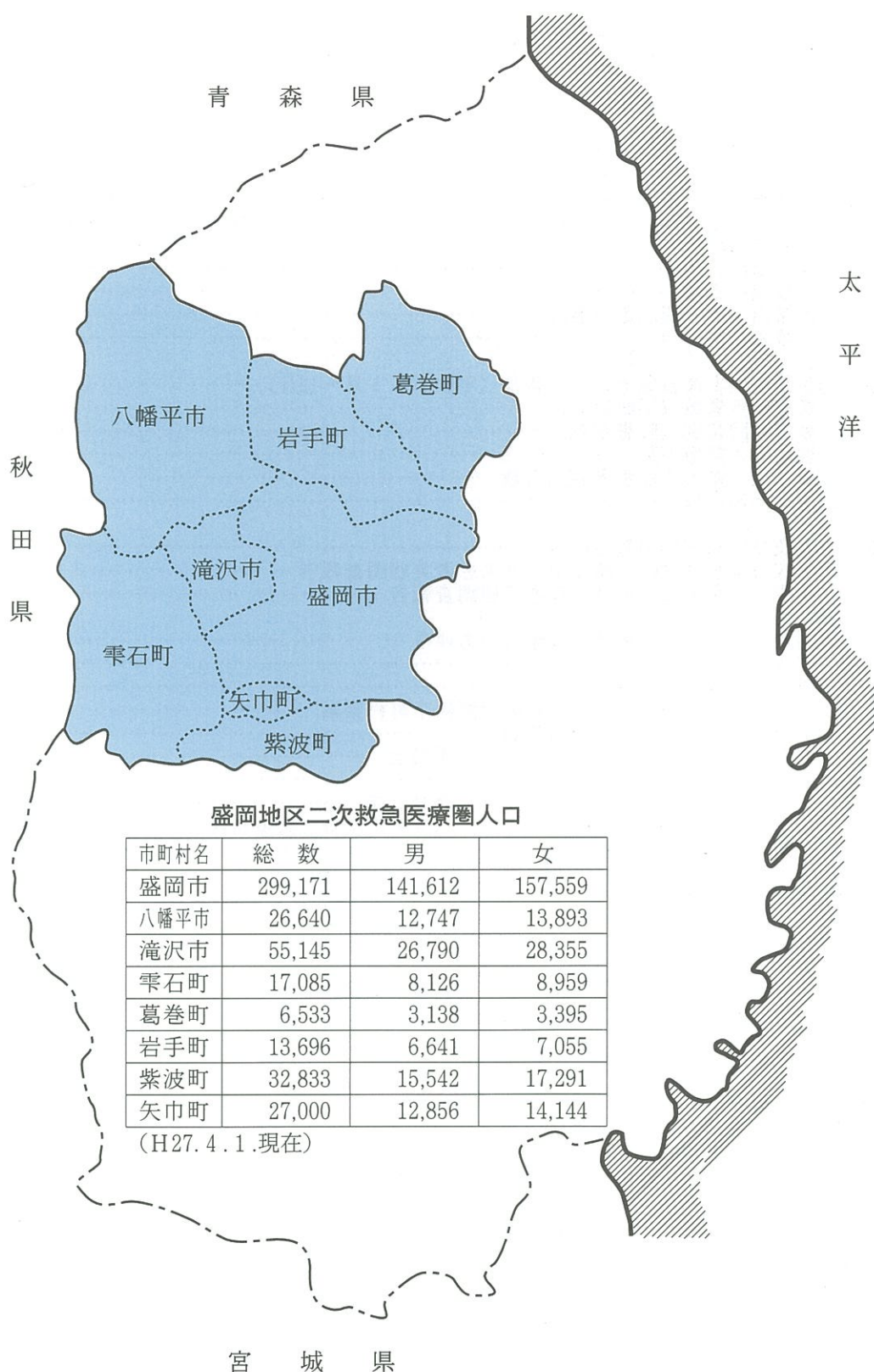
盛岡地区救急医療施設配置図



- | | | | | | |
|--------------|-----------|--------------|-----------------|--------------|--------------|
| ①—盛岡市夜間急患診療所 | 神明町3-29 | TEL 654-1080 | ⑨—盛岡繋温泉病院 | 繋字尾入野64-9 | TEL 689-2101 |
| ②—岩手県立中央病院 | 上田一丁目4-1 | TEL 653-1151 | ⑩—盛岡友愛病院 | 永井12-10 | TEL 638-2222 |
| ③—盛岡市立病院 | 本宮四丁目15-1 | TEL 635-0101 | ⑪—川久保病院 | 津志田26-30-1 | TEL 635-1305 |
| ④—盛岡赤十字病院 | 三本柳6-1-1 | TEL 637-3111 | ⑫—国立病院機構盛岡病院 | 青山一丁目25-1 | TEL 647-2195 |
| ⑤—岩手医科大学附属病院 | 内丸19-1 | TEL 651-5111 | ⑬—もりおかこども病院 | 上田字松屋敷11-14 | TEL 662-5656 |
| ⑥—遠山病院 | 下ノ橋町6-4 | TEL 651-2111 | ⑭—八角病院 | 好摩字夏間木70-190 | TEL 682-0201 |
| ⑦—栃内病院 | 肴町2-28 | TEL 623-1316 | ⑮—岩手県高度救命救急センター | 内丸19-1 | TEL 651-5111 |
| ⑧—高松病院 | 館向町4-8 | TEL 624-2250 | | | |

盛岡地区二次救急医療圏

(2市5町1村)



盛岡地区二次救急医療圏人口

市町村名	総数	男	女
盛岡市	299,171	141,612	157,559
八幡平市	26,640	12,747	13,893
滝沢市	55,145	26,790	28,355
雫石町	17,085	8,126	8,959
葛巻町	6,533	3,138	3,395
岩手町	13,696	6,641	7,055
紫波町	32,833	15,542	17,291
矢巾町	27,000	12,856	14,144

(H27.4.1.現在)

目 次

序	盛岡市医師会会長 盛岡地区二次救急医療対策委員会委員長	和 田 利 彦 …	5
挨拶	盛岡地区広域消防組合消防本部 消防長	吉 田 秀 次 …	6
I	盛岡市夜間急患診療所39年目のあゆみ ……		7
1.	実態報告 ……		7
2.	経過報告・決算・予算 ……		11
3.	診療所日誌から ……		12
4.	診療所の現状 ……		17
①	出勤医名簿 ……		17
②	役職員名簿 ……		21
5.	運営協議会・薬品選定会議 ……		22
6.	従事者打合せ会 ……		24
II	岩手県高度救命救急センター報告（平成27年1月～12月） ……		27
1.	疾病別患者数（平成27年） ……		28
2.	来院時間帯別入院患者数 ……		29
3.	地域別入院患者数 ……		29
4.	搬入先・搬入方法別入院患者数 ……		30
5.	主な手術件数 ……		30
III	お盆及び年末年始の救急医療 ……		31
1.	平成27年度お盆休み期間中の外来患者実態調査報告 ……		31
2.	平成27年度年末年始外来患者実態調査報告 ……		36
IV	盛岡地区二次救急医療体制36年目のあゆみ ……		43
1.	実態報告 ……		43
2.	経過報告 ……		91
3.	平成27年度盛岡地区二次救急医療関係市町村会議 ……		92
4.	盛岡地区二次救急医療対策委員会 ……		93
5.	盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会 ……		98
6.	第12回盛岡救急医療人のつどい ……		100
7.	盛岡市医師会・盛岡市保健福祉部打合せ会議 ……		102
8.	第33回救急医療学術講演会（初期・二次・高次救急医療研修会） ……		105
9.	二次救急医療病院事務長会議 ……		106
10.	平成27年度盛岡市総合防災訓練 ……		109
11.	岩手県小児救急電話相談事業実績報告（平成27年1月から12月までのまとめ） ……		116
V	東日本大震災関連 ……		122
1.	岩手県医師会立高田診療所診療応援医師一覧 …… （盛岡市医師会・岩手郡医師会・紫波郡医師会：平成27年1月～平成28年3月分）		122
2.	岩手県医師会立高田診療所が平成28年3月20日で閉所 ……		127
VI	救急医療年譜 ……		129
VII	規定・協定書及び設置要項等資料 ……		131
1.	盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則 ……		131
2.	災害時の医療救護活動に関する協定書 ……		132
①	岩手県と岩手県医師会との協定書 ……		133
②	岩手県医師会と盛岡市医師会との協定書 ……		135
③	盛岡市と盛岡市医師会との協定書 ……		137
3.	盛岡地区二次救急医療対策委員会設置要項 ……		139
VIII	編集後記 ……		141



「盛岡地区救急医療体制のあゆみ」 2016の発刊にあたって

盛岡市医会会長
盛岡地区二次救急医療対策委員会委員長
和田利彦

「あゆみ2016」発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

盛岡地区救急医療体制のあゆみは、昭和51年に「夜間急患診療所」が開設、昭和54年に「盛岡地区二次救急医療体制」の運用が開始、昭和55年に「高次救急センター」が開設、さらに平成24年5月よりドクターヘリの本格運行が開始されました。盛岡医療圏の初期、二次救急のみならず、岩手県全域の住民のために貢献されてきました。これまで、救急医療に関わってこられました全ての関係者に心より感謝申し上げます。

平成23年3月11日の東日本大震災から5年5ヶ月が経ちました。被災された全ての関係者に改めてお見舞い申し上げます。

今回の「あゆみ2016」は、盛岡市夜間急患診療所39年目のあゆみ、岩手県高度救命救急センター報告、盛岡地区二次救急医療体制36年目のあゆみなど従来の報告に加えて、東日本大震災における盛岡地区医療圏の対応についても記載し、記録を残すことに致しました。岩手県医師会高田診療所への医療支援は、本年3月20日に閉所致しましたが、被災地等への医療支援に参加された先生方、事務局をはじめ全ての関係者に感謝申し上げます。

30年以上になる盛岡地区救急医療体制のあゆみは、様々な課題を乗り越え全国的にも恵まれた状況の中、運営されて参りました。皆様のご支援により、盛岡市夜間急患診療所は今年40周年を迎えることができ、大変喜ばしく思います。今後も、盛岡医療圏住民の健康を守るために努力を続けてまいりたいと存じますので、より一層のご協力をお願い申し上げます。



「盛岡地区救急医療体制 のあゆみ－2016－」に寄せて

盛岡地区広域消防組合

消防長 吉 田 秀 次

「盛岡地区救急医療体制のあゆみ－2016－」の発刊に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃から当消防本部の救急業務の円滑な推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

全国的に救急車の病院収容時間が延伸するなか、盛岡地区の救急医療体制につきましては、盛岡市医師会、岩手西北医師会、紫波郡医師会及び関係医療機関のご尽力により、初期救急医療、二次救急医療及び三次救急医療の体制が確立されるとともに、二次救急病院や小児救急病院の輪番体制が定着し、救急医療が円滑に行われておりますことに対しまして、深く感謝申し上げます。

また、平成28年4月に発生した熊本地震では、いち早く本県のDMAT等が現地で活動されるなど、5年前の東日本大震災で全国から支援を受けた被災県との関係者として、誇らしく胸が熱くなりました。関係各位に心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、平成28年6月1日から盛岡中央消防署の庁舎が盛岡駅西通に移転し、また、同時に「岩手県中央消防指令センター」の運用を開始いたしました。この指令センターは、複雑多様化する各種災害に対して、迅速な出動指令、現場活動の支援等を行うため、高機能消防指令システムを備えたもので、盛岡地区広域消防組合、奥州金ヶ崎行政事務組合及び北上地区消防組合の3消防本部が共同で整備しました。岩手県中央地域の5市7町の各種災害に対応するもので、管轄内からの119番通報のすべてを受信し、通報内容等から、迅速に災害発生場所と災害種別を決定して出動部隊の編成と出動指令を行います。管轄人口約70万人、年間約24,000件の通報に対応し、年々増加する救急出動事案では、現場到着時間の短縮と的確な現場活動を実現させ、住民の生命・身体・財産を守る決意であります。

救急業務は、年々より高度な知識や技術が求められてきており、当消防本部といたしましては、プレホスピタルケアの充実と社会的な要請に応えるため、なお一層の関係医療機関のご理解とご協力をいただきながら救急業務の高度化に積極的に取り組んでまいります。

さらに、救命率の向上を図るため、住民がより受講しやすいように講習の追加を図るなど、AEDの使用を含む心肺蘇生法等の普及啓発を積極的に推進してまいります。

結びに、引き続き、救急隊員に対するより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、盛岡市医師会のますますのご発展と皆様方の更なるご活躍をお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。

I 盛岡市夜間急患診療所

39年目のあゆみ

1. 実態報告

盛岡市夜間急患診療所運営協議会委員（盛岡市医師会）

和田利彦・金子博純・本間博

金濱誠己・久保田公宜・小林有一

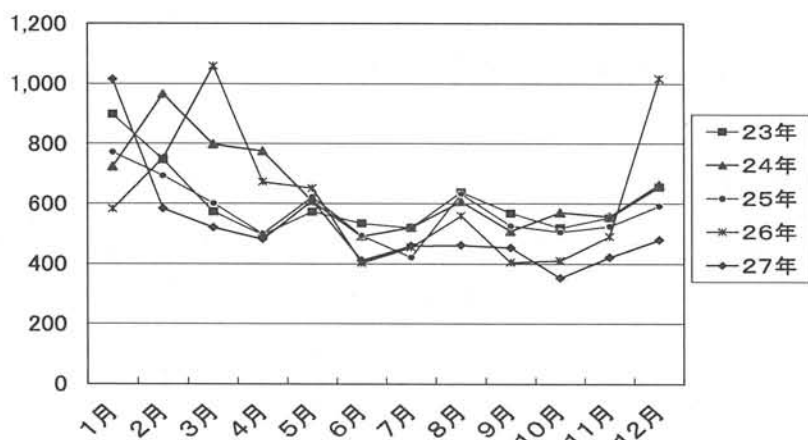
三浦義孝・吉田研一

盛岡市夜間急患診療所運営協議会事務局

図1 過去5年間の月別患者分布

(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	一日平均
23年	898	746	573	495	573	534	519	638	568	519	553	655	7,271	19.9
24年	723	965	797	775	607	491	520	607	508	570	557	663	7,783	21.3
25年	771	693	601	499	622	493	421	632	526	505	524	592	6,879	18.8
26年	582	751	1,058	672	651	402	454	559	404	410	490	1,016	7,449	20.4
27年	1,014	583	520	481	610	410	459	461	453	352	421	479	6,243	17.1



表(1) 患者総数及び科別実績

(人)

月		27年												合計	比率 (%)	前年 実績	増減
区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
患者総数 (一日患者数)		1014 (32.7)	583 (20.8)	520 (16.8)	481 (16.0)	610 (19.7)	410 (13.7)	459 (14.8)	461 (14.9)	453 (15.1)	352 (11.4)	421 (14.0)	479 (15.5)	6,243 (17.1)	100.0	7,449 (20.4)	△ 1,206 (△ 3.3)
科 別	内 科	554 (17.9)	237 (8.5)	215 (6.9)	186 (6.2)	223 (7.2)	140 (4.7)	143 (4.6)	143 (4.6)	159 (5.3)	127 (4.1)	133 (4.4)	180 (5.8)	2,440 (6.7)	39.1	2,715 (7.4)	△ 275 (△ 0.8)
	小児科	460 (14.8)	346 (12.4)	305 (9.8)	295 (9.8)	387 (12.5)	270 (9.0)	316 (10.2)	318 (10.3)	294 (9.8)	225 (7.3)	288 (9.6)	299 (9.6)	3,803 (10.4)	60.9	4,734 (13.0)	△ 931 (△ 2.6)

- ・患者総数は6,243人で前年より1,206人の減。
- ・一日の患者数は平均17.1人。年間を通じては1月が最も多かった。
- ・内科と小児科との利用割合は、内科39.1%、小児科60.9%。患者の約6割が小児科で占められている。

表（２）年齢別患者分布

(人)

年齢	月	27年												合計	比率 (%)	前年 実績	増減
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
年 別	0	33	23	22	41	45	39	48	40	28	27	27	31	404	6.5	462	△ 58
	1～5	249	159	169	171	205	160	174	184	171	123	189	180	2,134	34.2	2,498	△ 364
	6～12	123	126	102	71	116	59	77	79	81	56	61	77	1,028	16.5	1,477	△ 449
	13～15	50	42	12	32	24	13	23	17	14	21	15	14	277	4.4	344	△ 67
	16～24	122	55	38	54	49	38	25	39	44	38	22	46	570	9.1	579	△ 9
	25～34	140	53	61	38	56	35	41	38	41	27	34	66	630	10.1	710	△ 80
	35～44	123	56	58	27	52	19	26	16	34	29	34	28	502	8.0	635	△ 133
	45～54	79	33	28	19	28	18	21	18	19	9	21	18	311	5.0	373	△ 62
	55～64	47	18	14	8	17	11	13	10	9	12	6	8	173	2.8	170	3
	65～74	25	9	7	11	11	6	4	10	7	3	6	6	105	1.7	103	2
	75～	23	9	9	9	7	12	7	10	5	7	6	5	109	1.7	98	11
	計													6,243	100.0	7,449	△ 1,206

・年齢別では、1～5歳児が最も多く、全体の34.2%を占めている。

表（３）地域別患者分布

(人)

地域	月	27年												合計	比率 (%)	前年 実績	増減
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
地 域 別	盛岡市	790	438	391	362	448	307	358	346	331	270	315	351	4,707	75.4	5,656	△ 949
	雫石町	20	8	7	6	15	8	4	6	8	6	4	10	102	1.6	139	△ 37
	葛巻町	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0.0	0	3
	岩手町	4	5	0	3	1	1	7	2	2	3	2	2	32	0.5	27	5
	八幡平市	9	8	6	8	9	8	9	9	4	0	10	8	88	1.4	92	△ 4
	滝沢市	71	47	50	47	54	45	31	30	38	28	39	43	523	8.4	651	△ 128
	紫波町	25	22	18	23	24	17	23	14	23	14	18	13	234	3.7	315	△ 81
	矢巾町	38	33	29	15	28	11	9	11	36	20	20	26	276	4.4	279	△ 3
	その他の県内	23	11	6	9	7	4	5	6	4	9	8	11	103	1.6	115	△ 12
	県外	34	10	13	7	24	8	13	37	7	2	5	15	175	2.8	175	0
	計													6,243	100.0	7,449	△ 1,206

- ・地域別で1番多いのは盛岡市の4,707人（全体比75.4%）。前年より949人減。
- ・盛岡市に次いで2番目に多いのは滝沢市の523人（同8.4%）、3番目が矢巾町の276人（4.4%）。

表（４）曜日別患者分布

(人)

曜日		月	27年													合計	比率 (%)	前年 実績	増減
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
曜日別	月	103	66	63	62	68	65	53	56	72	37	67	57	769	12.3	929	△ 160		
	火	73	72	52	62	73	42	57	39	62	42	49	77	700	11.2	909	△ 209		
	水	103	73	57	74	76	49	76	69	64	45	48	88	822	13.2	933	△ 111		
	木	161	76	59	78	73	49	64	65	50	52	48	66	841	13.5	903	△ 62		
	金	156	50	64	48	74	45	61	53	41	63	36	41	732	11.7	828	△ 96		
	土	244	135	108	85	130	86	69	91	90	67	77	86	1,268	20.3	1,572	△ 304		
	日	174	111	117	72	116	74	79	88	74	46	96	64	1,111	17.8	1,375	△ 264		
計														6,243	100.0	7,449	△ 1,206		

・曜日別では、土・日曜が多くなっており、合わせて38.1%を占めている。

表（５）時間帯別患者分布

(人)

時間帯		月 27年												合計	比率 (%)	前年 実績	増減
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
時間 帯 別	午後7:00~	514	269	213	207	276	177	187	207	201	149	198	210	2,808	45.0	3,383	△ 575
	午後8:00~	228	141	153	120	174	108	134	129	124	110	108	103	1,632	26.1	1,954	△ 322
	午後9:00~	186	107	104	96	99	78	83	74	84	64	70	112	1,157	18.5	1,445	△ 288
	午後10:00~	83	66	50	57	61	47	53	51	44	29	45	54	640	10.3	651	△ 11
	午後11:00~	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	6	0.1	16	△ 10
計														6,243	100.0	7,449	△ 1,206

・時間帯別では、午後7:00～9:00までが多く、7割を占めている。

表（６）時間帯別有救急度患者分布

(人)

時間帯		月 27年												合計	比率 (%)	前年 実績	増減
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
時間 帯 別	午後7:00~	103	57	42	30	51	28	33	37	38	16	17	30	482	45.2	587	△ 105
	午後8:00~	42	24	26	13	33	20	14	20	13	15	16	16	252	23.6	325	△ 73
	午後9:00~	38	24	19	13	19	16	11	17	12	8	12	24	213	20.0	270	△ 57
	午後10:00~	19	16	9	10	12	5	9	11	6	3	8	9	117	11.0	109	8
	午後11:00~	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	3	△ 1
計														1,066	100.0	1,294	△ 228

・有救急度患者は患者全体の17.1%を占め、時間帯別では、午後7:00～8:00までが多く、45.2%を占めている。

表（７）その他事項別人数

(人)

事項	月	27年													合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
電話問合	医師指導	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	6	0.2	2	4	
	看護師等助言	372	248	211	212	310	213	259	243	236	202	244	210	2,960	96.1	3,245	△ 285	
救急車搬入		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	
二次救急転送		8	6	10	10	15	7	13	8	7	10	9	10	113	3.7	108	5	
計														3,079	100.0	3,355	△ 276	

・電話問合に対する看護師等の助言件数は2,960件で前年より285件減少した。

表（８）転送先二次・三次救急病院別診療科別患者分布（平成27年１月～12月）

（人）

診療科 救急病院	内科	小児科	外科	耳鼻科	泌尿器科	眼科	産婦人科	歯科	計
岩手県高度救命救急センター									0
岩手県立中央病院	14	21							35
盛岡市立病院									0
盛岡赤十字病院	2	10							12
岩手医科大学附属病院	31	27							58
遠山病院									0
栃内病院									0
高松病院									0
盛岡繋温泉病院									0
盛岡友愛病院									0
川久保病院		6							6
国立盛岡病院									0
もりおかこども病院		2							2
計	47	66	0	0	0	0	0	0	113
比率（％）	41.6	58.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

・小児科が約６割を占めている。

表（９）転送患者疾患別分類（平成27年1月～12月）

疾患名	人	疾患名	人
上気道炎（急性他）	3	尿管結石	3
肺炎(急性他)	6	腎盂腎炎	0
気管支炎（急性・喘息様他）	5	クモ膜下出血・脳出血等（疑）	2
気管支喘息（発作含む）	6	中耳炎（急性他）	0
クループ（仮性含む）	0	蕁麻疹	4
気胸（左/右）	1	不明熱	0
扁桃炎（滲出性他）	1	食物アレルギー	4
インフルエンザ	2	高血圧症	0
胃・腸炎（急性・感冒性他）	18	脱水症	2
急性虫垂炎（疑）	13	めまい	0
急性腹症	16	その他	23
心臓病（心不全・狭心症他）	4	計	113

・呼吸器系が約２割、消化器系が約４割を占めている。

2. 経過報告・決算・予算

経過報告

平成27年7月25日

平成27年度盛岡市夜間急患診療所従事者打合せ会

平成28年2月19日

平成27年度第1回盛岡市夜間急患診療所運営協議会

予算・決算

歳入

(円)

科 目	26年度決算	27年度予算	説 明
使 用 料	94,713,161	83,007,000	診療報酬収入
雑 入	1,200	1,000	事務手数料等
合 計	94,714,361	83,008,000	

歳出

(円)

科 目	26年度決算	27年度予算	説 明
報 酬	47,857,020	49,393,000	管理者、医師、看護師報酬
共 済 費	619,545	966,000	社会保険料
賃 金	421,690	226,000	臨時補助員賃金
報 償 金	0	96,000	運営協議会委員謝金
旅 費	15,320	30,000	研修会参加旅費
需 用 費	10,764,220	6,523,000	消耗品、燃料、食糧、印刷、修繕、医薬材料
役 務 費	436,131	359,000	医療事故賠償保険、電話料、洗濯代
委 託 料	7,988,699	7,951,000	医療事務委託料、連絡調整委託料等
使用料及び賃借料	1,644,927	1,782,000	タクシー使用料、医事会計システム借上料
備 品 購 入 費	113,400		機械器具購入費（小型尿分析器 26年度）
合 計	69,860,952	67,326,000	

3. 診療日誌から

内 科

平成27年1月1日(木) H.K

49名来ました…

平成27年1月2日(金) T.T

51名、その殆どがFluAでした。そして感染性胃腸炎が数名。※小生、12/30にFluAが発症し、本日で4日目でした。かろうじて昨日から解熱しましたが、タイミングがずれていたら勤務不可能となるどころでした。

平成27年1月3日(土) M.I

計59名。殆どFluA又はFlu疑い(1名FluB)。小児科のT先生に何名かお手伝い頂きました。有難うございます。

平成27年1月23日(金) K.K

日誌を見ると正月は49~50名が連日で担当医はさぞお疲れだっただろうと同情の念を禁じ得ません。私はこれまでのMAXが25名でしたが、それでも大変でした。…その倍!本日は6名でした。

平成27年2月5日(木) K.K

本日は10名でした。発熱(内インフルエンザA1名)と嘔吐下痢だらけ。2月は空いている日が3日しか無い!もうお疲れモードです。

平成27年2月16日(月) Y.Y

2月は11日から20日まで1日を除いて何かの集まりで夜はお出かけ。年を取ってもこんなに仕事以外で忙しくて良いものだろうか?!お蔭で今日は休肝日になりました!!3月は

三陸復興支援として個人的に7回目の慰問として山田町舟越の仮設を訪問の予定。4月はお花見・畑仕事(先ずジャガイモから)5月GW後半からは春の山歩きが始まります。10数種の山菜を獲る予定。一番の狙い目はやはりシドケとタケノコでしょうか?!網張・栗木ヶ原のタケノコ、シドケは山王海と沢内ですね。今日はいずれも発熱の方ばかりで、インフルエンザの検査は10人程で計12名。A型が多いようでした。

平成27年2月25日(水) Y.U

今日は14:30~盛岡市立病院経営評価委員会があり出席してきました。現在の院長になってからの経営改善計画と、その実践は、大変なご努力の連続です。もう少しで単年度黒字にまでこぎつけました。盛岡市にとって大変なお荷物だった市立病院が市民に愛される病院に変身するのも遠くないことでしょう。院長頑張れ!!

平成27年3月23日(月) H.Y

1. 58才F:インフルエンザ疑い・急性扁桃気管支炎、2. 17才M:急性胃炎、3. 18才F:インフルエンザA、4. 37才M:逆流性食道炎・慢性胃炎、5. 33才F:感染性胃腸炎。

外は雪が降っている。こういう日は患者も少ないのかな?ゆっくり過ごしました。

平成27年5月5日(月) T.K

11人。発熱と蕁麻疹が多かった。本日初めてこの仕事をした。診察が無い時間帯はする

ことが無く、盛岡市医師会史を読んでいた。救急が設置される経緯などを知り、今後の救急はどうなるのか、医大が移転した後はどうするのか心配になった。普段は医大で一次・二次救急をしているので、今後はそれぞれの役割など見直す必要が今後出てくるだろう。

平成27年5月21日(木) O.S

患者8名。難解な者2名。35才♀：尿が出ない、右下腹部痛→超音波検査、53才♀：本日より下腹部が張っている。排便は2回正常便があった。→腹部X-P施行。久し振りにレントゲン、腹部X-P検査をしましたが馴れない施設の検査には苦勞させられました。

平成27年6月2日(火) H.K

一人だけ来ました。

平成27年6月24日(水) K.O

5名でした。1名医大救急に紹介。

平成27年7月29日(水) K.A

1. 26才♀：熱中症、2. 25才♀：熱中症、3. 27才♀：熱中症・自律神経失調症、4. 47才♀：熱中症、5. 16才♀：ソバアレルギー、アナフィラキシーショック→医大3次に救急搬送。

平成27年8月1日(土) K.I

さんさ踊り1日目ということで覚悟してきましたが、2名と拍子抜けでした。

平成27年8月17日(月) Y.U

いつも当診療所に来て思うのだが、口腔内診察用の電燈にロクなものが無い。LEDは色が青白くて正確な診断ができない。もう1本の懐中電灯は焦点が定まらない。(100円ショップ?) 数年前まで使っていた"小池式舌圧子電球"の方が、はるかに精度が良い。「小池式」を

発見したので、今日からこれを使うことにします。しかしこれは私見です。LEDの方が良いと思う先生はどうぞ今まで通り。懐中電灯の方がよい先生も看護師に申し出て下さい。

平成27年10月8日(木) T.S

10月5日、6日、今年もうれしいニュースが飛び込んで来た。大村智先生の医学生理学賞、梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞の知らせである。やはり何と言ってもネームバリューがあり、世界の国々でもノーベル賞に対して評価は高く、受賞によりご家族は元より、出身地、出身大学、関連企業団、学会など国を挙げての喜びです。我々も同じ日本人として誇りを感じています。お二人の学問に対する評価は勿論のことだが、人柄の良さはインタビューなどでも伺われ、先輩、同僚に対する気配り、表現の仕方など奥床しく、これこそ他からの評価の大きさに直結するのでしょう。

平成27年10月20日(火) R.A

30代♂。発熱、腹痛で来院。問診中に、明日近医受診の必要のあることを告げたところ、その後、診察を受けずに勝手に帰宅。内服薬処方する旨も伝えたが、帰宅するとのことなのでそのまま帰宅とした。

平成27年10月22日(木) M.I

本日7名でした。発熱があり、近医を受診し薬をもらい、まだ一晩も内服していないのに「まだ熱が下がらない」と言って受診した患者さんや、2週間も咳が続いているのに「熱がないからいいと思っていた」という患者さんがいて考えさせられました。発熱について啓蒙する必要性を痛感させられました。8月21日のK先生のLEDライトへのウォームフィルター装着、本当にgood job!!でした。色温度が下がり、粘膜の観察には最適でした。い

つの間にかフィルターが外れ処分されてしまったとは残念です。せっかくK先生が眼鏡店にお願いしてサイズを小さくしてもらった貴重なフィルターだったのですが。光学やカメラに対する深い興味と関心がなければ思いつかないことで、K先生には申し訳ない思いです。

平成27年11月2日（月） K.O

0名でした。初めてです。

平成27年11月4日（水） K.K

今まで月2回は（廿日会の時と祝祭日）出勤していただいていた救急センターが28年度より出勤出来なくなるとの事。痛い！！しかし、岩手の医療界はどれも手薄である。矢巾移転後の1,2次救急が思いやられる。

平成27年11月26日（木） F.S

4名：軽症

但し、最後の25才女性は歩行ができないほどの重度の便秘。家で長時間きばって肛門痛と冷汗で文字通り青色吐息状態でした。幸い、ベテランナースの摘便にて驚く程の大量の硬便が排泄されました。常習便秘ではなく、本人はいつから便がでていないかも分からず、便秘をしているという意識が全く無かったようです。多分10日くらい？"医者処置の指示は出来るけど、ナースのような技術は無いから看護師さんに感謝してネ"と言ったら大いにお礼を言って帰りました。ペンピ、恐るべし。

平成27年11月28日（土） A.S

患者さん3名でした。今年初めてのインフルエンザA型の患者を診察しました。盛岡赤十字病院でもいよいよの様です。

平成27年12月1日（火） M.O

1. 30才♂：fever up、2. 22才♀：急性扁桃炎、3. 49才♀：気管支喘息急性気管支炎

小 児 科

平成27年1月4日(日) Y.M

急患20名

今年も宜しくお願い致します。小児科より内科のFluの患者さんが増えています。解熱してすぐ働いているのではないかと考えられます。職場においても学校感染症の出席停止期間と同様に休職させる必要があります。

平成27年1月25日(日) A.M

17名のうちFluA 5名。Fluは今のところ平年並みでしょうか。特に気になる患者無し。

平成27年1月29日(木) Y.U

15名。夕方から高熱で、インフルエンザ迅速キットを希望する親が6人。→全部陰性。発熱してからの時間が短いので検査をしても陽性にならない事が多いと説明しても、やりたいと言われしょうがなくやりました。

平成27年2月2日(月) M.I

今夜は10人位の来客かと思いきや、なんと1人とどまった。インフルエンザも下火なのか。学校関係は部分的に流行しているようだが、日常的な流行予防策(学級閉鎖など)が奏効しているかもしれない。(内科は5~6人と平均値か) 31日(日)、高田診療所にて診療したが、小児科は12人中、3~4名がインフル(A)だった。ノロウイルス感染症も散見したが軽症であった。

平成27年2月8日(日) Y.K

本日、ラビアクタ1バック(6,000円相当)が期限切れ(~H27.1月)で廃棄となりました。私個人としては、クリニックでも常備してお

らず使う事のない薬品ですが、高価な薬でもあるので、もし使う先生がおられました是非期限切れの前にご使用を宜しくお願い致します。本日29名。インフルエンザ検査19名中9名A陽性、溶連菌検査1名中1名陽性、ほとんど発熱の患者さんでした。

平成27年3月2日(月) M.I

3月に入り陽気は平年比4-5℃高温である。インフルの定点観測値も20未満となり減少している。春めいてきたせいか、多彩な急患児でした。(9名) 他院受診後の来診者は1名のみでした。

平成27年3月14日(土) K.S

19名。インフルエンザ(A) まだです。胃腸炎が流行してきているようです。

平成27年3月29日(日) Y.K

12名。(内科6名) 患者さん用のイスが新しくなりました。自分のイスだけ立派で心苦しかったのですが、色合いも良くバランスが取れて良い感じです。本日から新しい耳鏡が導入されました。前の耳鏡のディスプレイが残っているので、しばらく古い耳鏡も併用となるそうですが、新しい耳鏡は非常に明るく良く見えます。是非比べてみて下さい。看護師さんが2名、5年の任期が終了するということで辞められるそうです。せっかく慣れたのに…この規定どうにかならないのでしょうか。

平成27年4月29日(水) T.Y

8ヶ月ぶりの夜間診療所でした。私ごとで皆様にご迷惑をおかけしたこと申し訳ござい

ませんでした。ご高配有難うございました。
インフルエンザの再流行でしょうか。今日、
日中、休日当番医をしましたが2名。FluAが1
名、Bが1名でした。ここでもB型がひとりいま
した。その他は発熱、嘔吐でした。溶連菌感
染症児1名でした。

平成27年7月3日（金） T.K

ここ1〜2ヶ月間、小児科は「ヒマ」であ
る。夏カゼも大流行の徴なし。インフルエン
ザワクチンが先走りしている。メーカーが小
児科を早く取り込むべく動き始めています。

平成27年8月6日（木） T.K

猛暑お見舞い申し上げます。いつ迄続くの
か暑さとの戦いであります。しかし、お盆を
過ぎれば、秋は足早に到来します。もう少し
の頑張りでしょうか。

平成27年8月△日（△） S.K

7名受診。うち帰省者1名。手足口病、ヘル
パンギーナなどが殆ど。一部、嘔吐などの胃
腸症状の子。1名診察拒否され帰宅。最近、
自己中な親が多い。聞き耳持たず…。ストレ
スの溜まる夜診でした。スタッフの方々有難
うございます。

平成27年8月13日（木） T.T

花巻東2勝目おめでとうございます。盆の
入りで平常診療でした。外来は久しぶりに混
みました。開業医は殆ど休みですので病院に
集中しています。帰省の人も多く受診してい
ます。小児科15名。

平成27年9月8日（火） S.K

小児科3名。少ない平和な夜でした。うち2
名が喘息。一気に涼しくなったので今後は増
えてくると思います。日本戦（サッカー）、久
しぶりの大勝！相手が相手なので、これくら

いじゃないと…。

平成27年9月26日（土） A.S

喘息、蕁麻疹が多い。12名。

平成27年10月2日（金） T.K

朝、夕の寒さと共に喘息が目立ちます。当
診療所のptは少な目との事。本日も来院者が
少ない。

平成27年10月24日（土） I.U

3才女児、夕方から腹痛を主訴に来院。浣
腸後、正常便中等量。便潜血（2+）インバギ
が気になる為、ベットで少し様子観察。→そ
の後、まったく啼泣なく元気。一応、イン
バギは否定的と考え帰宅としました。母には
再び啼泣ある場合、HPを受診することを説明
しました。胃腸炎児散見されました。初めて
出務させていただきました。有難うございま
した。

平成27年11月2日（月） M.I

今朝の外気温0℃に近い。今年の冬は早く訪
れている。インフル、冬のウイルス性胃腸炎
の出番が始まっている。今夜は発熱1名のみ、
他はカゼ症状と嘔吐症が多かった。明日は
「文化の日」祝日であるが、外来患者さんが多
くなりそうだ。

平成27年12月31日（木） Y.M

急患12名。Fluが全くいない年末でした。来
年も宜しくお願い致します。

4. 診療所の現状

① 夜間急患診療所出勤医名簿

平成27年1月1日～12月31日

青 山 洋 二	向中野二丁目54-18	ゆい内科呼吸器科クリニック
秋 丸 理 世	内丸19-1	高度救命救急センター
朝 倉 慎 一	茶畑一丁目8-2	あさくらクリニック
阿 部 佳 子	松園二丁目37-10	松園中央クリニック
阿 部 弘 一	菜園二丁目5-29	あべ菜園内科クリニック
阿 部 隆 志	肴町6-6 熊長ビル1F	あべ神経内科クリニック
阿 部 珠 美	内丸19-1	岩手医大 消化器・肝臓内科
阿 部 礼 司	長橋町17-45	あべ内科・消化器科クリニック
池 田 富 好	本町通三丁目19-32	真山池田医院
池 田 秀 之	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
池 田 亘 政	上太田弘法清水10-3	池田内科
石 井 基 弘	東緑が丘23-26	石井内科消化器科医院
板 澤 正 明	中央通一丁目7-25 1F	ポランの内科クリニック
伊 藤 俊 一	津志田26-30-1	川久保病院 内科
伊 藤 雅 天	津志田26-30-1	川久保病院 内科
伊 東 宗 行	紫波郡矢巾町大字煙山24-1	みちのく療育園
岩 井 正 勝	東見前6-85-1	もりおか往診クリニック
白 井 康 雄	松園二丁目2-10	白井循環器呼吸器内科
白 井 由紀子	松園二丁目2-10	白井循環器呼吸器内科
白 田 岩 男	東京都	
梅 木 郁 美	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
永 塚 健	緑が丘四丁目1-7	えいづか内科胃腸科クリニック
江 村 洋 弘	城西町7-33	江村胃腸科内科医院
遠 藤 昌 樹	大通3丁目9-3	開運橋消化器内科
及 川 寛 太	上田一丁目18-38	おいかわ内科クリニック
大 浦 雅 之	津志田西二丁目13-3	大浦内科・歯科クリニック
大 平 篤 志	梨木町2-2	おおひら内科循環器科クリニック
大 屋 敬一郎	西青山一丁目16-43	大屋内科胃腸科クリニック
大和田 毅	手代森6-10-6	岩手県立療育センター
岡 田 健 男	清水町3-5	岡田消化器科内科医院
尾 形 文 智	津志田26-30-1	川久保病院 内科
荻 野 義 信	本宮一丁目6-12	荻野病院
小 田 淳 一	みたけ4丁目36番32号	盛岡さくらクリニック
小野寺 ちあき	内丸19-1	高度救命救急センター

梶 原 隆	内丸19-1	岩手医大 糖尿病・代謝内科
堅 田 有 宇	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
桂 永 行	本宮字小坂小瀬13-2	かつら内科クリニック
桂 泰 鴻	本宮字小坂小瀬13-2	かつら内科クリニック
加 藤 隆 幸	天神町11-8	加賀野消化器内科・内科クリニック
金 澤 格	上堂一丁目18-24	かなざわ内科クリニック
金 山 広 海	浅岸一丁目12-22	かなやま内科医院
金 子 博 純	乙部13-135-3	金子胃腸科内科
金 濱 誠 己	向中野三丁目10-6	杜のこどもクリニック
鎌 田 潤 也	大通二丁目7-23	おおどり鎌田内科クリニック
鎌 田 広 基	本宮二丁目20-1	鎌田内科クリニック
上 原 充 郎	岩手郡雫石町八卦1-16	上原小児科医院
川 村 光 郎	志家町4-4	川村内科医院
菅 野 啓 一	山岸二丁目11-36	菅野小児科医院
菅 野 恒 治	山岸二丁目11-36	菅野小児科医院
菊 池 均	材木町2-26-3F	旭橋クリニック菊池循環器内科
木 村 幸 博	東見前6-85-1	もりおか往診クリニック
草 野 修 司	内丸19-1	岩手医大 小児科
工 藤 真 大	中ノ橋通一丁目7-13	工藤内科医院
工 藤 卓 次	前九年三丁目16-15	くどう医院
久保田 公 宜	大館町26-3	久保田医院
黒 澤 照 男	松園二丁目37-10	松園中央クリニック
肥 田 龍 彦	内丸19-1	岩手医大 循環器内科
肥 田 敏比古	菜園一丁目4-7	菜園循環器内科医院
肥 田 秀 彦	みたけ四丁目11-46	肥田胃腸科内科医院
児 島 陽 一	みたけ三丁目11-36	児島内科小児科医院
小 林 仁	盛岡駅西通二丁目9-1	須藤内科クリニック
小 林 有 一	三本柳11-12-4	小林小児科クリニック
齋 藤 明 宏	月が丘二丁目2-60	さいとう小児科クリニック
斉 藤 文 子	中ノ橋1-4-20 水晶堂ビル4階	中の橋斉藤クリニック
佐々木 敦 美	内丸19-1	岩手医大 糖尿病・代謝内科
佐々木 太 郎	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
佐々木 透	高松2丁目27-27	おはようクリニック
佐々木 正 孝	中野一丁目27-10	ささき医院
佐 藤 治	向中野一丁目11-25	さとう胃腸科内科
佐 藤 公 也	大通三丁目1-24	佐藤内科クリニック
佐 藤 正 幸	内丸19-1	高度救命救急センター
佐 藤 由香子	下ノ橋町4-15	船山内科クリニック
佐 藤 陽 子	三本柳6-1-1	盛岡赤十字病院 小児科
佐 藤 芳 行	本町通一丁目12-7	内丸病院 内科

佐藤 諒	内丸19-1	高度救命救急センター
澤田 哲伸	上田1-6-11	澤田内科医院
塩畑 健	内丸19-1	岩手医大 小児科
小豆嶋 立頼	永井12-10	盛岡友愛病院
鈴木 彰子	内丸19-1	岩手医大 消化器・肝臓内科
鈴木 一彦	滝沢市鶴飼御庭田65-2	鈴木小児科
鈴木 恒男	大通一丁目3-4	大通胃腸科内科
鈴木 知己	八幡町2-17	鈴木内科医院
鈴木 昇	緑が丘3丁目2-34	緑ヶ丘消化器内科医院
鈴木 康之	北松園二丁目15-4	内科クリニックすずき
鈴木 悠地	内丸19-1	岩手医大 消化器・肝臓内科
田金星 都	内丸19-1	岩手医大 小児科
高野 長邦	三本柳6-1-1	盛岡赤十字病院 小児科
高橋 進	下米内2丁目4-12	中津川病院
高橋 保	東見前6-85-1	もりおか往診クリニック
高橋 俊成	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
高橋 真紗子	内丸19-1	岩手医大 神経内科・老年科
高宮 秀式	紫波郡矢巾町西徳田2-106-3	高宮消化器科内科医院
滝川 佐波子	西松園三丁目22-1	西松園内科医院
田口 裕哉	内丸19-1	岩手医大 循環器内科
田中 健太郎	三本柳6-1-1	盛岡赤十字病院 小児科
田中 洋	永井22-29-6	田中循環器内科クリニック
田村 悦子	下ノ橋町6-14	遠山病院 内科
千田 明紀	東安庭1-23-60	ちだ内科・外科クリニック
千葉 知	下ノ橋町6-14	遠山病院 内科
千葉 太郎	永井12-10	盛岡友愛病院
千葉 直樹	中央通三丁目1-10	ちばクリニック
千葉 芳久	向中野三丁目10-3	本宮Cクリニック
寺井 健二	矢巾町南矢幅7-451	寺井こどもクリニック
寺井 泰彦	山王町1-9	寺井小児科医院
富樫 弘文	内丸19-1	岩手医大 糖尿病・代謝内科
栃内 秀貴	神明町10-35	栃内内科医院
中島 淳	月が丘二丁目8-30	中島内科クリニック
中島 悟史	内丸19-1	岩手医大 循環器内科
中村 富雄	上厨川字杉原50番地47	中村こどもクリニック
中村 義明	若園町2-5	中村内科医院
那須 友里恵	内丸19-1	岩手医大 小児科
西島 浅香	上田一丁目19-5	西島こどもクリニック
西見 早映子	内丸19-1	岩手医大 小児科
二宮 一見	愛宕町2-47	二宮内科クリニック

二 宮 由香里	愛宕町2-47	二宮内科クリニック
原 田 達 男	山岸3-2-1 山岸中央ビル1階	原田内科脳神経機能クリニック
半 谷 真 理	内丸19-1	岩手医大 糖尿病・代謝内科
樋 口 慧	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
藤 井 傑	内丸19-1	岩手医大 消化器・肝臓内科
藤 井 裕	八幡平市柏台2-8-2	東八幡平病院
藤 島 敏 智	愛宕町4-18	藤島内科医院
古 武 達 也	東見前6-85-1	もりおか往診クリニック
本 間 博	上田二丁目20-13	本間内科医院
本 間 博 之	内丸19-1	岩手医大 糖尿病・代謝内科
前 川 滋	新田町9-11	前川内科クリニック
前 多 治 雄	盛岡駅前通9-10 丸善ビル5階	前多小児科クリニック
蒔 苗 剛	津志田26-30-1	川久保病院 小児科
三 浦 義 孝	中野一丁目16-10	みうら小児科
三 上 仁	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
水 谷 久 太	内丸19-1	岩手医大 消化器・肝臓内科
水 沼 吉 美	中央通二丁目11-12 明治生命館1F	水沼内科循環器クリニック
武 者 毅 彦	北飯岡1丁目2-70	たけ循環器内科クリニック
村 井 智 美	内丸19-1	岩手医大 糖尿病・代謝内科
村 田 淳	紺屋町3-4	村田小児科医院
村 松 親	東仙北一丁目3-7	むらまつクリニック
森 田 友 明	緑が丘四丁目1-60-2F	森田小児科医院
森 谷 耕太郎	高松三丁目11-29	森谷医院
八 代 諭	内丸19-1	岩手医大 糖尿病・代謝内科
山 口 淑 子	滝沢市穴口377-1	山口クリニック
山 口 智 子	内丸19-1	岩手医大 消化器・肝臓内科
山 田 宏 之	津志田中央2-18-31	やまだ胃腸内科クリニック
山 田 行 夫	中央通一丁目13-8	山田クリニック
吉 田 研 一	梨木町2-13	吉田小児科
吉 田 俊 巳	東見前8-20-16	吉田消化器科内科
吉 田 信 一	西仙北一丁目30-50	よしだクリニック
吉 田 茉莉恵	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
吉 田 美智子	上田一丁目4-1	県立中央病院 小児科
吉 田 幸 恵	三本柳6-1-1	盛岡赤十字病院 小児科
和 田 泰 格	内丸19-1	岩手医大 小児科
和 田 博 泰	永井12地割10	盛岡友愛病院
渡 辺 恒 雄	本宮一丁目6-12	荻野病院

② 役 職 員 名 簿 （平成27年12月31日現在）

開 設 者	盛岡市長	谷 藤 裕 明
管 理 者	盛岡市医師会会長	和 田 利 彦
運営協議会		
会 長	盛岡市保健所長	高 橋 清 実
副会長	盛岡市医師会副会長	金 子 博 純
委 員	盛岡市医師会理事	本 間 博
〃	〃	金 濱 誠 己
〃	〃	久保田 公 宜
〃	〃	小 林 有 一
〃	盛岡市医師会小児科医会会長	三 浦 義 孝
〃	盛岡市医師会小児科医会副会長	吉 田 研 一
〃	盛岡薬剤師会副会長	畑 澤 昌 美
〃	盛岡薬剤師会副会長	富 山 道 彦
〃	岩手県看護協会会長	兼 田 昭 子
〃	盛岡市保健福祉部長	熊 谷 俊 彦
事務局	盛岡市医師会事務局長	永 井 亮
	盛岡市医師会事務局次長	水 本 達 彦
	盛岡市医師会事務局係長	佐 藤 泰 之
	盛岡市保健所次長兼企画総務課長	藤 井 優 子
	盛岡市保健所企画総務課長補佐	梅 原 格
	盛岡市保健所企画総務課企画総務係長	齋 藤 美 希
	盛岡市保健所企画総務課企画総務係主査	鈴 木 佳 子
	盛岡市保健所企画総務課企画総務係主事	金 野 修

5. 運営協議会・薬品選定会議

平成26年度第2回盛岡市夜間急患診療所運営協議会

日 時：平成27年2月3日（火） 午後7時

場 所：盛岡市保健所5階第1会議室



はじめに運営協議会会長の高橋清実盛岡市保健所長から、次いで夜間急患診療所管理者の和田利彦盛岡市医師会長から挨拶があった。

次に、以下の議題について意見が交わされた。

【議 題】

(1) 報告事項

ア) 平成26年度夜間急患診療所利用状況について（平成24年1月までの集計）

診療科別・年齢別患者数の状況、曜日・時間帯別患者数の状況、地域別患者数の状況、各種検査、処置の状況、年間最多・最小患者数等について報告があった。

イ) 平成26年度収入状況及び平成27年度当初予算について

ウ) 診療所の運営にかかる対応状況について

夜間急患診療所の外付け階段の設置案、エボラ出血熱への対応、問診表の改良について報告があった。

(2) 協議事項

ア) 平成27年度新規要望薬品等の導入について

以下の品目について導入を検討した。

・機器等について

簡易血糖測定器、耳鼻鏡、ワンハンド電子血圧計は採用となった。血液ガス分析器、リザーバー付マスク、デング熱診断用採血管は不採用となった。

・薬品について

バルトレックス錠500かファムビル錠250、オラベネム小児用細粒10%、トランサミン散50%、ワソラン静注5mgは採用となった。温湿布、酸化マグネシウム、フルナーゼ点鼻薬かアラミスト点鼻薬は不採用となった。

・キットについて

クイックナビ・ノロ、クイックナビ・Flu+RSVは不採用となった。

不採用とした理由として、他の代替検査で対応可能であること、翌日の医療機関受診で対応可能な検査や薬品で

あること、などが挙げられた。

イ) インフルエンザ等診療拡大体制について

薬剤師 1 名で薬の説明と調剤とを行うのは大変なため、薬剤師の増員、手間の軽減を検討した。

ウ) 小児科医師確保について

公募の採用条件や小児科・内科の連携について検討した。

(小林有一)

出席者名簿

管 理 者	和 田 利 彦	盛岡市医師会	会長	
運営協議会会長	高 橋 清 実	盛岡市保健所	保健所長	
運営協議会副会長	金 子 博 純	盛岡市医師会	副会長	
運営協議会委員	本 間 博	〃	理事	
	金 濱 誠 己	〃	理事	
	久保田 公 宜	〃	理事	
	小 林 有 一	〃	理事	
	三 浦 義 孝	〃	小児科医会	会長
	吉 田 研 一	〃	小児科医会	副会長
	畑 澤 昌 美	盛岡薬剤師会	副会長	
	富 山 道 彦	〃	副会長	
	熊 谷 俊 彦	盛岡市	保健福祉部長	
事 務 局	永 井 亮	盛岡市医師会事務局	事務局長	
	水 本 達 彦	〃	次長	
	佐 藤 泰 之	〃	係長	
	藤 井 優 子	盛岡市保健所	企画総務課	課長
	赤 坂 國 彦	〃	〃	課長補佐
	梅 原 格	〃	〃	副主事兼企画総務係長
	齋 藤 美 希	〃	〃	主査
	鈴 木 幸	〃	〃	主事

6. 従事者打合せ会

平成27年度盛岡市夜間急患診療所従事者打合せ会

日 時：平成27年7月25日（土） 午後3時

場 所：盛岡市保健所 7F大ホール



はじめに高橋清実盛岡市保健所長より「盛岡市医師会、盛岡市薬剤師会、岩手県看護協会、従事者の皆様の全面的な協力により、盛岡市夜間急患診療所の運営が順調に行われていることに感謝申し上げたい。今年もインフルエンザの流行に続いて、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナなどの感染症が流行しているが、これまで通りのご協力をお願いしたい。初期救急の要である盛岡市夜間急患診療所の運営については他市の状況も参考にしながら進めていきたい」と挨拶があった。

続いて和田利彦盛岡市夜間急患診療所管理者より「盛岡市夜間急患診療所は大きな事故もなく経過している。本日の会の内容を今後の運営に役立てていきたい」との挨拶があった。

報告事項（盛岡市保健所より）

① 平成23年度利用状況

【患者数】

診療科別…小児科4,408人（前年度より369人減）、内科2,767人（同339人増）、計7,175人（同30人減）。小児科（61.4%）と内科（38.6%）の構成比は例年より内科の割合が高かった。

年令別…小児では1～5才が最も多く患者数全体の約33%を占めた。成人では25～34才が最も多かった。

曜日別…例年と同様に土曜日（20.7%）と日曜日（18.5%）が多い。

時間帯別…例年と同様に19～20時（45.7%）と20～21時（25.8%）が多い。

緊急度別…「緊急度あり」と判断された患者数は小児科15.5%、内科21.4%だったが、「緊急度なし」は小児科52.9%、内科31.4%を占めた。

地域別…盛岡（75.5%）が最も多く、滝沢（8.8%）・矢巾（4.1%）・紫波（3.6%）。盛岡広域医療圏以外の患者数は、県内（1.7%）・県外（2.8%）であった。

【各種検査・処置の状況】

検査件数では、インフルエンザ抗原迅速診断検査が2,134件と最も多かった。溶連菌抗原迅速検査が185件と例年より多かったが、他の検査は例年並み。処置件数では点滴279件、吸入321件、浣腸300件とほぼ例年通りであった。

【紹介状の作成状況】

内科53人、小児科70人、計123人と例年並みの件数であった。

【年間最多・最少患者数】

最多患者数

86人（小児科38人、内科48人）12月30日（火）

最少患者数

1人（小児科0人、内科1人）11月10日（月）

【救急患者の転送状況】

転送患者合計は120人と昨年度と同数。内訳は岩手医科大学付属病院59人、県立中央病院33人と盛岡赤十字病院16人。以下、もりおかこども病院7人、川久保病院5人であった。

② 夜間急患診療所における災害発生時（診療時間内および診療時間外）の緊急連絡体制、およびインフルエンザ流行時の診療拡大体制について再確認された。

③ 小児科医師の募集について報告があった。盛岡市保健所のホームページに募集広告を掲載しているが、現在のところ応募はない。他の手段も選択肢として検討する予定。

④ 盛岡市夜間急患診療所から岩手医科大学附属病院へ患者を紹介する際の窓口は1次・

2次救急外来とすることが再確認された。

⑤ 盛岡市夜間急患診療所開設40周年記念誌を来年度発行の予定である。内容については今後検討していく。

⑥ 薬袋及びカルテが仕様変更された。薬袋には用法記入欄を印刷して作業効率を上げることとし、またカルテの傷病名記載欄を増やした。

協議事項

① 簡易血糖値測定器の導入について

ファインタッチ・ディスプレイ[®]とワンタッチペリオプロプラス[®]を導入予定である。

② 薬品の選定について

採用要望薬品

・アレジオンドライシロップ：これに代わってザイザルシロップ・錠5mgを採用とし、以下の抗ヒスタミン剤は順次廃止とする。（アレジオン錠20、セルテクト錠30mg、ペリアクチン散1%、ペリアクチン錠4mg、ペリアクチンシロップ0.04%）

・マーロックスGおよびマグテスト：前者は不採用として他剤で対応、後者は不採用。

廃止要望薬品

・テオドール錠50mg：廃止

③ トランサミンシロップが一時在庫切れとなったが現在処方可能である。近日中に薬品一覧表を改訂する。

打合せ会に続いて開催された懇親会は盛会であった。

（金濱誠己）

平成27年度盛岡市夜間急患診療所従事者打合せ会出席者名簿

役 職	氏 名	団 体 及 び 職 名
管理者	和田 利彦	夜間急患診療所 管理者
運営協議会 会長	高橋 清実	盛岡市 保健所長
同 副会長	金子 博純	盛岡市医師会 副会長
同 委員	本間 博	盛岡市医師会 理事
〃	金濱 誠己	盛岡市医師会 理事
〃	久保田公宜	盛岡市医師会 理事
〃	小林 有一	盛岡市医師会 理事
〃	三浦 義孝	盛岡市医師会 小児科医会会長
〃	吉田 研一	盛岡市医師会 小児科医会副会長
〃	畑澤 昌美	盛岡薬剤師会 副会長
〃	富山 道彦	盛岡薬剤師会 副会長
〃	兼田 昭子	岩手県看護協会 会長
〃	熊谷 俊彦	盛岡市 保健福祉部長
従事者	千葉真喜子	夜間急患診療所 主任看護師
〃	長山 秋子	夜間急患診療所 主任看護師
〃	梅野 正子	夜間急患診療所 看護師
〃	及川美智子	夜間急患診療所 看護師
〃	八重樫寛恵	夜間急患診療所 看護師
〃	藤澤 孝子	株式会社メディカルサポート 事務員
〃	石曾根満恵	株式会社メディカルサポート 事務員
事務局	永井 亮	盛岡市医師会事務局 事務局長
〃	水本 達彦	盛岡市医師会事務局 次長
〃	佐藤 泰之	盛岡市医師会事務局 係長
〃	藤井 優子	盛岡市保健所 次長兼企画総務課長
〃	梅原 格	盛岡市保健所企画総務課 企画総務課長補佐
〃	齋藤 美希	盛岡市保健所企画総務課 企画総務係長
〃	鈴木 佳子	盛岡市保健所企画総務課 主査
〃	金野 修	盛岡市保健所企画総務課 主事

Ⅱ 岩手県高度救命救急センター報告

(平成27年1月～12月)

診療状況

1. 疾病別患者数
2. 来院時間帯別入院患者数
3. 地域別入院患者数
4. 搬入先・搬入方法別入院患者数
5. 主な手術件数

診 療 状 況

1. 疾病別患者数

1) 平成27年1月～12月

全身疾患	患者数	患者数
感染症	27 (5)	栄養疾患 0 (0)
寄生虫病	0 (0)	代謝疾患 101 (39)
新生物	77 (10)	免疫異常 9 (6)
内分泌疾患	0 (0)	
小 計		214 (60)

系統疾患	患者数	患者数
血液・造血器疾患	9 (2)	泌尿器生殖器疾患 99 (20)
精神障害	221 (5)	周産期 1 (0)
神経・感覚器疾患 (てんかんを含む)	341 (50)	皮膚皮下組織 17 (8)
心不全・不整脈など	266 (129)	筋骨格・結合組織 63 (19)
虚血性心疾患など	179 (30)	先天異常 0 (6)
(心筋梗塞・狭心症・動脈瘤)		妊娠 2 (0)
脳血管障害	299 (128)	症状・徴候 30 (5)
呼吸器疾患	123 (39)	診断不明確 1 (0)
消化器疾患	479 (219)	その他 17 (4)
小 計		2,147 (658)

損傷・中毒	交通事故	その他の事故	事故の後遺症	故意的加害	小 計
骨折	92 (80)	214 (143)	0 (0)	11 (6)	317 (229)
関節脱臼	1 (1)	5 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (3)
捻挫	12 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (2)
頭蓋内損傷	41 (33)	115 (83)	0 (0)	3 (3)	159 (119)
内臓損傷	39 (29)	20 (17)	0 (0)	3 (2)	62 (48)
開放創	25 (10)	128 (17)	0 (0)	16 (1)	169 (28)
血管損傷	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
表在損傷	3 (0)	8 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (1)
挫創	3 (2)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (2)
圧挫損傷	77 (19)	94 (3)	0 (0)	7 (1)	178 (23)
異物	0 (0)	12 (6)	0 (0)	0 (0)	12 (6)
熱傷	0 (0)	39 (28)	0 (0)	5 (5)	44 (33)
神経損傷	6 (6)	15 (9)	0 (0)	1 (0)	22 (15)
中毒・薬物中毒	0 (0)	49 (14)	0 (0)	82 (17)	131 (31)
毒作用	0 (0)	20 (7)	0 (0)	0 (0)	20 (7)
後遺症	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他・外因作用	2 (1)	20 (7)	0 (0)	14 (3)	36 (11)
外科・内科合併症	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
小 計	301 (182)	750 (340)	0 (0)	142 (38)	1,193 (560)
合 計					3,554 (1,278)

総患者数 3,554人 () はセンター入院患者数 1,278人 C P A (来院時心肺停止状態) 99人

2. 来院時間帯別入院患者数

1) 平成27年1月～12月

月	AM0時～ AM6時		AM6時～ AM9時		AM9時～ PM5時		PM5時～ PM8時		PM8時～ PM12時		小 計		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
1月	3	3	3	4	25	19	8	11	10	3	49	40	89
2月	7	4	9	4	30	17	8	9	5	2	59	36	95
3月	4	6	4	1	23	26	15	8	5	7	51	48	99
4月	3	3	6	7	36	26	12	8	3	4	60	48	108
5月	5	3	3	8	41	23	13	6	8	5	70	45	115
6月	5	4	5	6	36	19	11	2	10	2	67	33	100
7月	4	5	2	2	33	26	10	5	4	7	53	45	98
8月	8	4	6	6	42	28	11	6	6	7	73	51	124
9月	2	3	8	3	39	32	9	7	7	5	65	50	115
10月	3	1	4	4	30	23	10	8	7	3	54	39	93
11月	8	4	4	3	28	29	13	8	6	5	59	49	108
12月	7	2	9	6	42	33	11	8	10	6	79	55	134
【合計】	59	42	63	54	405	301	131	86	81	56	739	539	1,278

3. 地域別入院患者数

1) 平成27年1月～12月

地域別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均	比率
盛岡市	51	63	52	52	57	44	47	57	56	46	59	70	654	54.5	51.2
滝沢市	3	4	10	5	6	8	6	6	8	10	6	12	84	7.0	6.6
八幡平市・岩手郡	7	6	13	12	21	12	14	17	15	10	15	17	159	13.3	12.4
紫波郡	10	4	6	12	7	7	4	9	10	3	15	9	96	8.0	7.5
花巻市	5	2	2	6	3	4	7	7	7	4	2	2	51	4.3	4.0
北上市・西和賀町	1		5	3	3	1	1	1	4	2	3	2	26	2.2	2.0
奥州市・胆沢郡		1	1	1	1	2	2	1	3	3	1	1	17	1.4	1.3
一関市・西磐井郡・東磐井郡	2	1			2	2	3	3			1		14	1.2	1.1
大船渡市・陸前高田市・気仙郡					2							1	3	0.3	0.2
釜石市・遠野市・大槌町	2	2	4	2	1	1	2	2		1		2	19	1.6	1.5
宮古市・下閉伊郡	1	2	4	8	4	9	1	5	2	4	1	4	45	3.8	3.5
久慈市・九戸郡	1	2		1		1	3	1		1	1	2	13	1.1	1.0
二戸市・二戸郡	1		2		2		2	1	1	1			10	0.8	0.8
青森県	1	1				2			5	4		1	14	1.2	1.1
秋田県	2	3		1	2	2		2	1	3	1	3	20	1.7	1.6
宮城県			1	1	1	1	1	1	1	1		3	9	0.8	0.7
その他	2	3		4	4	4	5	12	2		3	5	44	3.7	3.4
身元不明者													0	0.0	0.0
【合 計】	89	95	99	108	115	100	98	124	115	93	108	134	1,278	106.5	100.0

4. 搬入先・搬入方法別入院患者数

1) 平成27年1月～12月

搬入先 区分	初期救急医療施設			2次救急医療施設			3次救急医療施設			その他			小計		計
	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	
1月	9	4	13	6	8	14	1	0	1	48	13	61	64	25	89
2月	14	7	21	1	11	12	1	0	1	54	7	61	70	25	95
3月	18	2	20	8	18	26	0	0	0	46	7	53	72	27	99
4月	18	4	22	6	9	15	3	0	3	54	14	68	81	27	108
5月	22	9	31	6	15	21	1	0	1	52	10	62	81	34	115
6月	21	6	27	10	12	22	0	0	0	44	7	51	75	25	100
7月	14	6	20	11	7	18	1	0	1	47	12	59	73	25	98
8月	16	0	16	8	12	20	3	0	3	72	13	85	99	25	124
9月	10	2	12	16	17	33	0	0	0	58	12	70	84	31	115
10月	15	5	20	7	7	14	1	0	1	50	8	58	73	20	93
11月	11	4	15	3	9	12	0	0	0	74	7	81	88	20	108
12月	16	5	21	13	15	28	0	0	0	72	13	85	101	33	134
【合計】	184	54	238	95	140	235	11	0	11	671	123	794	961	317	1,278

5. 主な手術件数および内視鏡的治療件数

1) 平成27年1月～12月

月	頭部疾患	胸部疾患	腹部疾患	四肢・骨盤疾患	脊椎・脊髄損傷	内視鏡的治療対象疾患	計
1月	3	0	7	26	4	11	51
2月	3	0	3	12	0	18	36
3月	2	0	3	26	1	12	44
4月	7	0	6	12	1	10	36
5月	4	0	9	24	0	16	53
6月	7	0	2	23	3	11	46
7月	4	0	7	20	1	6	38
8月	0	1	12	19	0	8	40
9月	6	1	7	16	3	11	44
10月	4	0	9	25	2	8	48
11月	3	0	5	21	1	17	47
12月	5	0	8	22	0	7	42
【合計】	48	2	78	246	16	135	525

Ⅲ お盆休み年末年始の救急医療

1. 平成27年度お盆休み期間中の外来患者実態調査報告書

平成27年のお盆期間中（8月13日(木)～16日(日)）に受診した外来患者のアンケート実態調査についてご報告いたします。

アンケート回収率（表1）

対象医療機関は28病院、218診療所、計246機関でアンケートの回収率は100%でした。

表1. アンケート回収率（盛岡市）

	医療機関数	回収数	回収率
病 院	28	28	100%
診療所	218	218	100%
合 計	246	246	100%

診療科別診療所および病院数（表2）

表2. 診療科別診療所及び病院数

	診療科	医療機関数	計
診療所	内 科	92	218
	外 科	47	
	産 婦 人 科	12	
	小 児 科	13	
	眼 科	19	
	皮膚・泌尿器科	18	
	耳 鼻 咽 喉 科	16	
	夜間急患診療所	1	
病院	二次救急病院	12	28
	その他の病院	16	

お盆中休診状況（表3）

表3. お盆中休診状況（245医療機関）

	8月13日 (木)	8月14日 (金)	8月15日 (土)	8月16日 (日)
全日休診	199	225	222	237
半日休診	19	4	12	3
診 療	27	16	11	1
当番医	0	0	0	4

※盛岡市夜間急患診療所はのぞく

病院及び診療所の来院患者数（表4）

4日間の患者総数は8,039名でした。病院受診6,832名、診療所受診1,207名の内訳でした。15日・16日は多くの病院が休みとなる土・日曜日だったこともあり、患者総数は昨年比5,316名減（26年度13,355名）でした。

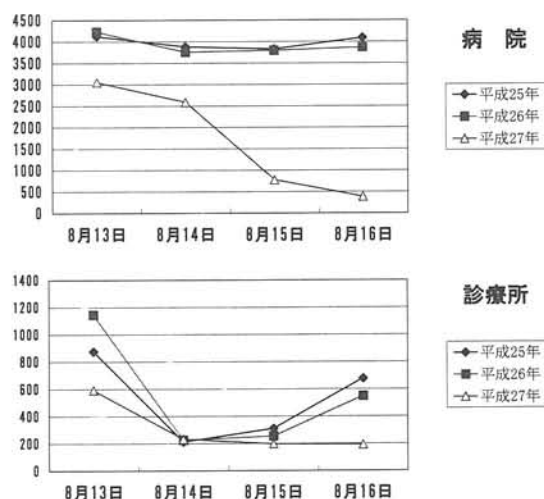
表 4. 病院及び診療所(平成27年 8月13日～ 8月16日)の来院患者数(時間帯別)

月 日	曜日	時間 機関	0 A.M. ～ 6 A.M.	6 A.M. ～ 9 A.M.	9 A.M. ～ 5 P.M.	5 P.M. ～ 8 P.M.	8 P.M. ～ 0 A.M.	合 計
8 月13日	木	病 院	20	191	2,715	72	68	3,066
		診療所	1	70	475	51	12	591
		合 計	21	261	3,190	123	80	3,657
8 月14日	金	病 院	20	127	2,348	57	49	2,601
		診療所	2	9	127	83	6	231
		合 計	22	136	2,475	140	55	2,832
8 月15日	土	病 院	28	76	560	68	49	781
		診療所	0	5	111	65	14	195
		合 計	28	81	671	133	63	976
8 月16日	日	病 院	18	33	244	39	50	384
		診療所	0	3	138	20	15	190
		合 計	18	36	382	59	65	574
総 計		病 院	86	427	5,867	236	216	6,832
		診療所	3	87	851	219	47	1,207
		合 計	89	514	6,718	455	263	8,039

お盆中外来患者実態調査(図1)

過去3年間の患者数を折れ線グラフで示しました。診療所では14日～16日の3日間をお盆休みとしている医療機関が多いために13日の受診者数はやや多くなっています。

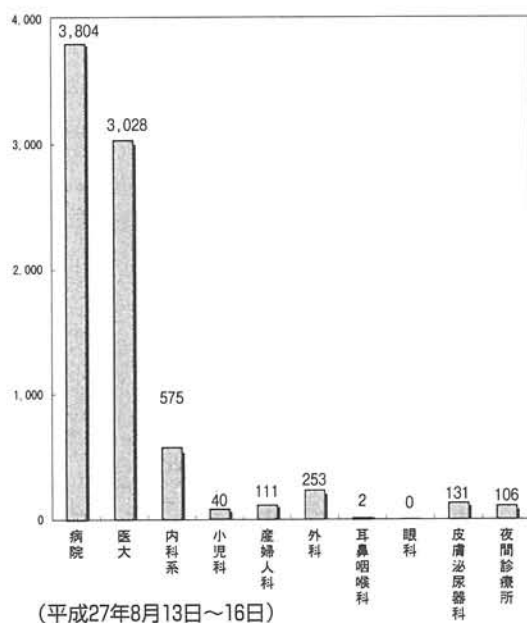
図 1. お盆中外来患者実態調査(3年間)



各科別の外来患者状況(図2)

病院受診者3,804名、医大受診者3,028名でした。診療所受診者の内訳は内科系575名、外科253名、産婦人科111名などでした。期間中の夜間診療所の受診者数は106名でした。

図 2. 各科別の外来患者状況



病院および診療所来院患者比率

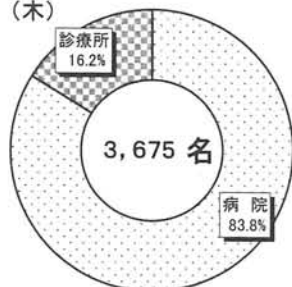
(図3、図4、図5、図6、図7、図8)

13日～16日の時間帯別の患者総数を岩手医大、二次救急病院、その他の病院、診療所、

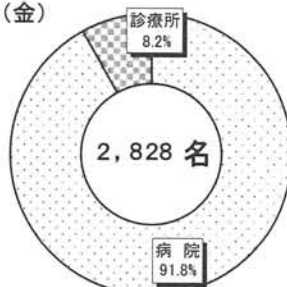
夜間急患診療所に分け図3～図8の円グラフに示しました。今年度も例年同様、大多数を岩手医大と二次救急病院に診ていただきました。

図3. 病院および診療所来院患者比率

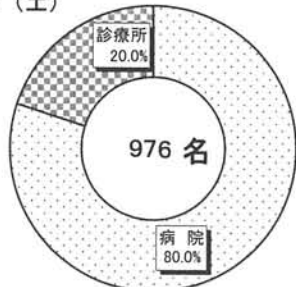
8月13日(木)



8月14日(金)



8月15日(土)



8月16日(日)

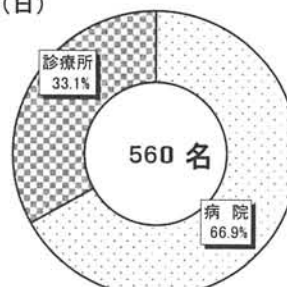
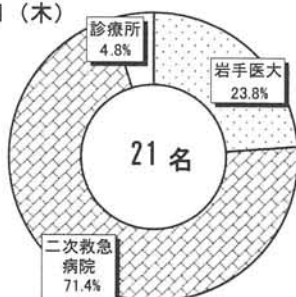
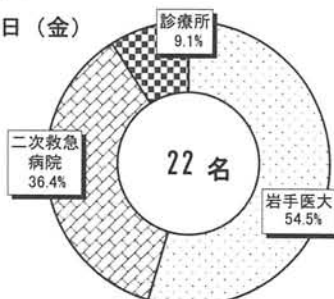


図4. 深夜(0:00 A.M.～6:00 A.M.)の来院患者比率

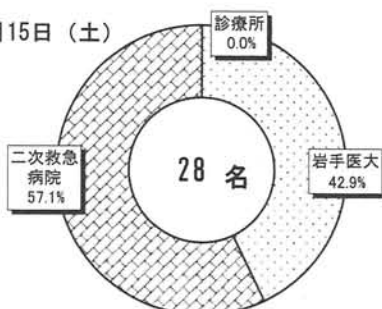
8月13日(木)



8月14日(金)



8月15日(土)



8月16日(日)

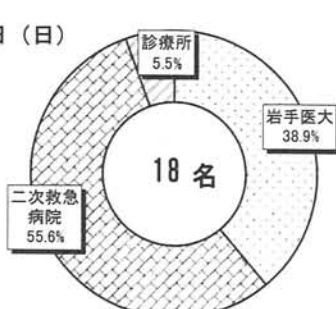


図 5. 時間外 A (6:00 A.M. ~ 9:00 A.M.) の来院患者比率

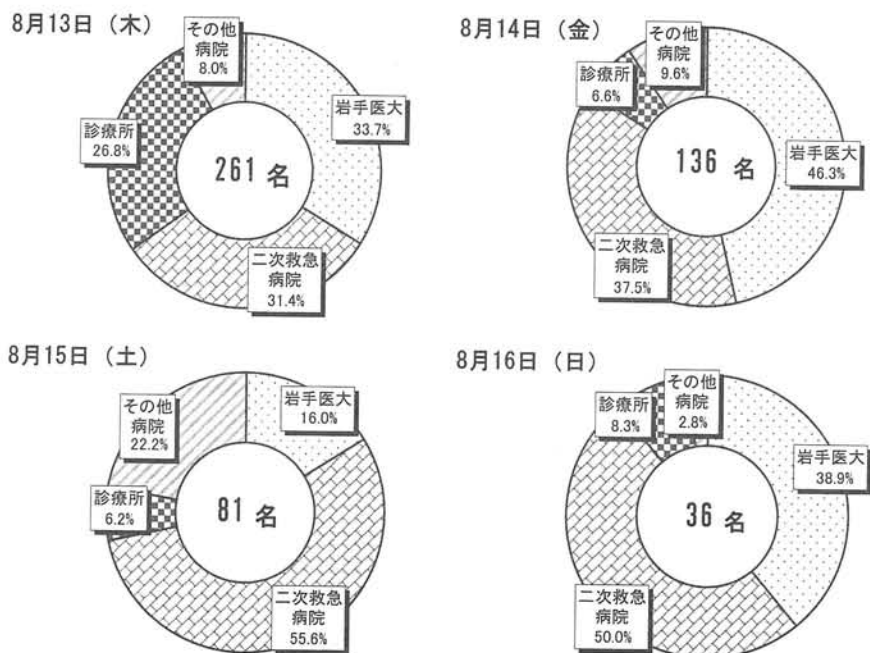


図 6. 日中 (9:00 A.M. ~ 5:00 P.M.) の来院患者比率

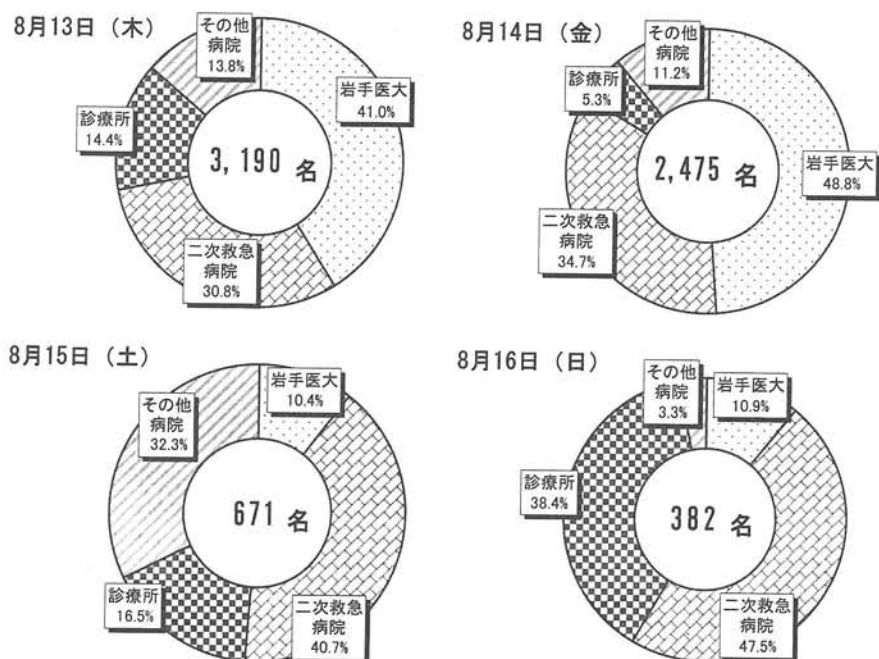


図 7. 時間外 B (5:00 P.M. ~ 8:00 P.M.) の来院患者比率

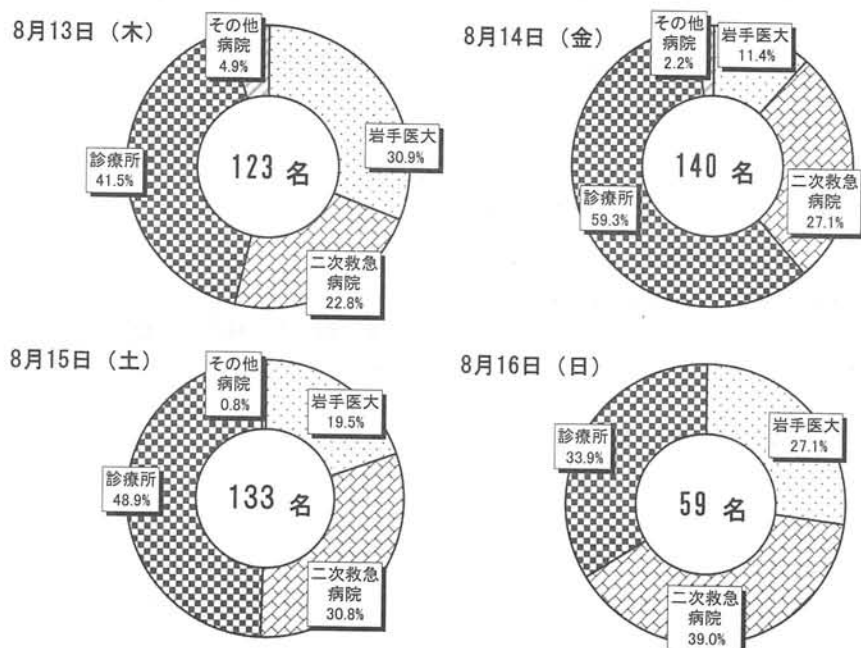
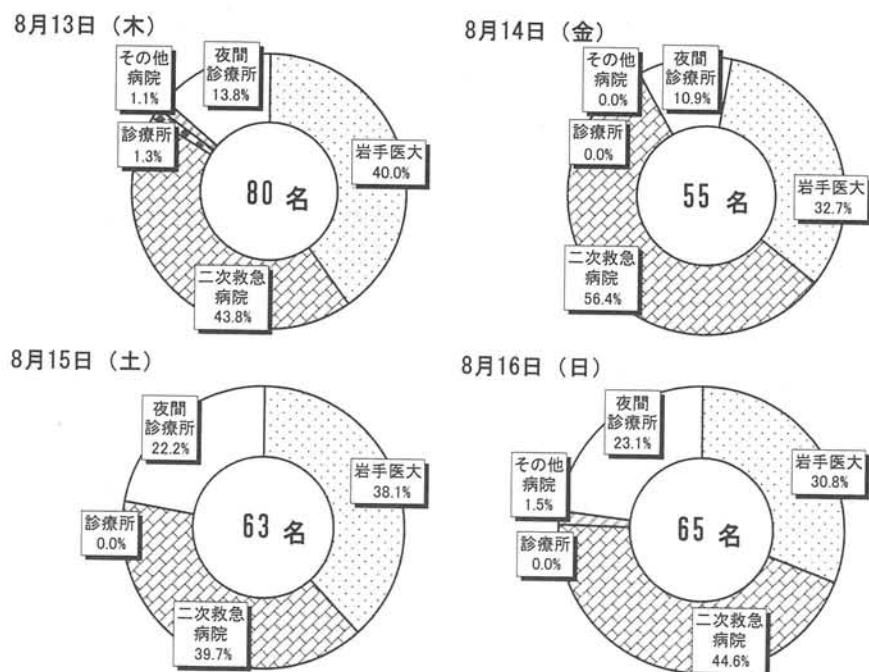


図 8. 夜間診療時間 (8:00 P.M. ~ 0:00 A.M.) の来院患者比率



※夜間急患診療所のみ現行時間 (PM7:00 ~ PM11:30) とする。

以上、平成27年度のお盆休み中の外来実態調査の結果をご報告となります。毎年、本アンケート調査に当たりましては各医療機関の

関係の皆様にご協力いただき100%の回収率となっており感謝申し上げます。

(鈴木知己)

2. 平成27年度年末年始外来患者実態調査報告

－244医療機関アンケート集計結果－

平成27年12月29日～平成28年1月3日までの外来患者アンケート調査について報告致します。アンケートは病院28施設、診療所216施設の合計244施設に依頼し100%の回収率でした（表1）。

表1. アンケート回収率（盛岡市）

	医療機関数	回収数	回収率
病 院	28	28	100%
診 療 所	216	216	100%
合 計	244	244	100%

表2. 診療科別診療所及び病院数

	診 療 科	医療機関数	計
診療所	内 科	92	216
	外 科	45	
	産 婦 人 科	12	
	小 児 科	13	
	眼 科	19	
	皮膚／泌尿器科	18	
	耳 鼻 咽 喉 科	16	
	夜 間 診 療 所	1	
病 院	二次救急病院	12	28
	その他の病院	16	

診療科別診療所及び病院数の内訳を示します。医療機関総数は昨年より2減の244施設でした。内訳は診療所は216、病院は28でした（表2）。

年末年始の休診ですが、12月29日は全日休診142、半日休診が40、診療が56施設、12月30日は全日休診225、半日休診が12、診療が1施設でした。12月31日は全日休診238、半日休診が0、診療が1施設、1月1日は全日休診238、半日休診が0、診療が1施設、1月2日は全日休診238、半日休診が0、診療が1施設

で、1月3日は全日休診238、半日休診が0、診療が1施設でした（表3）。

病院および診療所の12月29日から1月3日までの来院患者数を時間帯別に示しました。来院患者数は6日間で病院5,259名、診療所5,411名で合計10,670名でした。12月29日から1月3日までは昨年より約6,000名減の患者総数でした（表4）。

表3. 年末年始休診状況（市内243医療機関）

	12月29日 (火)	12月30日 (水)	12月31日 (木)	1月1日 (金)	1月2日 (土)	1月3日 (日)
全日休診	142	225	238	238	238	238
半日休診	40	12	0	0	0	0
診 療	56	1	1	1	1	1
当 番 医	5	5	4	4	4	4

※盛岡市夜間急患診療所は除く

表4. 病院及び診療所（12月29日～1月3日）の来院患者数（時間帯別）

月 日	曜 日	時間 機関	0 AM } 6 AM	6 AM } 9 AM	9 AM } 5 PM	5 PM } 8 PM	8 PM } 12PM	合 計
12月29日	火	病 院	15	149	2,942	47	57	3,210
		診 療 所	3	108	2,968	90	16	3,185
		合 計	18	257	5,910	137	73	6,395
12月30日	水	病 院	13	38	413	65	50	579
		診 療 所	0	9	765	29	11	814
		合 計	13	47	1,178	94	61	1,393
12月31日	木	病 院	25	33	283	49	37	427
		診 療 所	1	8	395	12	7	423
		合 計	26	41	678	61	44	850
1月1日	金	病 院	21	26	195	39	45	326
		診 療 所	0	4	349	23	4	380
		合 計	21	30	544	62	49	706
1月2日	土	病 院	36	36	237	48	47	404
		診 療 所	2	7	231	30	13	283
		合 計	38	43	468	78	60	687
1月3日	日	病 院	27	28	186	39	33	313
		診 療 所	0	2	293	17	14	326
		合 計	27	30	479	56	47	639
総 計		病 院	137	310	4,256	287	269	5,259
		診 療 所	6	138	5,001	201	65	5,411
		合 計	143	448	9,257	488	334	10,670

(名)

過去5年間における年末年始の患者総数の比較です（表5）。

夜間急患診療所の来院患者数は6日間で総数145名でした。1日の来院患者数は15～34名でした。今年は7：00PM～11：00PMまでに平均して来院がありました（表6）。

表5. 過去5年間における年末年始来院患者総数

月 日 \ 年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
12月29日(曜日)	7,869(木)	4,778(土)	814(日)	9,632(月)	6,395(火)
12月30日(曜日)	1,544(金)	1,032(日)	2,274(月)	1,807(火)	1,393(水)
12月31日(曜日)	989(土)	1,140(月)	864(火)	1,415(水)	850(木)
1月1日(曜日)	791(日)	812(火)	700(水)	1,230(木)	706(金)
1月2日(曜日)	1,066(月)	1,107(水)	873(木)	1,413(金)	687(土)
1月3日(曜日)	900(火)	864(木)	1,039(金)	1,274(土)	639(日)
計	13,159	9,733	6,564	16,771	10,670

(名)

表6. 夜間急患診療所来院患者数

月 日 \ 時間帯	12月29日(火)	12月30日(水)	12月31日(木)	1月1日(金)	1月2日(土)	1月3日(日)	計
7：00PM } 8：00PM	8	16	8	16	21	12	81
8：00PM } 11：00PM	16	11	7	4	13	13	64
計	24	27	15	20	34	25	145

(名)

夜間診療時間の来院患者総数は334名で、岩手医大が129名(38.6%)、二次救急病院(医大を除く)が133名(39.8%)、夜間急患診療所が64名(19.2%)とほぼ例年通りの割合でした(表7)。

二次救急病院の来院総数は前年度より2403名少ない4,560名で、岩手医大が2,653名(58.2%)と昨年より501名少ない受診数でした(表8)。

表7. 夜間診療時間(8:00PM~12:00PM)の来院患者数

() 内%

医療機関	月日	12月29日(火)	12月30日(水)	12月31日(木)	1月1日(金)	1月2日(土)	1月3日(日)	計
二次救急病院 (医大を除く)		24(32.9)	25(41.0)	22(50.0)	19(38.8)	21(35.0)	22(46.8)	133(39.8)
岩手医大		32(43.8)	25(41.0)	15(34.1)	25(51.0)	21(35.0)	11(23.4)	129(38.6)
その他の病院		1(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.0)	5(8.3)	0(0.0)	7(2.1)
診療所		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(2.1)	1(0.3)
夜間急患診療所 (8:00~11:30)		16(21.9)	11(18.0)	7(15.9)	4(8.2)	13(20.7)	13(27.7)	64(19.2)
計		73(100)	61(100)	44(100)	49(100)	60(100)	47(100)	334(100)

(名)

表8. 二次救急病院各病院別来院患者数

() 内%

医療機関	月日	12月29日(火)	12月30日(水)	12月31日(木)	1月1日(金)	1月2日(土)	1月3日(日)	合計
岩手医科大学		1,998(73.8)	138(27.1)	141(36.0)	125(42.1)	151(43.5)	100(32.6)	2,653(58.2)
岩手県立中央病院		94(3.5)	91(17.9)	109(27.8)	76(25.6)	80(23.1)	99(32.2)	549(12.0)
盛岡赤十字病院		38(1.4)	83(16.3)	46(11.7)	37(12.5)	44(12.7)	29(9.4)	277(6.1)
盛岡市立病院		8(0.3)	7(1.4)	7(1.8)	4(1.3)	8(2.3)	5(1.6)	39(0.9)
遠山病院		4(0.1)	4(0.8)	4(1.0)	1(0.3)	2(0.6)	0(0.0)	15(0.3)
高松病院		97(3.6)	97(19.1)	15(3.8)	11(3.7)	8(2.3)	20(6.5)	248(5.4)
栃内病院		164(6.1)	4(0.8)	10(2.6)	6(2.0)	5(1.4)	5(1.6)	194(4.3)
盛岡繁温泉病院		96(3.5)	4(0.8)	4(1.0)	2(0.7)	0(0.0)	8(2.6)	114(2.5)
盛岡友愛病院		1(0.0)	15(2.9)	16(4.1)	6(2.0)	8(2.3)	9(2.9)	55(1.2)
川久保病院		179(6.6)	17(3.3)	9(2.3)	8(2.7)	13(3.7)	7(2.3)	233(5.1)
国立病院機構盛岡病院		6(0.2)	2(0.4)	0(0.0)	5(1.7)	2(0.6)	3(1.0)	18(0.4)
八角病院		23(0.8)	47(9.2)	31(7.9)	16(5.4)	26(7.5)	22(7.2)	165(3.6)
合計		2,708(100)	509(100)	392(100)	297(100)	347(100)	307(100)	4,560(100)

(名)

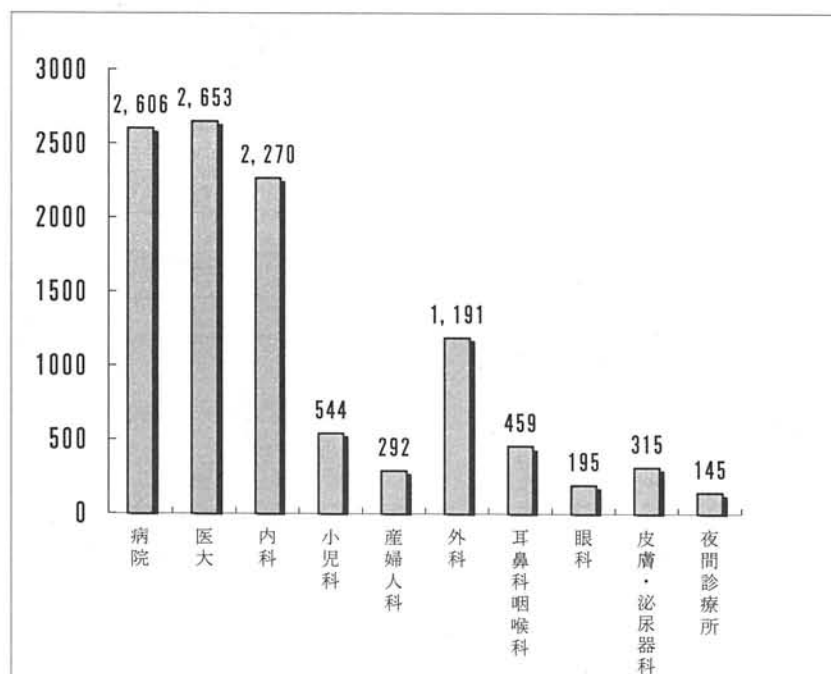
表9. 二次救急病院来院患者数

月日	時間	0 AM } 6 AM	6 AM } 9 AM	9 AM } 5 PM	5 PM } 8 PM	8 PM } 12 PM	合計
12月29日(火)		14	126	2468	44	56	2708
12月30日(水)		13	35	346	65	50	509
12月31日(木)		25	30	251	49	37	392
1月1日(金)		21	26	167	39	44	297
1月2日(土)		36	35	198	36	42	347
1月3日(日)		24	28	184	38	33	307
合計		133	280	3,614	271	262	4,560

表10. 岩手県高度救命救急センター来院患者数（3次）

時間 月日	0 AM } 6 AM	6 AM } 9 AM	9 AM } 5 PM	5 PM } 8 PM	8 PM } 12 PM	合 計
12月29日（火）	1	1	1	1	1	5
12月30日（水）	1	0	1	2	0	4
12月31日（木）	0	1	6	1	1	9
1月1日（金）	0	0	6	0	0	6
1月2日（土）	2	0	3	0	1	6
1月3日（日）	1	1	0	0	1	3
合 計	5	3	17	4	4	33

図1. 病院（医大、その他病院）診療所（診療科別）来院患者数



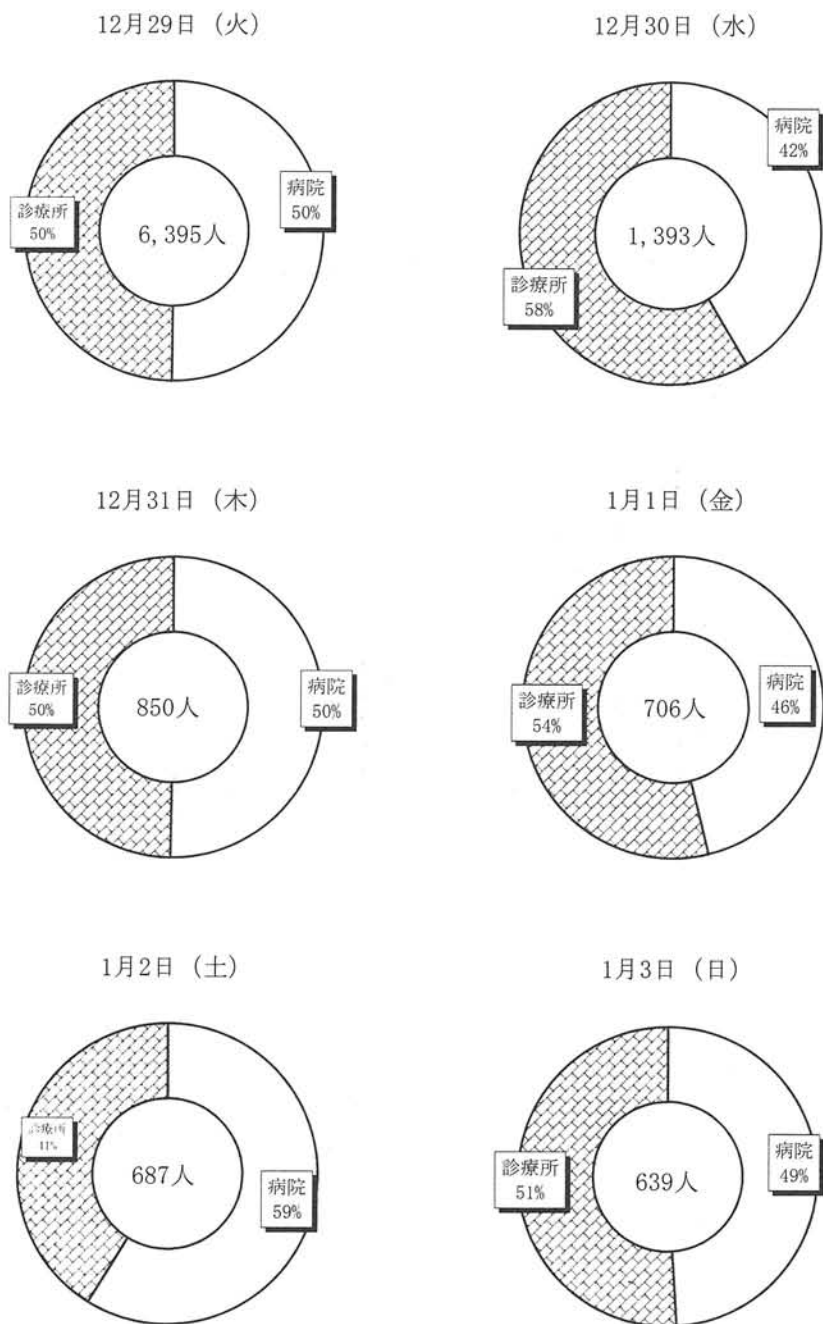
二次救急病院の来院患者数は4,560名でした。受診時間帯は9：00 AM～5：00 PMが最も多く受診していました（表9）。

岩手県高度救命救急センター来院患者数（3次）は33名で昨年と同数でした。受診時間帯は9：00 AM～5：00 PMに約半数の17名が受診していました（表10）。

病院（医大、その他の病院）および診療所（診療科別）来院患者数を棒グラフにしますと医大が2,653名、その他の病院が2,606名でした。診療所の診療科別では内科が2,270名、次いで外科が1,191名と多く受診していました（図1）。

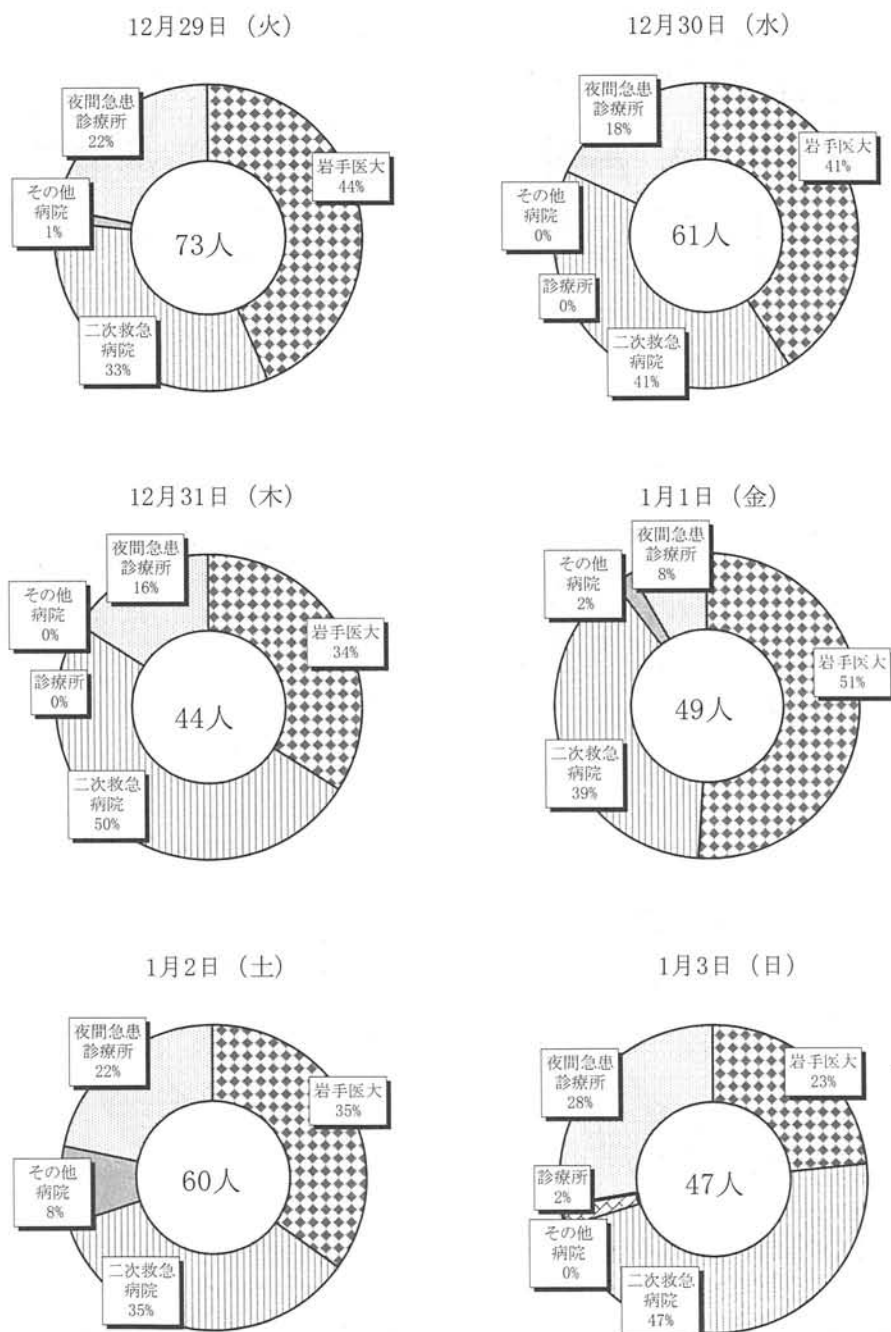
病院及び診療所の来院患者比率ですが、診療所の受診比率が病院をやや上回る結果となりました（図2）。

図2. 病院および診療所来院患者比率



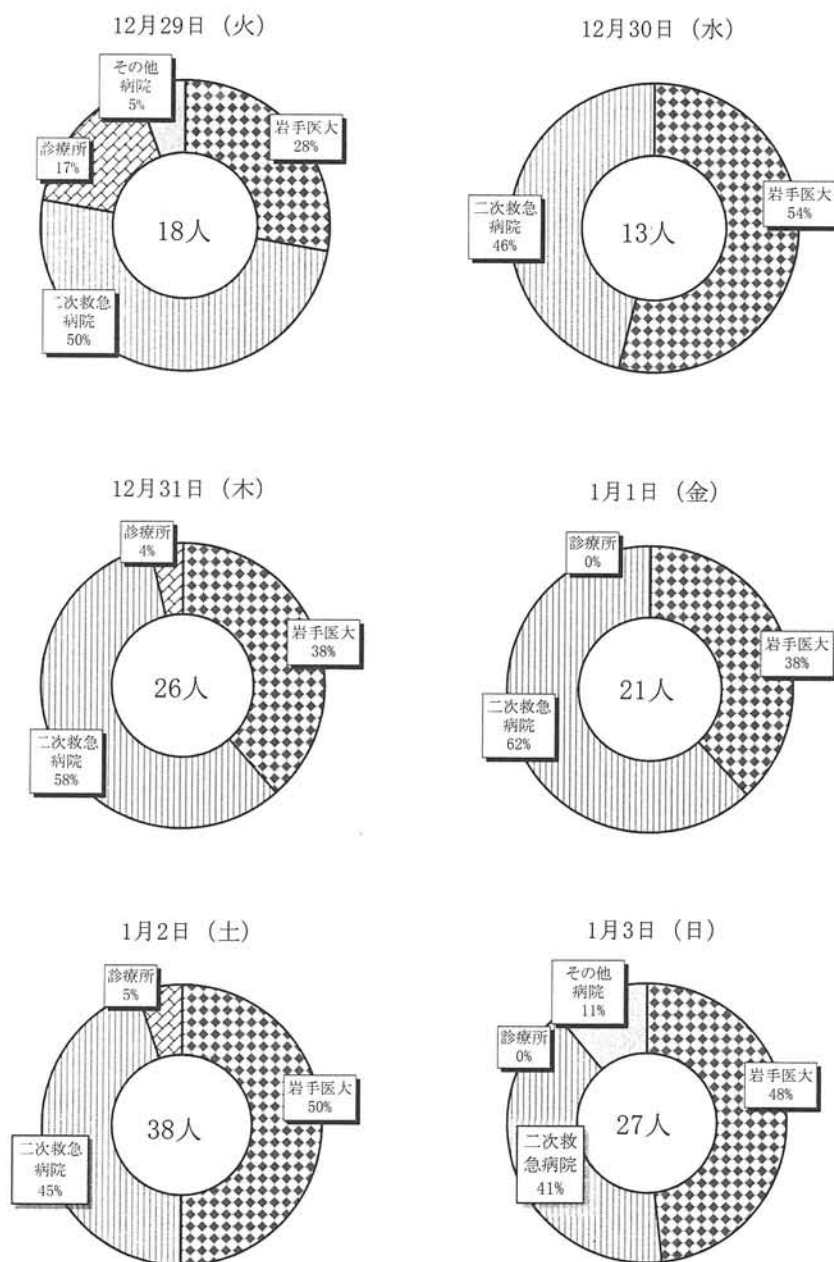
夜間診療時間（８：００PM～１２：００PM）の来院患者数を６日間の円グラフにしてみると岩手医大が２３％～５１％、二次救急病院が３３％～５０％を占めていました（図３）。

図３．夜間診療時間（８：００P.M.～１２：００P.M.）の来院患者数



深夜（0:00 AM～6:00 AM）の来院比率を6日間の円グラフでみると岩手医大と二次救急病院の比率が78%～100%を占めていました（図4）。

図4. 深夜（0:00 A.M.～6:00 A.M.）の来院比率



以上、平成27年度年末年始の外来患者実態調査結果を報告致しました。盛岡市の年末年始の診療に対しては当番医、夜間急患診療所で患者さんに配慮しておりますが万全とはいかない状況です。特に岩手医大を始め二次救急病院の先生方に大変お世話になり感謝致しております。今後とも宜しく願い申し上げます。尚、毎年本アンケート調査に当たり各医療機関の皆様の御協力をいただき100%の回収率となっております。今後とも御協力を宜しく願い申し上げます。（鈴木知己）

IV 盛岡地区二次救急医療体制 36年目のあゆみ

盛岡地区二次救急医療対策委員会

1. 実態報告

平成27年の二次救急医療体制について表1から表3に示すような各病院の割当回数と日程により行われた。またその報告については二次救急については表4のように、小児救急については表5のように報告されている。表6には各病院毎の月別と総数を示す。平成27年は総数57,515名であった。図2に総数の過去3年を比較したグラフを示す。平成26年より1,991の減少であった。(平成26年59,506名)表7、表8は来院患者の実態を示すもので、救急車搬入率は全体で15.2%であった。平成27年も県立中央病院が50%近くの救急車を引き受けている。表9、10、図4、5は時間帯別の病院別の救急車搬入数を示す。深夜帯は約84%がA群病院へ搬送されている。以下、土・日・祝日別・外来・入院別・時間外受診別分布を示す。

平成27年度は、前年度に発生したようなインフルエンザの流行など救急に関する大きな出来事はなく、総患者数が前年度に比較すると約2千名減少しており、穏やか1年であった。

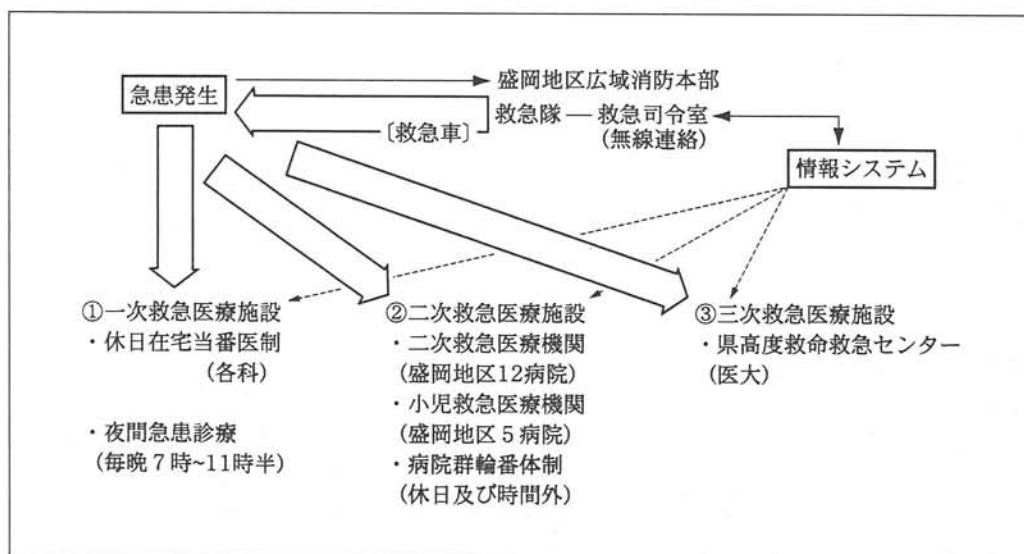


表 1

二 次 救 急 病 院 当 番 表

[illegible]

【注意事項】 1. 各病院の当直医(診療科)が変更されることがありますので、事前に電話で確認することをおすすめします。
※消防署(救急隊)は患者の状況により、直近または最も適していると考えられる二次救急病院を選定して連絡を入れますので、救急車から受入を要請された場合は可能な限り受入をお受けください。
2. 最終入院受入病院とは、急病について他の病院が受け入れられない場合、最終調整及び責任をもつ病院です。
3. 小児の入院が必要と思われる場合は、小児救急入院受入病院当番表をご参照下さい。
※印は、休日体制になっていますので、ご留意下さい。

表2 平成27年度(2015年4月～2016年3月)二次救急輪番病院年間回数

区 分 病 院	年 末 年 始	祝祭日	日曜日	土曜日	平 日	年 間 回 数	総回数
盛岡市立病院	1	0	6	6	28	41	48
八角病院	1	1	5	5	30	42	49
高松病院	1	3	5	5	26	40	49
盛岡繋温泉病院	0	2	6	6	27	41	49
県立中央病院	2	5	17	17	81	122	146
岩手医大附属病院	2	4	17	17	82	122	145
盛岡赤十字病院	2	6	17	17	80	122	147
遠山病院	1	3	5	5	25	39	48
栃内病院	1	2	5	6	27	41	49
盛岡友愛病院	0	1	5	6	28	40	46
川久保病院	0	1	7	6	26	40	48
国立盛岡病院	1	2	7	6	26	42	52
計	12	30	102	102	486	732	876

平成27年度(2015年4月～2016年3月)小児救急各病院当番コマ数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
中 央	15	16	15	17	15	15	16	15	17	15	12	15	183
日 赤	4	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	39
医 大	14	16	13	15	15	15	16	14	15	17	14	15	179
こども	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
川久保	3	4	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	38
合計	40	43	38	42	40	40	42	40	43	43	36	40	487

表3 二次救急医療輪番病院及び小児救急輪番病院日程表
(平成27年4月～6月)

4月		二次救急		小児救急	
日	曜	A	B	宿直	日直
1	水	医大	国立	日赤	
2	木	中	央八	医大	
3	金	日	赤友	中	央
4	上	医大	繁	こども	こども
5	日	中	央川	久保	医大
6	月	日	赤遠	山	中
7	火	医大	市立	川久保	
8	水	中	央榑	内	中
9	木	日	赤国	立	医大
10	金	医大	八	角	中
11	上	中	央高	松	日
12	日	日	赤繁	中	央
13	月	医大	川久保	中	央
14	火	中	央遠	山	川久保
15	水	日	赤市	立	中
16	木	医大	榑	内	日
17	金	中	央国	立	中
18	土	日	赤八	角	こども
19	日	医大	高	松	中
20	月	中	央友	愛	医大
21	火	日	赤遠	山	川久保
22	水	医大	川久保	日	赤
23	木	中	央市	立	医大
24	金	日	赤榑	内	中
25	上	医大	国	立	中
26	日	中	央八	角	医大
27	月	日	赤高	松	中
28	火	医大	友	愛	日
29	水	中	央繁	中	央
30	木	日	赤遠	山	医大

医大 9
中 央 17
日 赤 6
こども 4
川久保 3
合 計 39

5月		二次救急		小児救急	
日	曜	A	B	宿直	日直
1	金	医大	市立	医大	
2	土	中	央榑	内	中
3	日	日	赤国	立	医大
4	月	医大	八	角	日
5	火	中	央高	松	川久保
6	水	日	赤友	愛	中
7	木	医大	繁	日	赤
8	金	中	央川	久保	医大
9	上	日	赤市	立	こども
10	日	医大	榑	内	中
11	月	中	央国	立	中
12	火	日	赤八	角	川久保
13	水	医大	高	松	中
14	木	中	央友	愛	医大
15	金	日	赤繁	中	央
16	土	医大	川久保	日	赤
17	日	中	央遠	山	医大
18	月	日	赤榑	内	中
19	火	医大	国	立	川久保
20	水	中	央八	角	中
21	木	日	赤高	松	医大
22	金	医大	友	愛	日
23	土	中	央繁	こども	こども
24	日	日	赤川	久保	中
25	月	医大	遠	山	医大
26	火	中	央市	立	中
27	水	日	赤国	立	医大
28	木	医大	八	角	中
29	金	中	央高	松	日
30	土	日	赤友	愛	中
31	日	医大	繁	医大	医大

医大 12
中 央 17
日 赤 7
こども 4
川久保 4
合 計 44

6月		二次救急		小児救急	
日	曜	A	B	宿直	日直
1	月	中	央川	久保	中
2	火	日	赤遠	山	川久保
3	水	医大	市立	中	央
4	木	中	央榑	内	日
5	金	日	赤八	角	中
6	土	医大	高	松	こども
7	日	中	央友	愛	医大
8	月	日	赤川	久保	中
9	火	医大	繁	川久保	
10	水	中	央遠	山	中
11	木	日	赤市	立	医大
12	金	医大	榑	内	中
13	土	中	央国	立	日
14	日	日	赤高	松	中
15	月	医大	友	愛	医大
16	火	中	央繁	川久保	
17	水	日	赤川	久保	中
18	木	医大	遠	山	日
19	金	中	央市	立	医大
20	土	日	赤榑	内	こども
21	日	医大	国	立	中
22	月	中	央八	角	医大
23	火	日	赤友	愛	中
24	水	医大	繁	日	赤
25	木	中	央川	久保	医大
26	金	日	赤遠	山	中
27	土	医大	市立	中	央
28	日	中	央榑	内	日
29	月	日	赤国	立	医大
30	火	医大	八	角	中

医大 8
中 央 16
日 赤 7
こども 4
川久保 3
合 計 38

(平成27年7月～9月)

7 月		二次救急		小児救急	
日	曜	A	B	宿直	日直
1	水	中 央	高 松	医 大	
2	木	日 赤	繁	中 央	
3	金	医 大	川 久 保	中 央	
4	上	中 央	遠 山	日 赤	日 赤
5	日	日 赤	市 立	医 大	医 大
6	月	医 大	榑 内	中 央	
7	火	中 央	国 立	川 久 保	
8	水	日 赤	八 角	中 央	
9	木	中 央	高 松	中 央	
10	金	中 央	友 愛	日 赤	
11	土	日 赤	川 久 保	こども	こども
12	日	医 大	遠 山	中 央	中 央
13	月	中 央	市 立	医 大	
14	火	日 赤	榑 内	川 久 保	
15	水	医 大	国 立	中 央	
16	木	中 央	八 角	医 大	
17	金	日 赤	高 松	中 央	
18	土	医 大	友 愛	中 央	中 央
19	日	中 央	繁	日 赤	日 赤
20	月	日 赤	遠 山	医 大	医 大
21	火	医 大	市 立	川 久 保	
22	水	中 央	榑 内	中 央	
23	木	日 赤	国 立	中 央	
24	金	医 大	八 角	医 大	
25	土	中 央	高 松	こども	こども
26	日	日 赤	友 愛	医 大	中 央
27	月	医 大	繁	医 大	
28	火	中 央	川 久 保	中 央	
29	水	日 赤	市 立	医 大	
30	木	医 大	榑 内	中 央	
31	金	中 央	国 立	日 赤	

医 大 10
中 央 17
日 赤 6
こども 4
川 久 保 3
合 計 40

8 月		二次救急		小児救急	
日	曜	A	B	宿直	日直
1	土	日 赤	八 角	医 大	医 大
2	日	医 大	高 松	中 央	中 央
3	月	中 央	友 愛	医 大	
4	火	日 赤	繁	川 久 保	
5	水	医 大	川 久 保	中 央	
6	木	中 央	遠 山	日 赤	
7	金	日 赤	榑 内	中 央	
8	土	医 大	国 立	こども	こども
9	日	中 央	八 角	中 央	中 央
10	月	日 赤	高 松	中 央	
11	火	医 大	友 愛	川 久 保	
12	水	中 央	繁	日 赤	
13	木	日 赤	川 久 保	医 大	
14	金	医 大	遠 山	中 央	
15	土	中 央	市 立	日 赤	日 赤
16	日	日 赤	国 立	中 央	中 央
17	月	医 大	八 角	医 大	
18	火	中 央	高 松	川 久 保	
19	水	日 赤	友 愛	中 央	
20	木	医 大	繁	中 央	
21	金	中 央	川 久 保	日 赤	
22	土	日 赤	遠 山	こども	こども
23	日	医 大	市 立	中 央	中 央
24	月	中 央	榑 内	医 大	
25	火	日 赤	八 角	中 央	
26	水	医 大	高 松	医 大	
27	木	中 央	友 愛	中 央	
28	金	日 赤	繁	医 大	
29	土	医 大	川 久 保	日 赤	日 赤
30	日	中 央	遠 山	医 大	医 大
31	月	日 赤	市 立	中 央	

医 大 10
中 央 17
日 赤 7
こども 4
川 久 保 3
合 計 41

9 月		二次救急		小児救急	
日	曜	A	B	宿直	日直
1	火	医 大	榑 内	川 久 保	
2	水	中 央	国 立	日 赤	
3	木	日 赤	高 松	医 大	
4	金	医 大	友 愛	中 央	
5	土	中 央	繁	こども	こども
6	日	日 赤	川 久 保	中 央	中 央
7	月	医 大	遠 山	医 大	
8	火	中 央	市 立	川 久 保	
9	水	日 赤	榑 内	中 央	
10	木	医 大	国 立	医 大	
11	金	中 央	八 角	中 央	
12	土	日 赤	友 愛	医 大	医 大
13	日	医 大	繁	中 央	中 央
14	月	中 央	川 久 保	医 大	
15	火	日 赤	遠 山	川 久 保	
16	水	医 大	市 立	医 大	
17	木	中 央	榑 内	中 央	
18	金	日 赤	国 立	中 央	
19	土	医 大	八 角	こども	こども
20	日	中 央	高 松	医 大	医 大
21	月	日 赤	繁	中 央	中 央
22	火	医 大	川 久 保	日 赤	日 赤
23	水	中 央	遠 山	医 大	医 大
24	木	日 赤	市 立	中 央	
25	金	医 大	榑 内	中 央	
26	土	中 央	国 立	医 大	医 大
27	日	日 赤	八 角	中 央	中 央
28	月	医 大	高 松	医 大	
29	火	中 央	友 愛	中 央	
30	水	日 赤	川 久 保	医 大	

医 大 15
中 央 16
日 赤 3
こども 4
川 久 保 3
合 計 41

(平成27年10月～12月)

10月	二次救急		小児救急	
日曜日	A	B	宿直	日直
1	木	医大遠山	日赤	
2	金	中中央市立	中中央	
3	土	日赤栃内	こども	こども
4	日	医大国立	中中央	中中央
5	月	中中央八角	医大	
6	火	日赤高松	川久保	
7	水	医大友愛	中中央	
8	木	中中央繁	医大	
9	金	日赤遠山	中中央	
10	土	日赤市立	日赤	日赤
11	日	中中央栃内	医大	医大
12	月	日赤国立	中中央	中中央
13	火	医大八角	川久保	
14	水	中中央高松	医大	
15	木	日赤友愛	中中央	
16	金	医大繁	医大	
17	土	中中央川久保	中中央	中中央
18	日	日赤市立	医大	医大
19	月	日赤大栃内	中中央	
20	火	中中央国立	川久保	
21	水	日赤八角	医大	
22	木	医大高松	中中央	
23	金	中中央友愛	医大	
24	土	日赤繁	こども	こども
25	日	日赤大川久保	中中央	中中央
26	月	中中央遠山	医大	
27	火	日赤栃内	中中央	
28	水	医大国立	日赤	
29	木	中中央八角	医大	
30	金	日赤高松	中中央	
31	土	医大友愛	医大	医大

医大 14
中中央 16
日赤 4
こども 4
川久保 3
合 計 41

11月	二次救急		小児救急	
日曜日	A	B	宿直	日直
1	日	中中央繁	中中央	中中央
2	月	日赤川久保	医大	
3	火	医大遠山	川久保	川久保
4	水	中中央市立	中中央	
5	木	日赤国立	中中央	
6	金	医大八角	医大	
7	土	中中央高松	こども	こども
8	日	日赤友愛	中中央	中中央
9	月	日赤繁	医大	
10	火	中中央繁	川久保	
11	水	日赤川久保	中中央	
12	木	医大市立	日赤	
13	金	中中央栃内	中中央	
14	土	日赤八角	医大	医大
15	日	日赤大高松	中中央	中中央
16	月	中中央友愛	医大	
17	火	日赤繁	川久保	
18	水	医大川久保	医大	
19	木	中中央遠山	中中央	
20	金	日赤市立	中中央	
21	土	医大栃内	こども	こども
22	日	中中央国立	日赤	日赤
23	月	日赤高松	医大	医大
24	火	医大友愛	中中央	
25	水	中中央繁	中中央	
26	木	日赤川久保	医大	
27	金	医大遠山	日赤	
28	土	中中央市立	医大	医大
29	日	日赤栃内	中中央	中中央
30	月	医大国立	医大	

医大 13
中中央 16
日赤 4
こども 4
川久保 4
合 計 41

12月	二次救急		小児救急	
日曜日	A	B	宿直	日直
1	火	中中央八角	川久保	
2	水	日赤友愛	中中央	
3	木	医大繁	中中央	
4	金	中中央川久保	医大	
5	土	日赤遠山	こども	こども
6	日	医大市立	医大	医大
7	月	中中央栃内	中中央	
8	火	日赤国立	川久保	
9	水	医大八角	中中央	
10	木	中中央高松	日赤	
11	金	日赤繁	医大	
12	土	医大川久保	中中央	中中央
13	日	中中央遠山	医大	医大
14	月	日赤市立	中中央	
15	火	医大栃内	川久保	
16	水	中中央国立	医大	
17	木	日赤八角	中中央	
18	金	医大高松	中中央	
19	土	中中央友愛	医大	医大
20	日	日赤川久保	中中央	中中央
21	月	医大遠山	医大	
22	火	中中央市立	日赤	
23	水	日赤栃内	中中央	中中央
24	木	医大国立	医大	
25	金	中中央八角	日赤	
26	土	日赤高松	こども	こども
27	日	医大友愛	中中央	中中央
28	月	中中央繁	中中央	
29	火	日赤遠山	医大	医大
30	水	医大市立	日赤	日赤
31	木	中中央栃内	中中央	中中央

医大 13
中中央 18
日赤 5
こども 4
川久保 3
合 計 43

(平成28年1月～3月)

1 月	二次救急		小児救急	
日曜日	A	B	宿直	日直
1	金	日 赤 国 立	医 大	医 大
2	土	医 大 八 角	こども	こども
3	日	中 央 高 松	中 央	中 央
4	月	日 赤 友 愛	中 央	
5	火	医 大 繁	川 久 保	
6	水	中 央 川 久 保	中 央	
7	木	日 赤 市 立	医 大	
8	金	医 大 栃 内	中 央	
9	土	日 中 央 国 立	医 大	医 大
10	日	日 赤 八 角	医 大	医 大
11	月	医 大 高 松	中 央	中 央
12	火	中 央 友 愛	川 久 保	
13	水	日 赤 繁	中 央	
14	木	医 大 川 久 保	日 赤	
15	金	中 央 遠 山	医 大	
16	土	日 赤 栃 内	こども	こども
17	日	医 大 国 立	中 央	中 央
18	月	中 央 八 角	中 央	
19	火	日 赤 高 松	川 久 保	
20	水	医 大 友 愛	中 央	
21	木	中 央 繁	中 央	
22	金	日 赤 川 久 保	医 大	
23	土	医 大 遠 山	日 赤	日 赤
24	日	中 央 市 立	医 大	医 大
25	月	日 赤 国 立	中 央	
26	火	医 大 八 角	医 大	
27	水	中 央 高 松	中 央	
28	木	日 赤 友 愛	中 央	
29	金	医 大 繁	日 赤	
30	土	中 央 川 久 保	医 大	医 大
31	日	日 赤 遠 山	中 央	中 央

医 大 15
中 央 17
日 赤 4
こども 4
川 久 保 3
合 計 43

2 月	二次救急		小児救急	
日曜日	A	B	宿直	日直
1	月	医 大 市 立	医 大	
2	火	中 央 栃 内	川 久 保	
3	水	日 赤 八 角	中 央	
4	木	医 大 高 松	日 赤	
5	金	中 央 友 愛	中 央	
6	土	日 赤 繁	こども	こども
7	日	医 大 川 久 保	中 央	中 央
8	月	中 央 遠 山	医 大	
9	火	日 赤 市 立	川 久 保	
10	水	医 大 栃 内	中 央	
11	木	中 央 国 立	医 大	医 大
12	金	日 赤 高 松	中 央	
13	土	医 大 友 愛	日 赤	日 赤
14	日	中 央 繁	医 大	医 大
15	月	日 赤 川 久 保	中 央	
16	火	医 大 遠 山	川 久 保	
17	水	中 央 市 立	中 央	
18	木	日 赤 栃 内	医 大	
19	金	医 大 国 立	中 央	
20	土	中 央 八 角	こども	こども
21	日	日 赤 友 愛	中 央	中 央
22	月	医 大 繁	医 大	
23	火	中 央 川 久 保	日 赤	
24	水	日 赤 遠 山	中 央	
25	木	医 大 市 立	中 央	
26	金	中 央 栃 内	医 大	
27	土	日 赤 国 立	医 大	医 大
28	日	医 大 八 角	中 央	中 央
29	月	中 央 高 松	医 大	

医 大 12
中 央 15
日 赤 4
こども 4
川 久 保 3
合 計 38

3 月	二次救急		小児救急	
日曜日	A	B	宿直	日直
1	火	日 赤 繁	川 久 保	
2	水	医 大 川 久 保	中 央	
3	木	中 央 遠 山	日 赤	
4	金	日 赤 市 立	中 央	
5	土	医 大 栃 内	こども	こども
6	日	中 央 国 立	医 大	医 大
7	月	日 赤 八 角	中 央	
8	火	医 大 高 松	川 久 保	
9	水	中 央 友 愛	日 赤	
10	木	日 赤 川 久 保	中 央	
11	金	医 大 遠 山	中 央	
12	土	中 央 市 立	日 赤	日 赤
13	日	日 赤 栃 内	中 央	中 央
14	月	医 大 国 立	医 大	
15	火	中 央 八 角	川 久 保	
16	水	日 赤 高 松	中 央	
17	木	医 大 友 愛	医 大	
18	金	中 央 繁	医 大	
19	土	日 赤 遠 山	こども	こども
20	日	医 大 市 立	中 央	中 央
21	月	中 央 栃 内	医 大	医 大
22	火	日 赤 国 立	中 央	
23	水	医 大 八 角	医 大	
24	木	中 央 高 松	中 央	
25	金	日 赤 友 愛	医 大	
26	土	医 大 繁	中 央	中 央
27	日	中 央 川 久 保	医 大	医 大
28	月	日 赤 市 立	中 央	
29	火	医 大 栃 内	医 大	
30	水	中 央 国 立	中 央	
31	木	日 赤 八 角	医 大	

医 大 13
中 央 16
日 赤 4
こども 4
川 久 保 3
合 計 40

表4 二次救急急患データ

月 日			1日		2日		3日		4日		5日		6日		7日															
曜 日			日		月		火		水		木		金		土															
病 院 名			外	来入	院外	来入	院外	来入	院外	来入	院外	来入	院外	来入	院外	来入	院													
			救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室	救急室													
深夜	AM0 ～ AM6	内科系		1	1			2	1	1	1	2	1			1	1		1		1									
		外科系		1							1					2	1		1											
		小児科	1											1		1	1		1											
		産 科																												
		その他						1									1													
時間外	AM6 ～ AM9	内科系	1		1		1	2		2	3		1		1	1		1		1										
		外科系	1	1	2				2					2	2			1		1	1									
		小児科	1				1											1												
		産 科																1												
		その他		1					1					1						1										
土曜日	AM9 ～ PM0	内科系																	2	2		1								
		外科系																		5										
		小児科																												
		産 科																												
		その他																												
土曜日	PM0 ～ PM5	内科系																	2	1	1	1								
		外科系																	9		1									
		小児科																			1									
		産 科																												
		その他																		2		1								
日曜日	AM9 ～ PM5	内科系	5	2	3	2			6	1	1	1																		
		外科系	9	1	1	2			13		1																			
		小児科	7		2				1																					
		産 科			1																									
		その他	1	1	1				2																					
時間外	PM5 ～ PM8	内科系	6			1	1	1	1	2			1	2		1	1	3	1	2	6		1							
		外科系	3			4	5	1		3			1	3	3	2	6	1	1	1	3	1	1							
		小児科	4					1		1				6			2			3										
		産 科																												
		その他															1			1	1									
夜間	PM8 ～ PM12	内科系	3	1	1		6		1	1			6	1	1	1	2		1	1	2		3	2	1	1				
		外科系	2				4		1		4			4	2		4		1		1			1		1				
		小児科	8				2			1			4		1		3													
		産 科						1																						
		その他											2				1			1										
合 計			52	7	14	9	20	3	5	3	40	3	3	7	32	7	3	4	24	4	3	5	15	10	7	1	39	6	7	

二次救急患者（以下二次患者と略記す）データについては表4に示す通り、小児救急患者（以下小児患者と略記す）（以下小児患者と略記す）については表5に示す通りの資料を各二次救急医療病院より各病院事務長の責任において1ヵ月分をまとめ、翌月中旬まで医師会に提出される。

表5 小児救急患者データ

月	日	1日輪番日		2日		3日		4日輪番日		5日		6日輪番日		7日	
曜	日	日		月		火		水		木		金		土	
病	院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院
時	間	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車	救急車
深	AM 0	2		1				3				1			
夜	AM 6														
時	AM 6														
間	AM 9														
外	AM 9														
土	PM 0													1	
曜	PM 0														
日	PM 5														
日	AM 9	12	1												
祭	PM 5														
時	PM 5	4	1					2				3			
間	PM 8														
外	PM 8	3	1	1		1		5				3	1	1	
時	PM 12														
合	計	15	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

表6に平成27年の月別の患者数を示した。患者数では昨年平成26年を1,991名下回った。

例年通り受診する患者数は岩手医大が36.7%、中央病院が31.6%、赤十字病院が12.5%で全体の80.8%を占めている。

表7には救急車搬入数を示している。中央病院が4,466件、岩手医大1,330件、赤十字病院は1,245件となっている。

(高度救命救急センターに搬送した例はすべて三次救急としたため、このデータには含まれていない。)

表6 病院別・月別二次救急患者年間総数

病院名	年月												合計 (名)	月平均	比率 (%)
	2015年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
中央病院	2,013	1,318	1,290	1,440	1,829	1,379	1,598	1,478	1,488	1,377	1,363	1,584	18,157	1,513	31.6
日赤病院	851	550	517	538	769	532	555	710	579	471	509	631	7,212	601	12.5
市立病院	107	58	52	76	91	62	75	95	79	68	53	64	880	73	1.5
遠山病院	29	52	13	19	26	21	40	31	62	11	9	29	342	29	0.6
八角病院	459	261	229	192	325	183	222	241	182	157	145	236	2,832	236	4.9
岩手医大	2,460	1,428	1,548	1,471	2,133	1,444	1,607	1,908	1,962	1,665	1,669	1,804	21,099	1,758	36.7
高松病院	176	120	90	125	125	116	103	111	134	107	102	147	1,456	121	2.5
栃内病院	51	49	37	52	190	63	52	41	64	44	84	80	807	67	1.4
繋温泉病院	72	51	42	29	60	35	63	43	41	50	38	39	563	47	1.0
友愛病院	195	93	84	87	131	78	135	110	134	78	82	111	1,318	110	2.3
川久保病院	237	177	135	207	264	123	235	173	153	277	123	229	2,333	194	4.1
国立盛岡病院	67	31	30	23	67	39	50	46	46	30	40	47	516	43	0.9
合 計	6,717	4,188	4,067	4,259	6,010	4,075	4,735	4,987	4,924	4,335	4,217	5,001	57,515	4,793	100

図2 二次救急病院来院患者総数月別分布

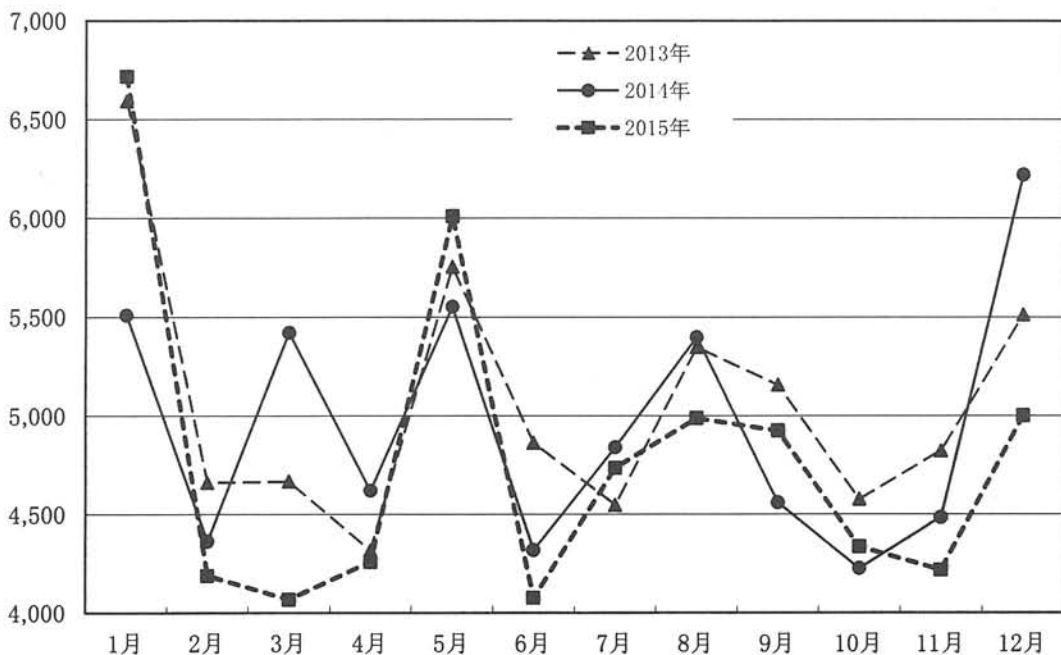


表7 二次救急医療病院における来院患者の実態（年間総数）

2015年.1月 ～12月	外 来		入 院		うち救急車搬入		総 数
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	
中 央 病 院	14,302 ^名	28.7 [%]	3,855 ^名	50.1 [%]	4,466 ^名	51.2 [%]	18,157 ^名
日 赤 病 院	5,872	11.8	1,340	17.4	1,245	14.3	7,212
市 立 病 院	689	1.4	191	2.5	212	2.4	880
遠 山 病 院	259	0.5	83	1.1	58	0.7	342
八 角 病 院	2,665	5.3	167	2.2	211	2.4	2,832
岩 手 医 大	19,884	39.9	1,215	15.8	1,330	15.2	21,099
高 松 病 院	1,284	2.6	172	2.2	357	4.1	1,456
栃 内 病 院	722	1.4	85	1.1	165	1.9	807
繋 温 泉 病 院	419	0.8	144	1.9	126	1.4	563
友 愛 病 院	1,176	2.4	142	1.8	205	2.4	1,318
川 久 保 病 院	2,159	4.3	174	2.3	187	2.1	2,333
国立盛岡病院	396	0.8	120	1.6	161	1.8	516
合 計	49,827	100	7,688	100	8,723	100	57,515

表8 二次救急医療病院における来院患者の実態（月平均）

2015年.1月 ～12月	外 来 患 者 数	入 院 患 者 数	救急車搬入 患 者 数	総 数
中 央 病 院	1,192 ^名	321 ^名	372 ^名	1513 ^名
日 赤 病 院	489	112	104	601
市 立 病 院	57	16	18	73
遠 山 病 院	22	7	5	29
八 角 病 院	222	14	18	236
岩 手 医 大	1,657	101	111	1,758
高 松 病 院	107	14	30	121
栃 内 病 院	60	7	14	67
繋 温 泉 病 院	35	12	11	47
友 愛 病 院	98	12	17	110
川 久 保 病 院	180	15	16	194
国立盛岡病院	33	10	13	43
合 計	4,152	641	727	4,793

図3 二次救急医療病院における来院患者の外来・入院・救急車搬入（表7参照）

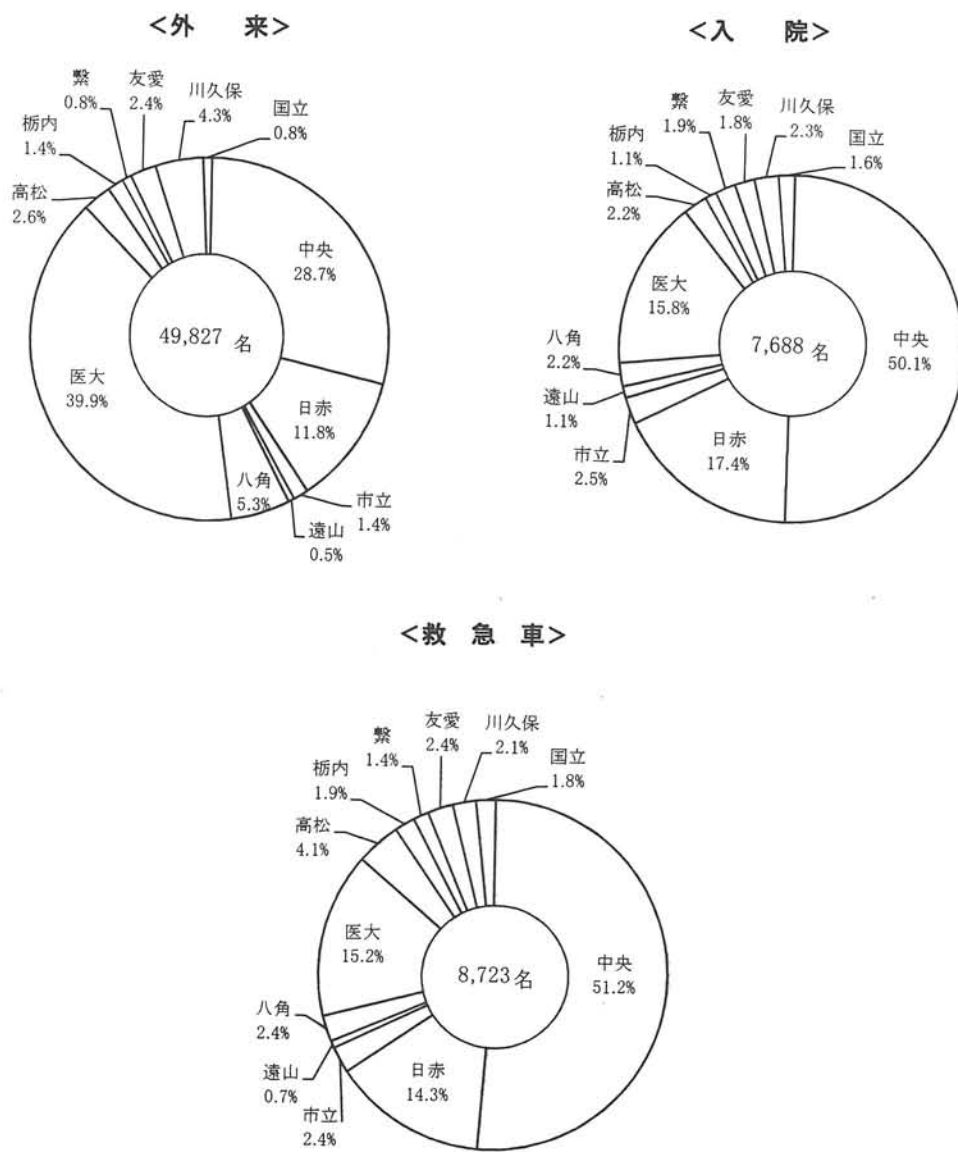


表 9 二次救急医療病院における救急車搬入患者内訳（2015.1～2015.12）その 1

時間帯 (表 4 参照)	外 来		入 院		科 別	外 来		入 院	
	患者数	比 率	患者数	比 率		患者数	比 率	患者数	比 率
深 夜	973 名	18.3 %	532 名	15.6 %	内科系	1,995 名	37.5 %	1,828 名	53.7 %
時間外A	721	13.6	410	12.0	外科系	2,801	52.7	1,295	38.0
土曜日(1)	116	2.2	113	3.3	その他	520	9.8	284	8.3
土曜日(2)	271	5.1	191	5.6	計	5,316	(100)	3,407	(100)
日 祭 日	789	14.8	443	13.0					
時間外B	1,176	22.1	888	26.1					
夜 間	1,270	23.9	830	24.4					
計	5,316	(100)	3,407	(100)					

図 4 二次救急医療病院における救急車搬入内訳

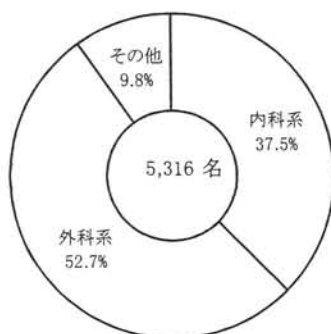
<外来・時間帯別>



<入院・時間帯別>



<外来・診療科別>



<入院・診療科別>

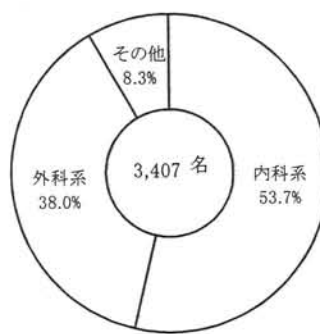
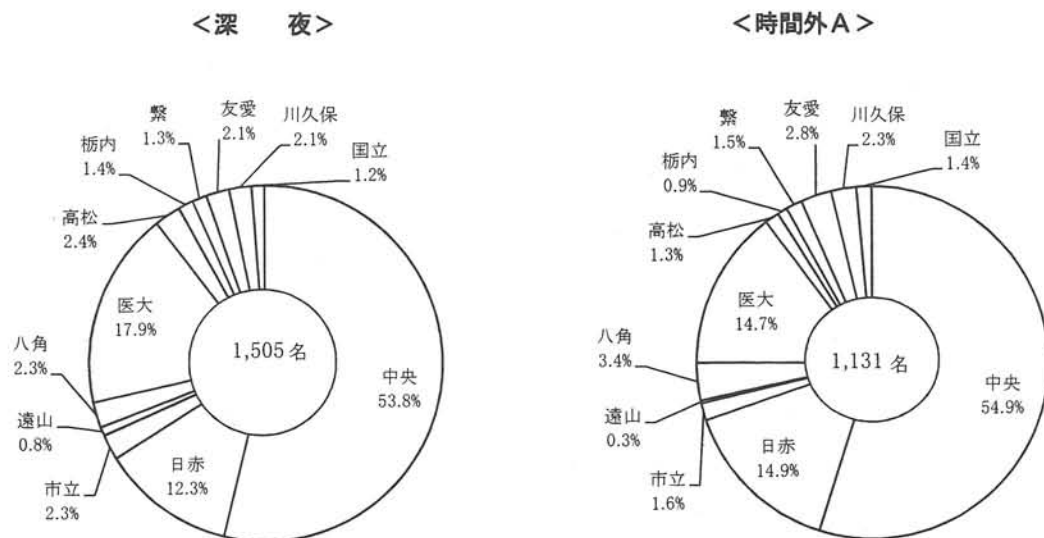


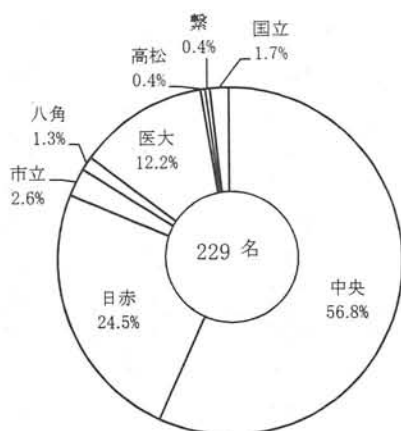
表10 二次救急医療病院における病院別救急車搬入患者内訳（2015.1～2015.12）

病院名	深 夜		時間外A		土曜日(1)		土曜日(2)		日曜日		時間外B		夜 間		総 合	
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
中央病院	810	53.8	621	54.9	130	56.8	245	53.0	533	43.3	1,070	51.8	1,057	50.3	4,466	51.2
日赤病院	185	12.3	168	14.9	56	24.5	83	18.0	188	15.3	277	13.4	288	13.7	1,245	14.3
市立病院	35	2.3	18	1.6	6	2.6	13	2.8	36	2.9	52	2.5	52	2.5	212	2.4
遠山病院	12	0.8	3	0.3	0	0.0	2	0.4	9	0.7	11	0.5	21	1.0	58	0.7
八角病院	35	2.3	39	3.4	3	1.3	12	2.6	24	1.9	45	2.2	53	2.5	211	2.4
岩手医大	270	17.9	166	14.7	28	12.2	26	5.6	218	17.7	272	13.2	350	16.7	1,330	15.2
高松病院	36	2.4	15	1.3	1	0.4	35	7.6	100	8.1	120	5.8	50	2.4	357	4.1
栃内病院	21	1.4	10	0.9	0	0.0	13	2.8	36	2.9	45	2.2	40	1.9	165	1.9
磐温泉病院	20	1.3	17	1.5	1	0.4	4	0.9	12	1.0	28	1.4	44	2.1	126	1.4
友愛病院	32	2.1	32	2.8	0	0.0	8	1.7	28	2.3	52	2.5	53	2.5	205	2.4
川久保病院	31	2.1	26	2.3	0	0.0	5	1.1	14	1.1	52	2.5	59	2.8	187	2.1
国立盛岡病院	18	1.2	16	1.4	4	1.7	16	3.5	34	2.8	40	1.9	33	1.6	161	1.8
合 計	1,505	(100)	1,131	(100)	229	(100)	462	(100)	1,232	(100)	2,064	(100)	2,100	(100)	8,723	(100)

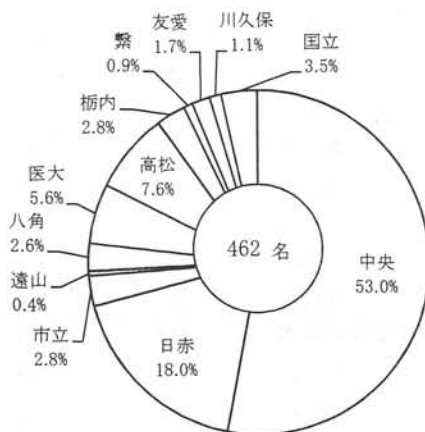
図5 二次救急医療病院における病院別、時間帯毎の救急車搬入内訳



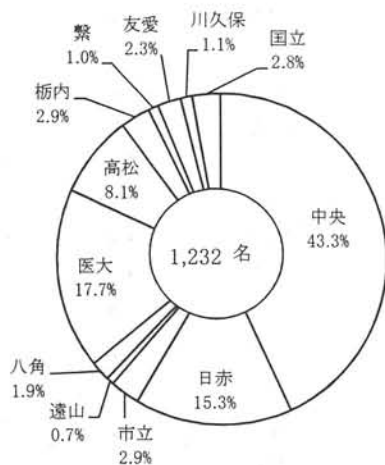
<土曜日 (1)>



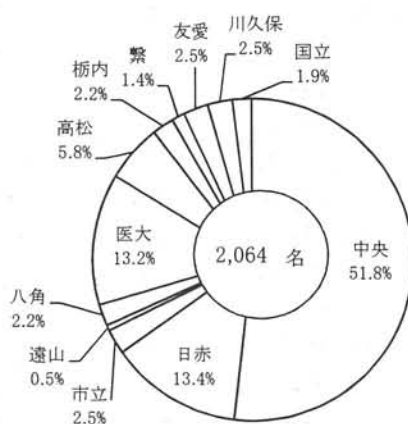
<土曜日 (2)>



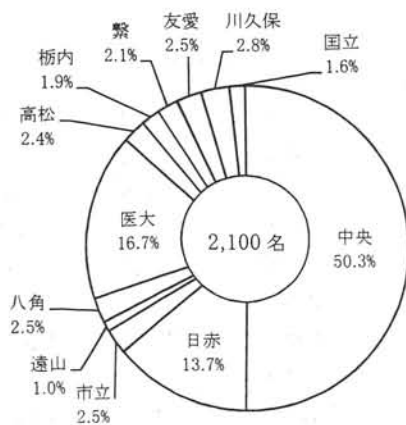
<日 祭 日>



<時間外B>



<夜 間>



<総 合>

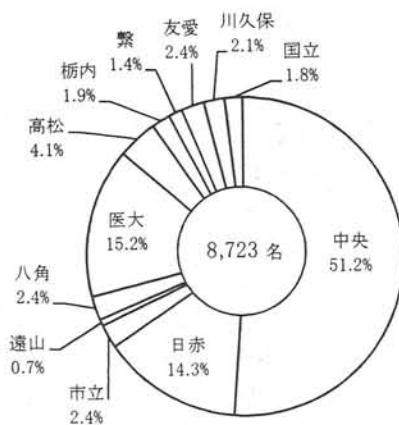


表11 二次救急医療病院における外来・入院総合分布（系別による分類Ⅰ）

年 間 総 数		総 合			月 平 均		
		外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
中 央 病 院	内科系	5,950名	2,025名	7,975名	495.8名	168.8名	664.6
	外科系	5,014	1,175	6,189	417.8	97.9	515.8
	その他	3,338	655	3,993	278.2	54.6	332.8
日 赤 病 院	内科系	1,869	465	2,334	155.8	38.8	194.5
	外科系	2,763	551	3,314	230.3	45.9	276.2
	その他	1,240	324	1,564	103.3	27.0	130.3
市 立 病 院	内科系	304	106	410	25.3	8.8	34.2
	外科系	343	74	417	28.6	6.2	34.8
	その他	42	11	53	3.5	0.9	4.4
遠 山 病 院	内科系	178	66	244	14.8	5.5	20.3
	外科系	78	17	95	6.5	1.4	7.9
	その他	3	0	3	0.3	0.0	0.3
八 角 病 院	内科系	2,075	138	2,213	172.9	11.5	184.4
	外科系	590	29	619	49.2	2.4	51.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
岩 手 医 大	内科系	6,965	492	7,457	580.4	41.0	621.4
	外科系	9,368	303	9,671	780.7	25.3	805.9
	その他	3,551	420	3,971	295.9	35.0	330.9
高 松 病 院	内科系	443	14	457	36.9	1.2	38.1
	外科系	841	158	999	70.1	13.2	83.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	内科系	9	0	9	0.8	0.0	0.8
	外科系	713	85	798	59.4	7.1	66.5
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
繋 温 泉 病 院	内科系	409	144	553	34.1	12.0	46.1
	外科系	10	0	10	0.8	0.0	0.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
友 愛 病 院	内科系	901	122	1,023	75.1	10.2	85.3
	外科系	169	4	173	14.1	0.3	14.4
	その他	106	16	122	8.8	1.3	10.2
川 久 保 病 院	内科系	1,043	143	1,186	86.9	11.9	98.8
	外科系	25	2	27	2.1	0.2	2.3
	その他	1,091	29	1,120	90.9	2.4	93.3
国立盛岡病院	内科系	106	64	170	8.8	5.3	14.2
	外科系	288	55	343	24.0	4.6	28.6
	その他	2	1	3	0.2	0.1	0.3
合 計	内科系	20,252	3,779	24,031	1,687.7	314.9	2,002.6
	外科系	20,202	2,453	22,655	1,683.5	204.4	1,887.9
	その他	9,373	1,456	10,829	781.1	121.3	902.4
総 合 計		49,827	7,688	57,515	4,152.3	640.7	4,792.9
				1日平均	136.5	21.1	157.6

表12 二次救急医療病院における外来・入院総合分布（系別による分類Ⅱ）

病 院 名	内 科 名		外 科 名		そ の 他	
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
中 央 病 院	7,975 名	33.2 %	6,189 名	27.3 %	3,993 名	36.9 %
日 赤 病 院	2,334	9.7	3,314	14.6	1,564	14.4
市 立 病 院	410	1.7	417	1.8	53	0.5
遠 山 病 院	244	1.0	95	0.4	3	0.03
八 角 病 院	2,213	9.2	619	2.7	0	0.0
岩 手 医 大	7,457	31.0	9,671	42.7	3,971	36.7
高 松 病 院	457	1.9	999	4.4	0	0.0
栃 内 病 院	9	0.04	798	3.5	0	0.0
繋 温 泉 病 院	553	2.3	10	0.04	0	0.0
友 愛 病 院	1,023	4.3	173	0.8	122	1.1
川 久 保 病 院	1,186	4.9	27	0.1	1,120	10.3
国立盛岡病院	170	0.7	343	1.5	3	0.03
計	24,031	(100)	22,655	(100)	10,829	(100)

図 6 二次救急医療病院における来院患者の総合分布（系別による分類）

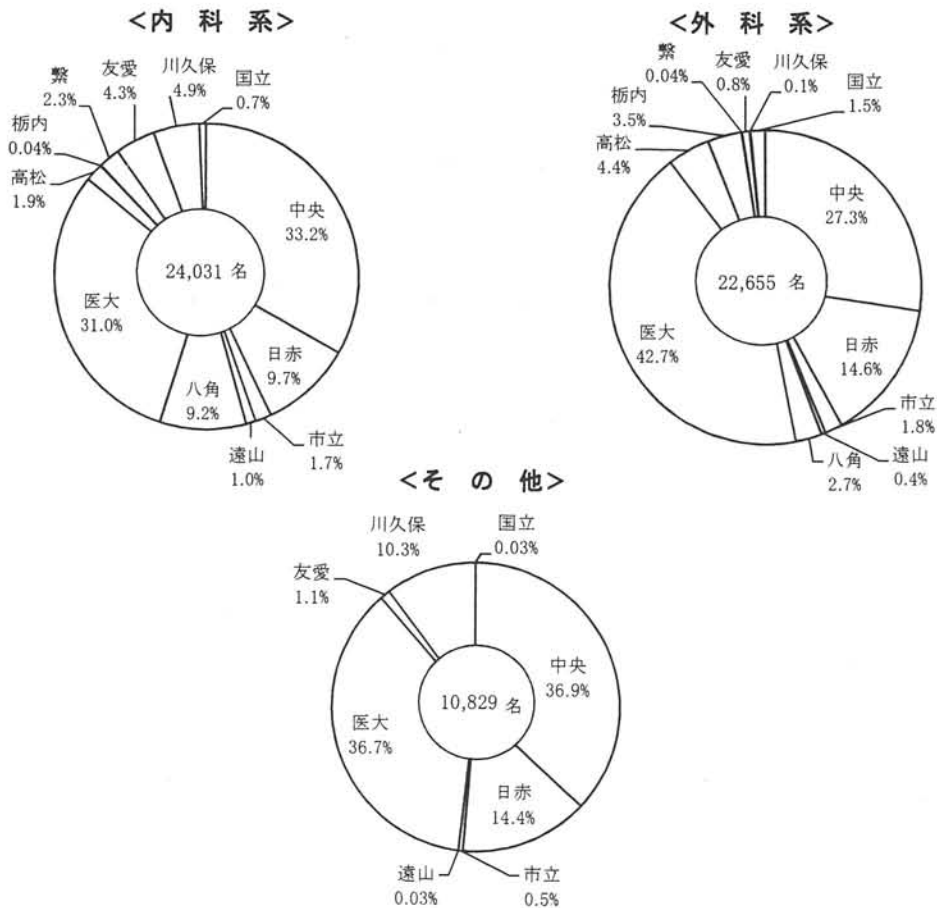


表13 二次救急医療病院における来院患者の総合分布（系別による分類Ⅱ）

病 院 名	外 来						入 院					
	内 科 系		外 科 系		そ の 他		内 科 系		外 科 系		そ の 他	
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
中央病院	5,950 ^名	29.4 [%]	5,014 ^名	24.8 [%]	3,338 ^名	35.6 [%]	2,025 ^名	53.6 [%]	1,175 ^名	47.9 [%]	655 ^名	45.0 [%]
日赤病院	1,869	9.2	2,763	13.7	1,240	13.2	465	12.3	551	22.5	324	22.3
市立病院	304	1.5	343	1.7	42	0.4	106	2.8	74	3.0	11	0.8
遠山病院	178	0.9	78	0.4	3	0.03	66	1.7	17	0.7	0	0.0
八角病院	2,075	10.2	590.0	2.9	0	0.0	138	3.7	29	1.2	0	0.0
岩手医大	6,965	34.4	9,368	46.4	3,551	37.9	492	13.0	303	12.4	420	28.8
高松病院	443	2.2	841	4.2	0	0.0	14	0.4	158	6.4	0	0.0
栃内病院	9	0.04	713	3.5	0	0.0	0	0.0	85	3.5	0	0.0
繋温泉病院	409	2.0	10	0.05	0	0.0	144	3.8	0	0.0	0	0.0
友愛病院	901	4.4	169	0.8	106	1.1	122	3.2	4	0.2	16	1.1
川久保病院	1,043	5.2	25	0.1	1,091	11.6	143	3.8	2	0.1	29	2.0
国立盛岡病院	106	0.5	288	1.4	2	0.02	64	1.7	55	2.2	1	0.1
計	20,252	(100)	20,202	(100)	9,373	(100)	3,779	(100)	2,453	(100)	1,456	(100)

図7 二次救急医療病院における来院患者の外来・入院病院別分布

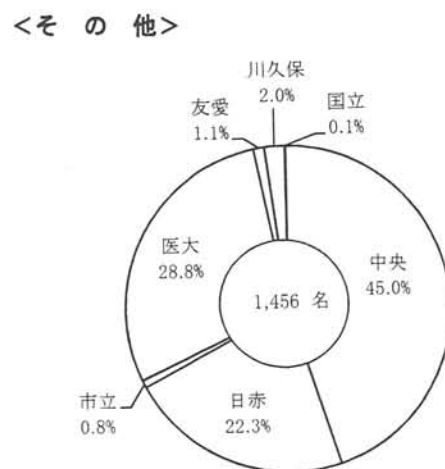
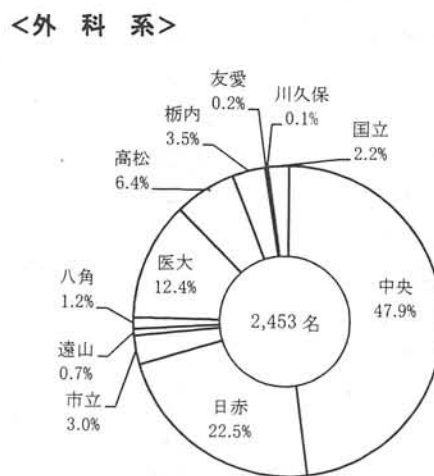
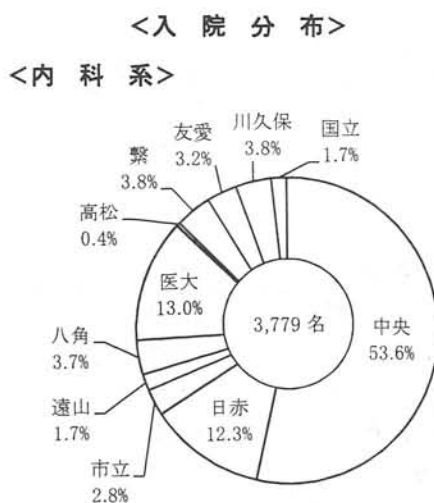
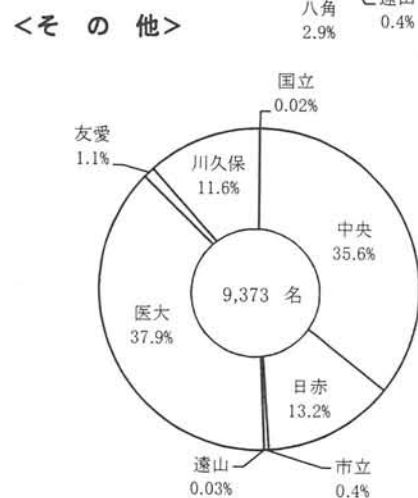
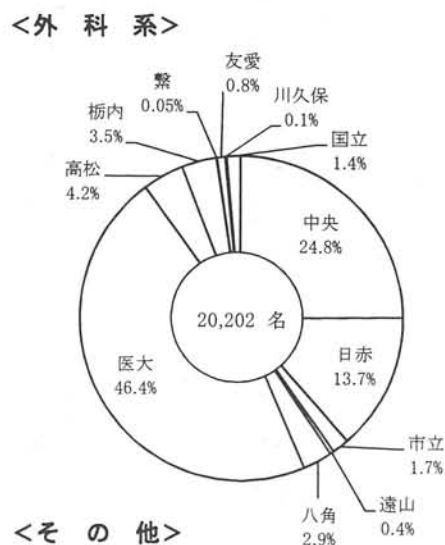
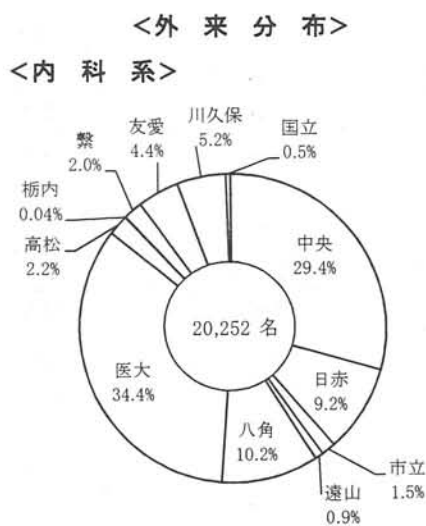


表14 二次救急医療病院における来院患者の外来・入院時間別分布（2015.1～2015.12）

		外 来		入 院	
		患 者 数	比 率	患 者 数	比 率
内 科 系	深 夜	2,519 名	12.4 %	529 名	14.0 %
	時 間 外 A	1,816	9.0	427	11.3
	土 曜 日 (1)	365	1.8	161	4.3
	土 曜 日 (2)	991	4.9	215	5.7
	日 祭 日	4,807	23.7	619	16.4
	時 間 外 B	4,944	24.4	978	25.9
	夜 間	4,810	23.8	850	22.5
	計	20,252	100	3,779	100
外 科 系	深 夜	1,676	8.3	291	11.9
	時 間 外 A	1,536	7.6	218	8.9
	土 曜 日 (1)	501	2.5	108	4.4
	土 曜 日 (2)	1,158	5.7	164	6.7
	日 祭 日	5,252	26.0	410	16.7
	時 間 外 B	5,225	25.9	726	29.6
	夜 間	4,854	24.0	536	21.9
	計	20,202	100	2,453	100
そ の 他	深 夜	1,236	13.2	265	18.2
	時 間 外 A	547	5.8	133	9.1
	土 曜 日 (1)	130	1.4	33	2.3
	土 曜 日 (2)	404	4.3	54	3.7
	日 祭 日	2,028	21.6	240	16.5
	時 間 外 B	2,503	26.7	333	22.9
	夜 間	2,525	26.9	398	27.3
	計	9,373	100	1,456	100
総 計		49,827		7,688	

図 8 二次救急医療病院における来院患者の外来・入院時間別分布

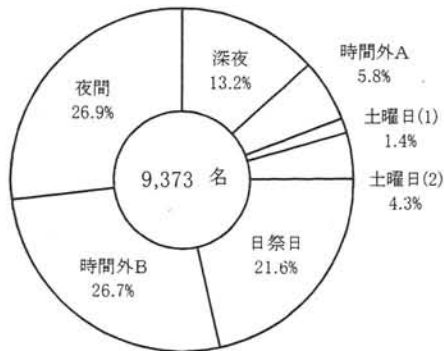
<外 来 分 布>
<内 科 系>



<外 科 系>



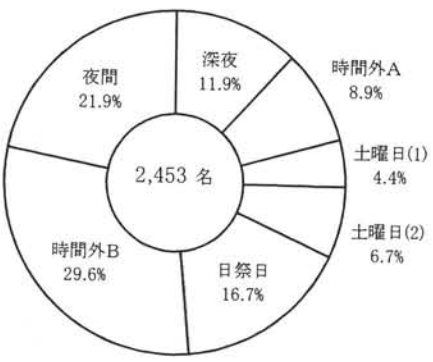
<そ の 他>



<入 院 分 布>
<内 科 系>



<外 科 系>



<そ の 他>



図9 二次救急医療病院における時間別外来患者比率（2015.1～12）

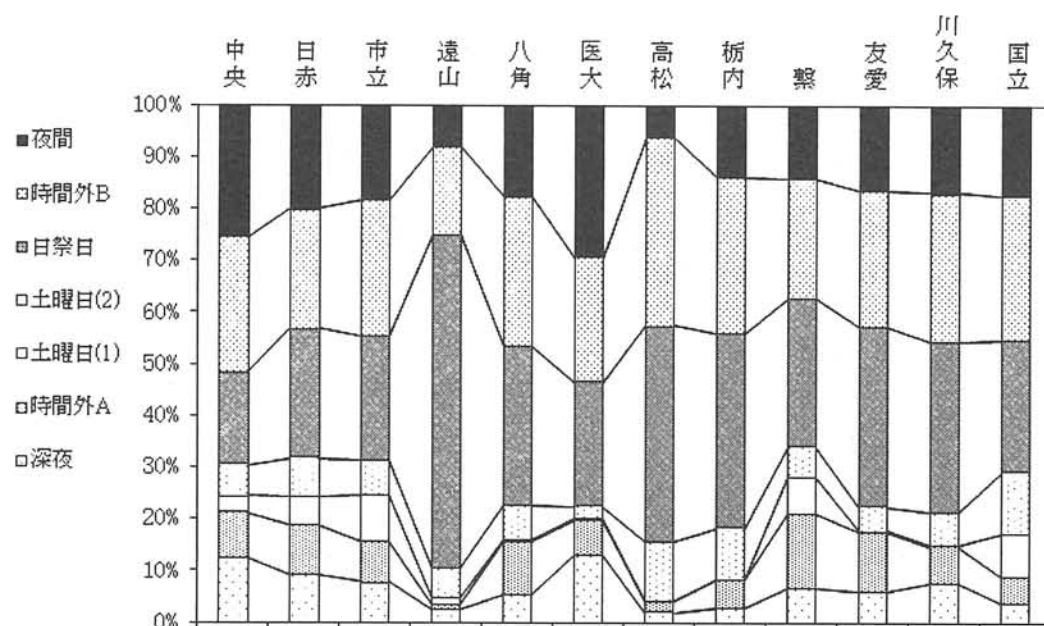


図10 二次救急医療病院における時間別入院患者比率（2015.1～12）

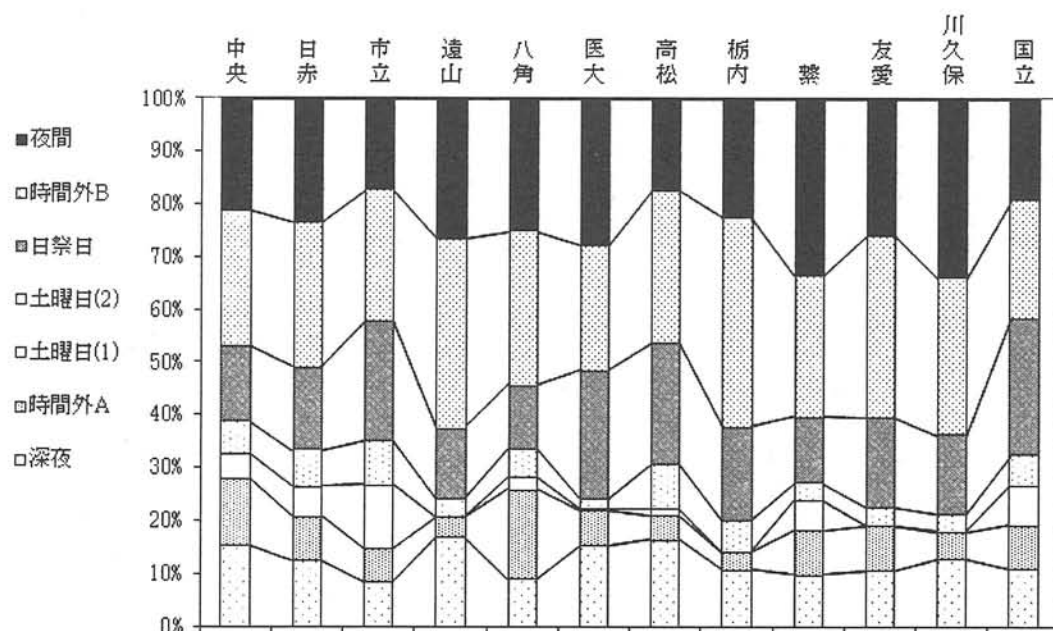


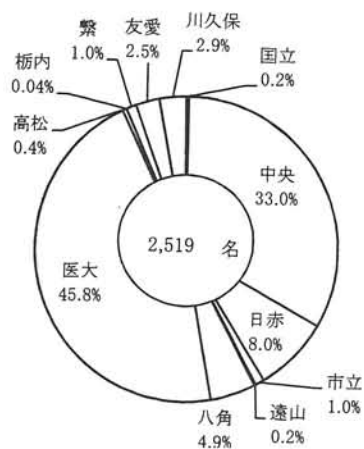
表15 二次体制36年目の外来・入院分布（深夜）

深 夜 (AM 0 ~ AM 6)	2015.1 ~ 2015.12	(深 夜)			(深 夜)		
		外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
中 央 病 院	内科系	832 名	306 名	1,138 名	69.3 名	25.5 名	94.8 名
	外科系	468	151	619	39.0	12.6	51.6
	その他	471	131	602	39.3	10.9	50.2
日 赤 病 院	内科系	202	55	257	16.8	4.6	21.4
	外科系	194	61	255	16.2	5.1	21.3
	その他	142	50	192	11.8	4.2	16.0
市 立 病 院	内科系	24	8	32	2.0	0.7	2.7
	外科系	25	8	33	2.1	0.7	2.8
	その他	4	0	4	0.3	0.0	0.3
遠 山 病 院	内科系	4	11	15	0.3	0.9	1.3
	外科系	2	3	5	0.2	0.3	0.4
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
八 角 病 院	内科系	123	13	136	10.3	1.1	11.3
	外科系	20	2	22	1.7	0.2	1.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
岩 手 医 大	内科系	1,153	78	1,231	96.1	6.5	102.6
	外科系	921	26	947	76.8	2.2	78.9
	その他	529	81	610	44.1	6.8	50.8
高 松 病 院	内科系	11	2	13	0.9	0.2	1.1
	外科系	14	26	40	1.2	2.2	3.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	内科系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	外科系	18	9	27	1.5	0.8	2.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
繋温泉病院	内科系	26	14	40	2.2	1.2	3.3
	外科系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
友 愛 病 院	内科系	64	15	79	5.3	1.3	6.6
	外科系	4	0	4	0.3	0.0	0.3
	その他	2	0	2	0.2	0.0	0.2
川久保病院	内科系	73	19	92	6.1	1.6	7.7
	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	88	3	91	7.3	0.3	7.6
国立盛岡病院	内科系	6	8	14	0.5	0.7	1.2
	外科系	9	5	14	0.8	0.4	1.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
合 計	内科系	2,519	529	3,048	209.9	44.1	254.0
	外科系	1,676	291	1,967	139.7	24.3	163.9
	その他	1,236	265	1,501	103.0	22.1	125.1
総 合 計		5,431	1,085	6,516	452.6	90.4	543.0
				1日平均	14.9	3.0	17.9

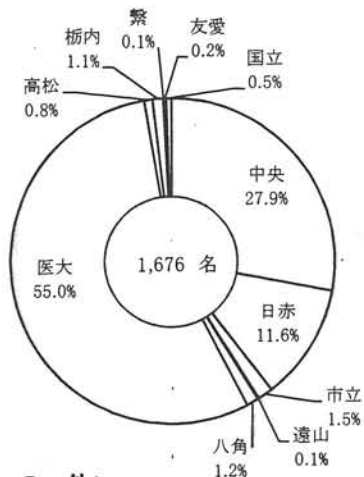
図11 二次体制36年目の外来・入院分布（深夜）

<外 来 分 布>

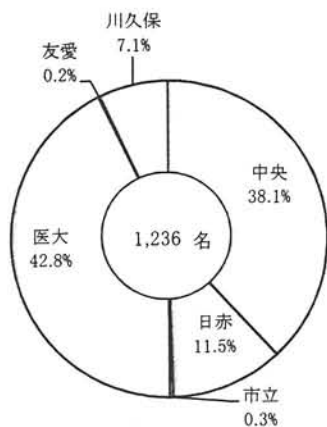
<内 科 系>



<外 科 系>

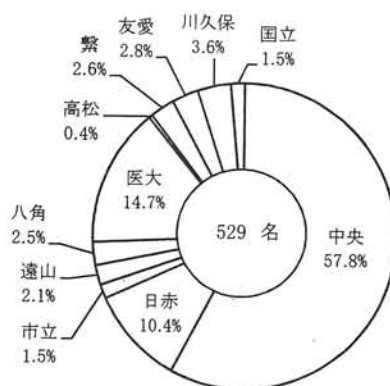


<そ の 他>

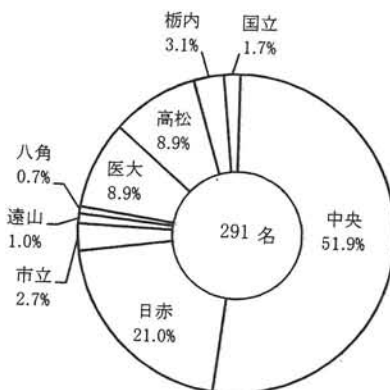


<入 院 分 布>

<内 科 系>



<外 科 系>



<そ の 他>

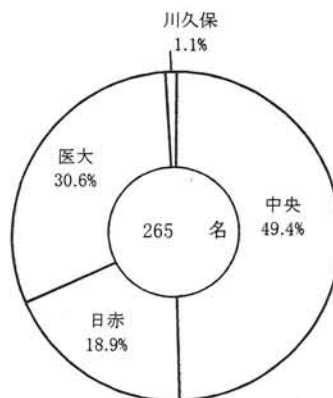


表16 二次体制36年目の外来・入院分布（時間外A）

深夜 (AM 6～AM 9)	2015.1～ 2015.12	(深夜)			(深夜)		
		外来	入院	総合	外来	入院	総合
中央病院	内科系	617	296	913	51.4	24.7	76.1
	外科系	415	126	541	34.6	10.5	45.1
	その他	227	67	294	18.9	5.6	24.5
日赤病院	内科系	183	36	219	15.3	3.0	18.3
	外科系	295	52	347	24.6	4.3	28.9
	その他	79	24	103	6.6	2.0	8.6
市立病院	内科系	23	6	29	1.9	0.5	2.4
	外科系	26	4	30	2.2	0.3	2.5
	その他	5	2	7	0.4	0.2	0.6
遠山病院	内科系	2	3	5	0.2	0.3	0.4
	外科系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
八角病院	内科系	209	24	233	17.4	2.0	19.4
	外科系	59	4	63	4.9	0.3	5.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
岩手医大	内科系	511	29	540	42.6	2.4	45.0
	外科系	641	15	656	53.4	1.3	54.7
	その他	164	36	200	13.7	3.0	16.7
高松病院	内科系	7	0	7	0.6	0.0	0.6
	外科系	19	8	27	1.6	0.7	2.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃内病院	内科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	外科系	40	3	43	3.3	0.3	3.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
繁温泉病院	内科系	57	12	69	4.8	1.0	5.8
	外科系	4	0	4	0.3	0.0	0.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
友愛病院	内科系	102	8	110	8.5	0.7	9.2
	外科系	22	1	23	1.8	0.1	1.9
	その他	13	3	16	1.1	0.3	1.3
川久保病院	内科系	99	8	107	8.3	0.7	8.9
	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	59	1	60	4.9	0.1	5.0
国立盛岡病院	内科系	6	5	11	0.5	0.4	0.9
	外科系	14	5	19	1.2	0.4	1.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
合計	内科系	1,816	427	2,243	151.3	35.6	186.9
	外科系	1,536	218	1,754	128.0	18.2	146.2
	その他	547	133	680	45.6	11.1	56.7
総合計		3,899	778	4,677	324.9	64.8	389.8
				1日平均	10.7	2.1	12.8

図12 二次体制36年目の外来・入院分布（時間外A）

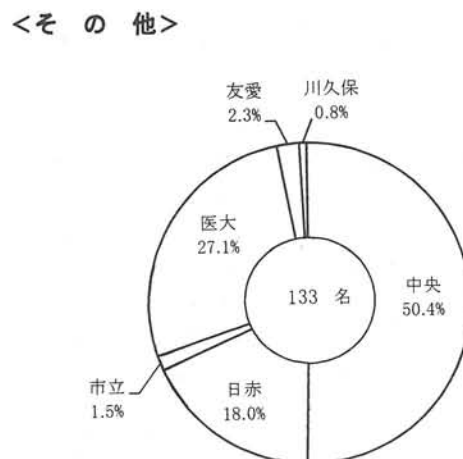
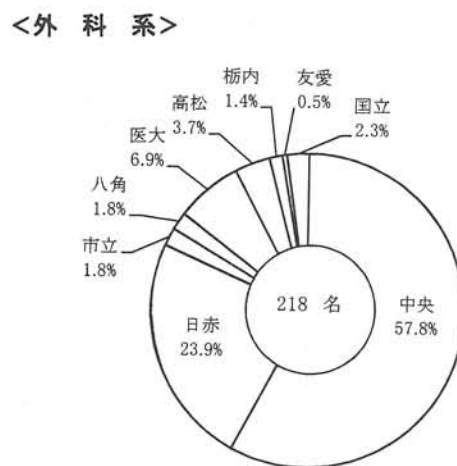
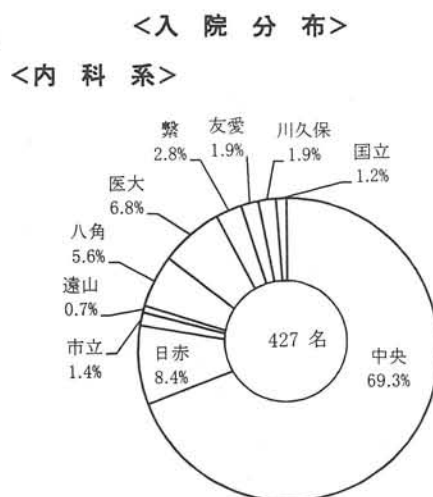
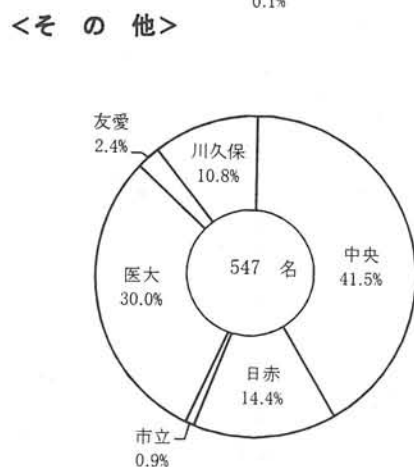
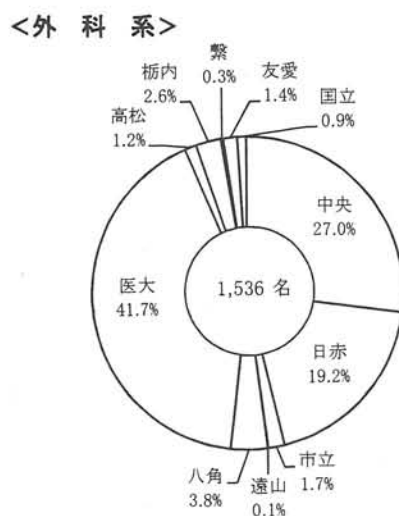
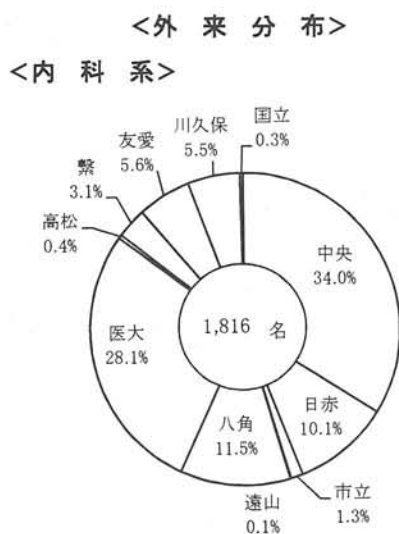
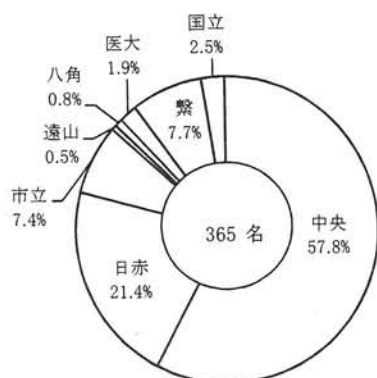


表17 二次体制36年目の外来・入院分布（土曜日(1)）

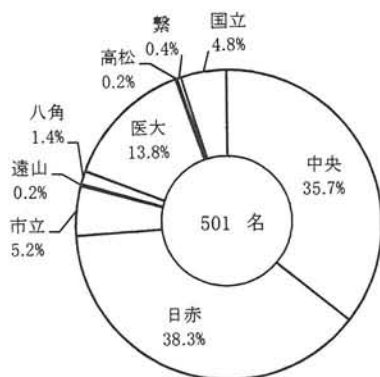
深夜 (AM 9～AM 0)	2015.1～ 2015.12	(深夜)			(深夜)		
		外来	入院	総合	外来	入院	総合
中央病院	内科系	211名	102名	313名	17.6名	8.5名	26.1名
	外科系	179	58	237	14.9	4.8	19.8
	その他	60	18	78	5.0	1.5	6.5
日赤病院	内科系	78	29	107	6.5	2.4	8.9
	外科系	192	34	226	16.0	2.8	18.8
	その他	58	12	70	4.8	1.0	5.8
市立病院	内科系	27	15	42	2.3	1.3	3.5
	外科系	26	7	33	2.2	0.6	2.8
	その他	8	1	9	0.7	0.1	0.8
遠山病院	内科系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	外科系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
八角病院	内科系	3	4	7	0.3	0.3	0.6
	外科系	7	0	7	0.6	0.0	0.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
岩手医大	内科系	7	0	7	0.6	0.0	0.6
	外科系	69	1	70	5.8	0.1	5.8
	その他	4	2	6	0.3	0.2	0.5
高松病院	内科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	外科系	1	2	3	0.1	0.2	0.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃内病院	内科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
繋温泉病院	内科系	28	8	36	2.3	0.7	3.0
	外科系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
友愛病院	内科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
川久保病院	内科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
国立盛岡病院	内科系	9	3	12	0.8	0.3	1.0
	外科系	24	6	30	2.0	0.5	2.5
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
合計	内科系	365	161	526	30.4	13.4	43.8
	外科系	501	108	609	41.8	9.0	50.8
	その他	130	33	163	10.8	2.8	13.6
総合計		996	302	1,298	83.0	25.2	108.2
				1日平均	2.7	0.8	3.6

図13 二次体制36年目の外来・入院分布（土曜日(1)）

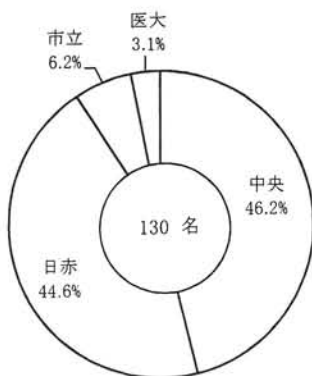
<外 来 分 布>
<内 科 系>



<外 科 系>



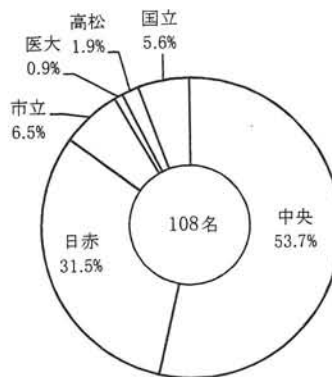
<そ の 他>



<入 院 分 布>
<内 科 系>



<外 科 系>



<そ の 他>

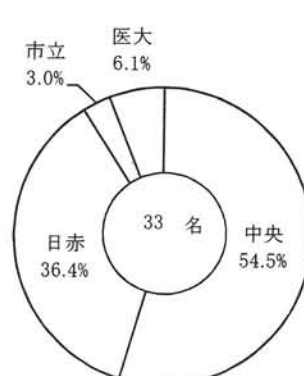


表18 二次体制36年目の外来・入院分布（土曜日(2)）

深 夜 (AM0～AM5)	2015.1～ 2015.12	(深 夜)			(深 夜)		
		外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
中 央 病 院	内科系	344 名	131 名	475 名	28.7 名	10.9 名	39.6 名
	外科系	380	84	464	31.7	7.0	38.7
	その他	169	27	196	14.1	2.3	16.3
日 赤 病 院	内科系	108	33	141	9.0	2.8	11.8
	外科系	238	39	277	19.8	3.3	23.1
	その他	98	22	120	8.2	1.8	10.0
市 立 病 院	内科系	28	14	42	2.3	1.2	3.5
	外科系	14	2	16	1.2	0.2	1.3
	その他	6	0	6	0.5	0.0	0.5
遠 山 病 院	内科系	11	2	13	0.9	0.2	1.1
	外科系	3	1	4	0.3	0.1	0.3
	その他	1	0	1	0.1	0.0	0.1
八 角 病 院	内科系	136	6	142	11.3	0.5	11.8
	外科系	47	3	50	3.9	0.3	4.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
岩 手 医 大	内科系	140	11	151	11.7	0.9	12.6
	外科系	256	12	268	21.3	1.0	22.3
	その他	79	3	82	6.6	0.3	6.8
高 松 病 院	内科系	53	2	55	4.4	0.2	4.6
	外科系	95	13	108	7.9	1.1	9.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	内科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	外科系	74	5	79	6.2	0.4	6.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
繁温泉病院	内科系	25	5	30	2.1	0.4	2.5
	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
友 愛 病 院	内科系	44	5	49	3.7	0.4	4.1
	外科系	8	0	8	0.7	0.0	0.7
	その他	6	0	6	0.5	0.0	0.5
川久保病院	内科系	95	4	99	7.9	0.3	8.3
	外科系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	その他	45	2	47	3.8	0.2	3.9
国立盛岡病院	内科系	7	2	9	0.6	0.2	0.8
	外科系	41	5	46	3.4	0.4	3.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
合 計	内科系	991	215	1,206	82.6	17.9	100.5
	外科系	1,158	164	1,322	96.5	13.7	110.2
	その他	404	54	458	33.7	4.5	38.2
総 合 計		2,553	433	2,986	212.8	36.1	248.8
				1日平均	7.0	1.2	8.2

図14 二次体制36年目の外来・入院分布（土曜日(2)）

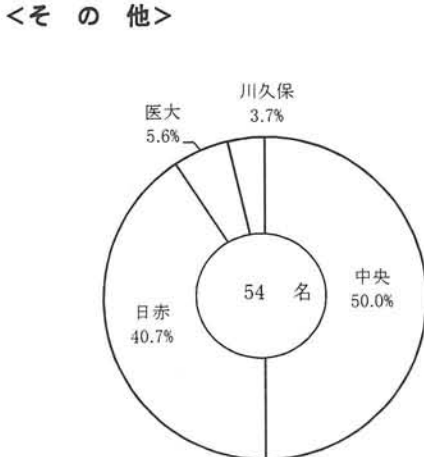
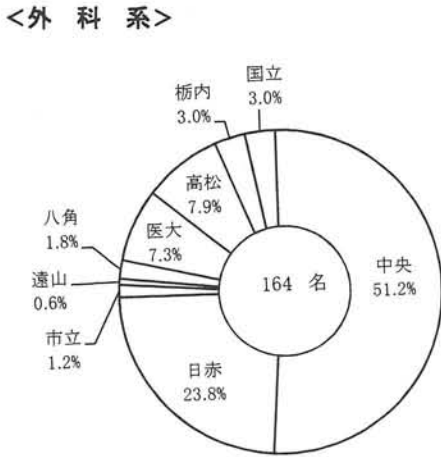
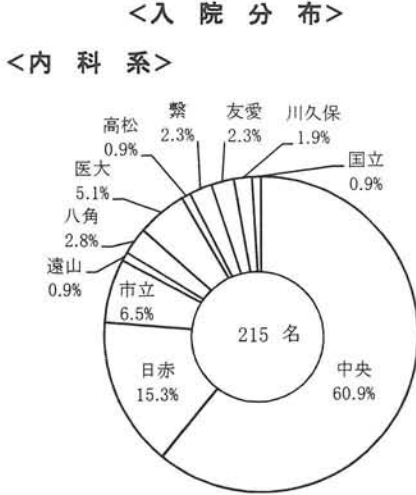
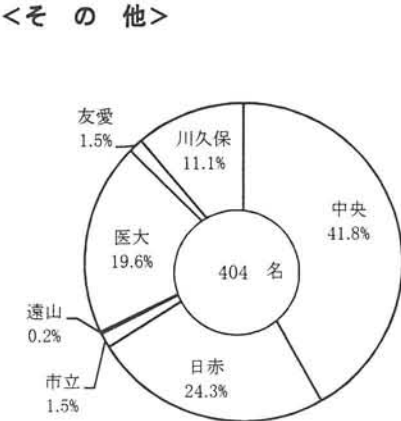
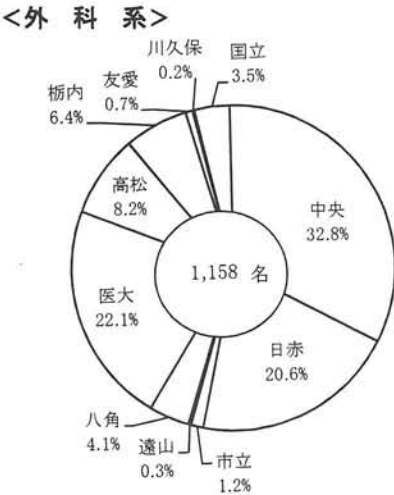
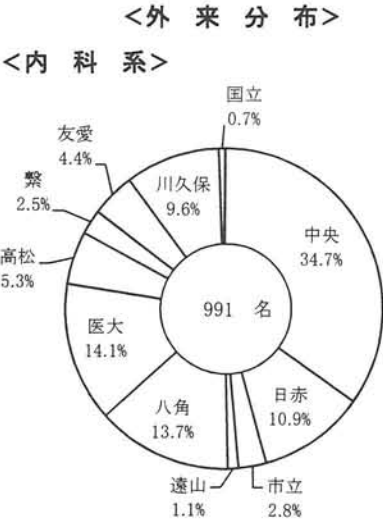


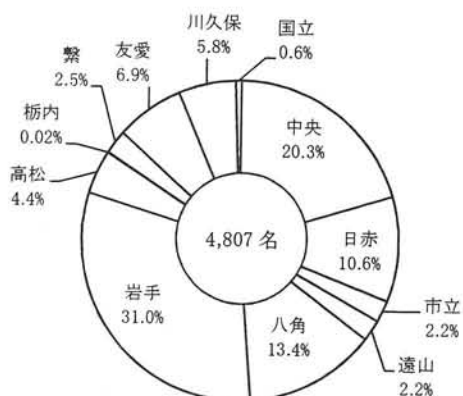
表19 二次体制36年目の外来・入院分布（日祭日）

深夜 (AM0～AM5)	2015.1～ 2015.12	(深夜)			(深夜)		
		外来	入院	総合	外来	入院	総合
中央病院	内科系	976名	285名	1,261名	81.3名	23.8名	105.1名
	外科系	980	160	1,140	81.7	13.3	95.0
	その他	592	95	687	49.3	7.9	57.3
日赤病院	内科系	511	68	579	42.6	5.7	48.3
	外科系	715	94	809	59.6	7.8	67.4
	その他	238	47	285	19.8	3.9	23.8
市立病院	内科系	105	24	129	8.8	2.0	10.8
	外科系	52	16	68	4.3	1.3	5.7
	その他	7	3	10	0.6	0.3	0.8
遠山病院	内科系	105	9	114	8.8	0.8	9.5
	外科系	60	2	62	5.0	0.2	5.2
	その他	2	0	2	0.2	0.0	0.2
八角病院	内科系	645	16	661	53.8	1.3	55.1
	外科系	174	4	178	14.5	0.3	14.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
岩手医大	内科系	1,489	136	1,625	124.1	11.3	135.4
	外科系	2,543	68	2,611	211.9	5.7	217.6
	その他	749	89	838	62.4	7.4	69.8
高松病院	内科系	212	5	217	17.7	0.4	18.1
	外科系	324	34	358	27.0	2.8	29.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃内病院	内科系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	外科系	270	15	285	22.5	1.3	23.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
繋温泉病院	内科系	118	18	136	9.8	1.5	11.3
	外科系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
友愛病院	内科系	334	21	355	27.8	1.8	29.6
	外科系	51	0	51	4.3	0.0	4.3
	その他	21	3	24	1.8	0.3	2.0
川久保病院	内科系	280	22	302	23.3	1.8	25.2
	外科系	14	1	15	1.2	0.1	1.3
	その他	418	3	421	34.8	0.3	35.1
国立盛岡病院	内科系	31	15	46	2.6	1.3	3.8
	外科系	68	16	84	5.7	1.3	7.0
	その他	1	0	1	0.1	0.0	0.1
合計	内科系	4,807	619	5,426	400.6	51.6	452.2
	外科系	5,252	410	5,662	437.7	34.2	471.8
	その他	2,028	240	2,268	169.0	20.0	189.0
総合計		12,087	1,269	13,356	1,007.3	105.8	1,113.0
				1日平均	33.1	3.5	36.6

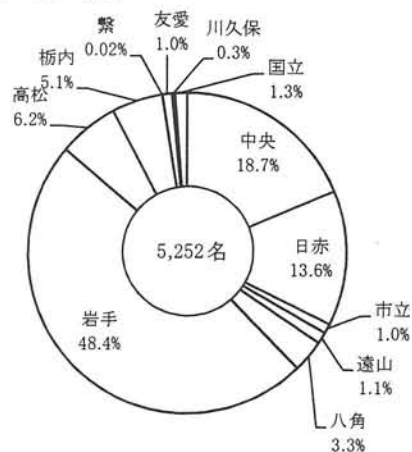
図15 二次体制36年目の外来・入院分布（日祭日）

<外 来 分 布>

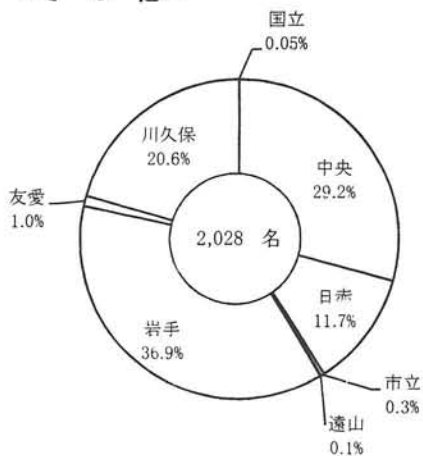
<内 科 系>



<外 科 系>

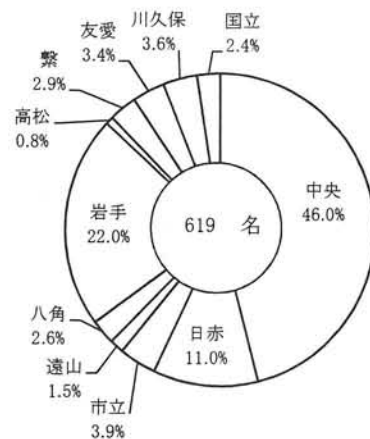


<そ の 他>

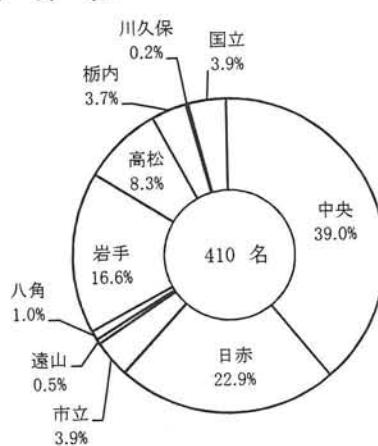


<入 院 分 布>

<内 科 系>



<外 科 系>



<そ の 他>

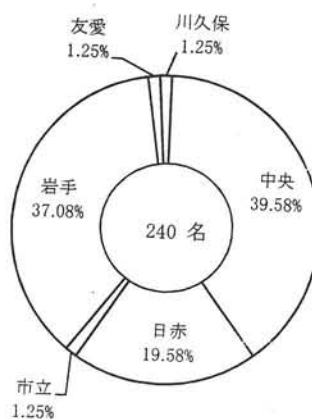


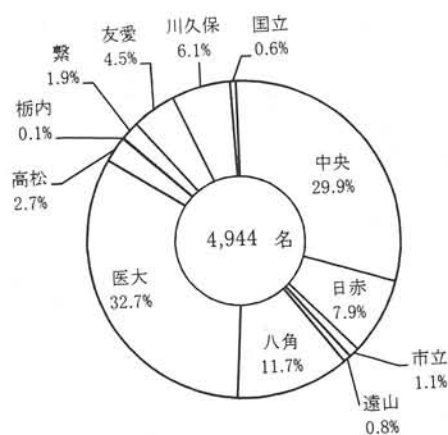
表20 二次体制36年目の外来・入院分布（時間外B）

深 夜 (AM 5 ~ AM 8)	2015.1 ~ 2015.12	(深 夜)			(深 夜)		
		外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
中 央 病 院	内科系	1,478 名	508 名	1,986 名	123.2 名	42.3 名	165.5 名
	外科系	1,347	333	1,680	112.3	27.8	140.0
	その他	891	160	1,051	74.3	13.3	87.6
日 赤 病 院	内科系	391	139	530	32.6	11.6	44.2
	外科系	630	172	802	52.5	14.3	66.8
	その他	333	58	391	27.8	4.8	32.6
市 立 病 院	内科系	52	22	74	4.3	1.8	6.2
	外科系	119	23	142	9.9	1.9	11.8
	その他	11	3	14	0.9	0.3	1.2
遠 山 病 院	内科系	38	25	63	3.2	2.1	5.3
	外科系	6	5	11	0.5	0.4	0.9
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
八 角 病 院	内科系	577	40	617	48.1	3.3	51.4
	外科系	191	9	200	15.9	0.8	16.7
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
岩 手 医 大	内科系	1,619	106	1,725	134.9	8.8	143.8
	外科系	2,244	88	2,332	187.0	7.3	194.3
	その他	919	95	1,014	76.6	7.9	84.5
高 松 病 院	内科系	132	3	135	11.0	0.3	11.3
	外科系	337	47	384	28.1	3.9	32.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	内科系	5	0	5	0.4	0.0	0.4
	外科系	213	34	247	17.8	2.8	20.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
繋温泉病院	内科系	95	39	134	7.9	3.3	11.2
	外科系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
友 愛 病 院	内科系	224	41	265	18.7	3.4	22.1
	外科系	49	1	50	4.1	0.1	4.2
	その他	39	7	46	3.3	0.6	3.8
川 久 保 病 院	内科系	302	43	345	25.2	3.6	28.8
	外科系	8	0	8	0.7	0.0	0.7
	その他	309	9	318	25.8	0.8	26.5
国 立 盛 岡 病 院	内科系	31	12	43	2.6	1.0	3.6
	外科系	79	14	93	6.6	1.2	7.8
	その他	1	1	2	0.1	0.1	0.2
合 計	内科系	4,944	978	5,922	412.0	81.5	493.5
	外科系	5,225	726	5,951	435.4	60.5	495.9
	その他	2,503	333	2,836	208.6	27.8	236.3
総 合 計		12,672	2,037	14,709	1,056.0	169.8	1,225.8
				1日平均	34.7	5.6	40.3

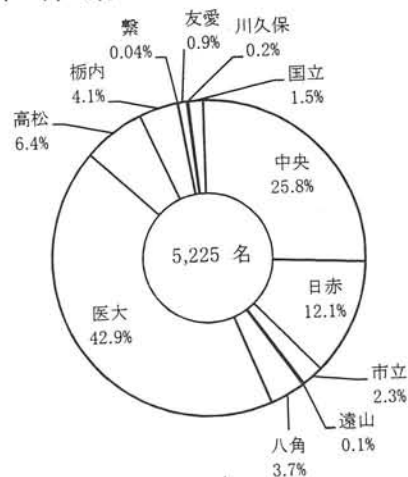
図16 二次体制36年目の外来・入院分布（時間外B）

<外 来 分 布>

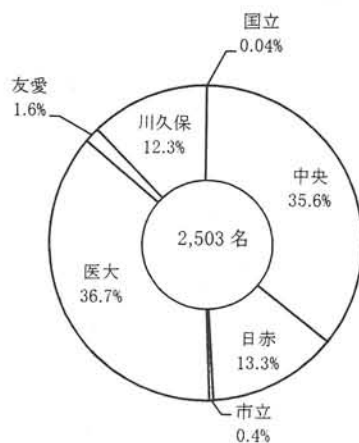
<内 科 系>



<外 科 系>

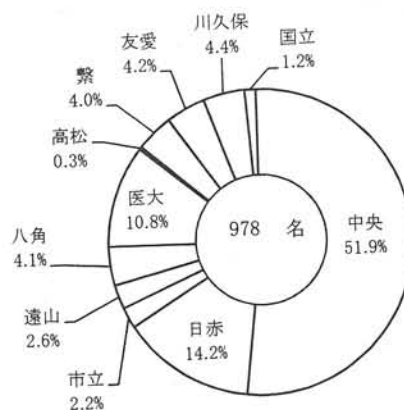


<そ の 他>

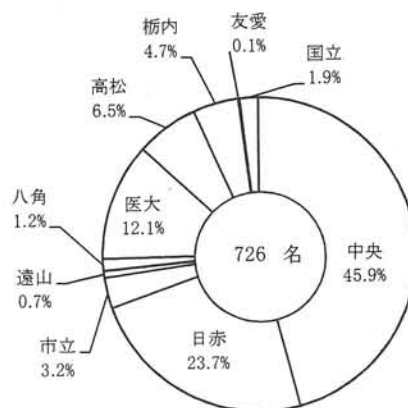


<入 院 分 布>

<内 科 系>



<外 科 系>



<そ の 他>

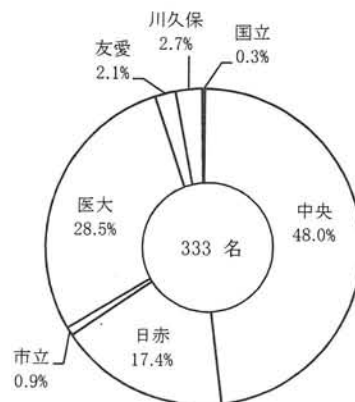


表21 二次体制36年目の外来・入院分布（夜間）

深 夜 (AM 8 ~ AM12)	2015.1 ~ 2015.12	(深 夜)			(深 夜)		
		外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
中 央 病 院	内科系	1,492 名	397 名	1,889 名	124.3 名	33.1 名	157.4 名
	外科系	1,245	263	1,508	103.8	21.9	125.7
	その他	928	157	1,085	77.3	13.1	90.4
日 赤 病 院	内科系	396	105	501	33.0	8.8	41.8
	外科系	499	99	598	41.6	8.3	49.8
	その他	292	111	403	24.3	9.3	33.6
市 立 病 院	内科系	45	17	62	3.8	1.4	5.2
	外科系	81	14	95	6.8	1.2	7.9
	その他	1	2	3	0.1	0.2	0.3
遠 山 病 院	内科系	16	16	32	1.3	1.3	2.7
	外科系	5	6	11	0.4	0.5	0.9
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
八 角 病 院	内科系	382	35	417	31.8	2.9	34.8
	外科系	92	7	99	7.7	0.6	8.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
岩 手 医 大	内科系	2,046	132	2,178	170.5	11.0	181.5
	外科系	2,694	93	2,787	224.5	7.8	232.3
	その他	1,107	114	1,221	92.3	9.5	101.8
高 松 病 院	内科系	28	2	30	2.3	0.2	2.5
	外科系	51	28	79	4.3	2.3	6.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	内科系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	外科系	98	19	117	8.2	1.6	9.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
繋温泉病院	内科系	60	48	108	5.0	4.0	9.0
	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
友 愛 病 院	内科系	133	32	165	11.1	2.7	13.8
	外科系	35	2	37	2.9	0.2	3.1
	その他	25	3	28	2.1	0.3	2.3
川久保病院	内科系	194	47	241	16.2	3.9	20.1
	外科系	1	1	2	0.1	0.1	0.2
	その他	172	11	183	14.3	0.9	15.3
国立盛岡病院	内科系	16	19	35	1.3	1.6	2.9
	外科系	53	4	57	4.4	0.3	4.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
合 計	内科系	4,810	850	5,660	400.8	70.8	471.7
	外科系	4,854	536	5,390	404.5	44.7	449.2
	その他	2,525	398	2,923	210.4	33.2	243.6
総 合 計		12,189	1,784	13,973	1,015.8	148.7	1,164.4
				1日平均	33.4	4.9	38.3

図17 二次体制36年目の外来・入院分布（夜間）

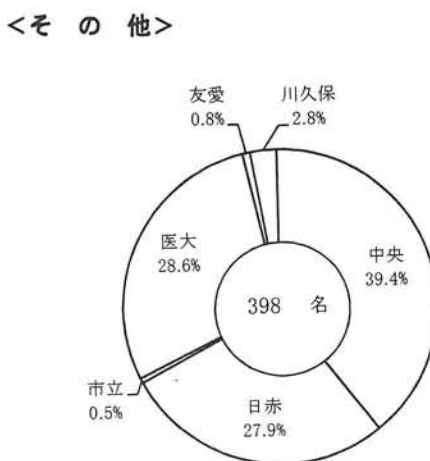
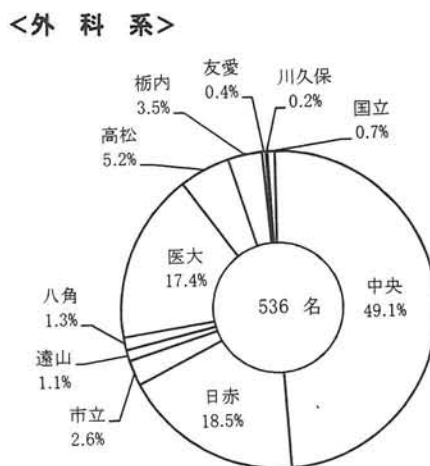
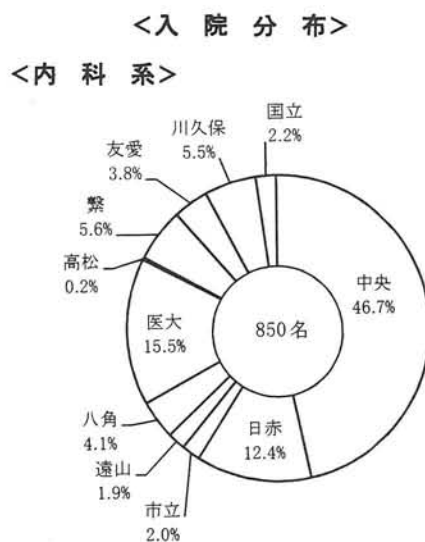
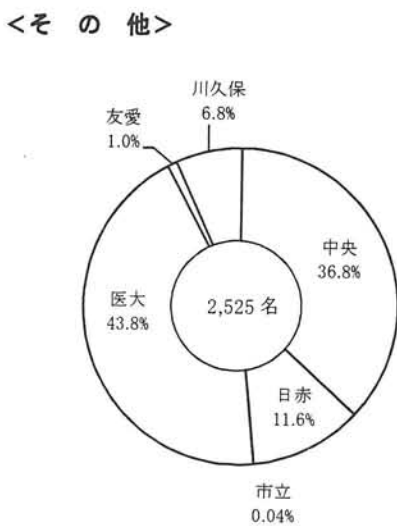
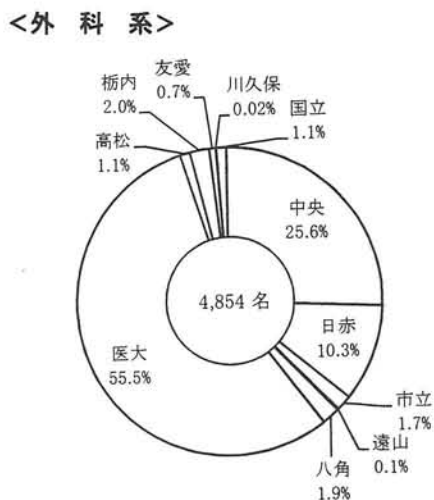
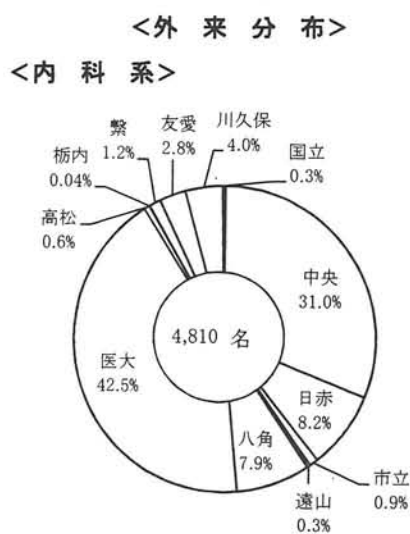
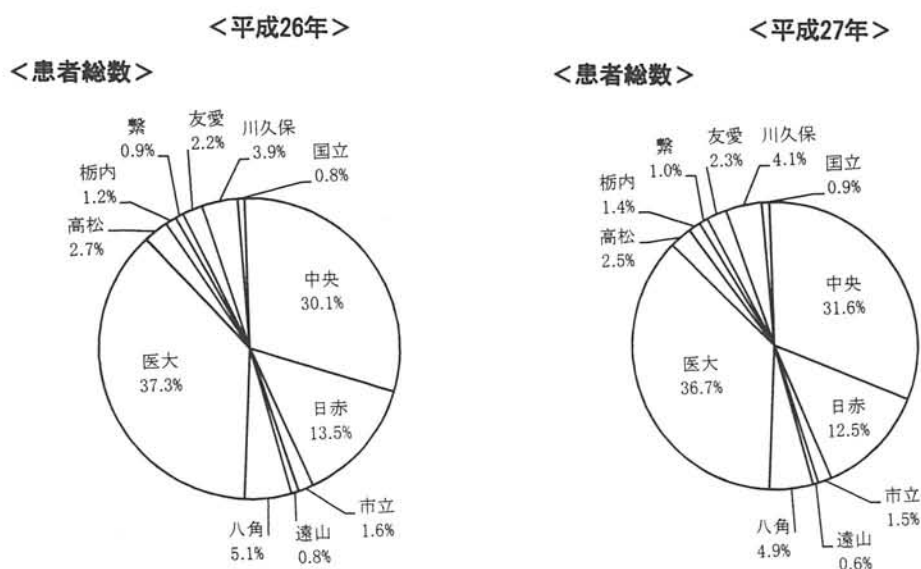


表22 盛岡地区二次救急患者動態（前年との比較）

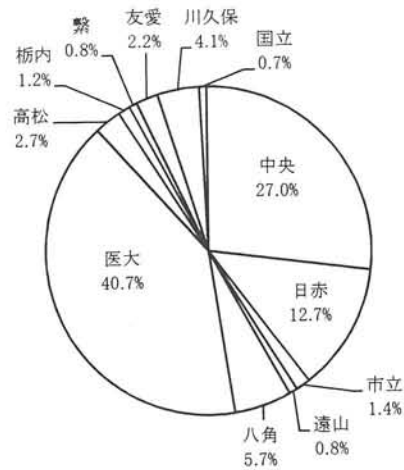
病 院 名	外来患者数		入院患者数		救急車搬入患者数		総 数	
	平成26年	平成27年	平成26年	平成27年	平成26年	平成27年	平成26年	平成27年
中央病院	13,928	14,302	3,975	3,855	4,408	4,466	17,903	18,157
日赤病院	6,536	5,872	1,501	1,340	1,462	1,245	8,037	7,212
市立病院	746	689	233	191	206	212	979	880
遠山病院	422	259	62	83	63	58	484	342
八角病院	2,933	2,665	104	167	193	211	3,037	2,832
岩手医大	21,025	19,884	1,166	1,215	1,312	1,330	22,191	21,099
高松病院	1,387	1,284	206	172	450	357	1,593	1,456
栃内病院	618	722	71	85	137	165	689	807
繋温泉病院	415	419	115	144	123	126	530	563
友愛病院	1,121	1,176	172	142	165	205	1,293	1,318
川久保病院	2,138	2,159	157	174	185	187	2,295	2,333
国立病院	381	396	94	120	97	161	475	516
合 計	51,650	49,827	7,856	7,688	8,801	8,723	59,506	57,515

図18 二次救急患者病院別分布（前年との比較）

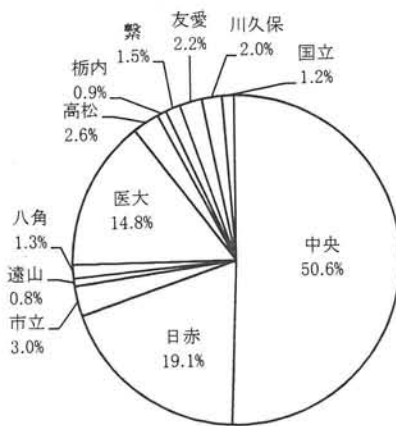


<平成26年>

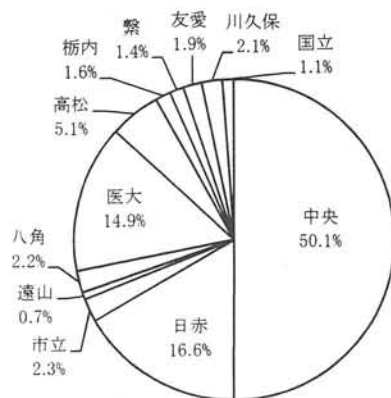
<外来患者数>



<入院患者数>

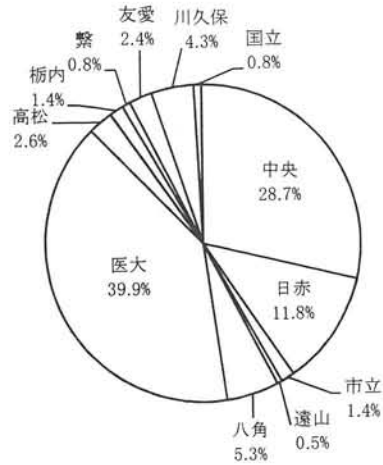


<救急車搬入患者数>

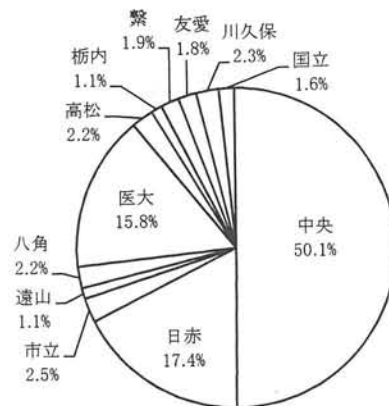


<平成27年>

<外来患者数>



<入院患者数>



<救急車搬入患者数>

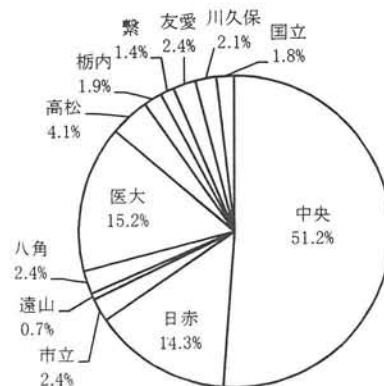
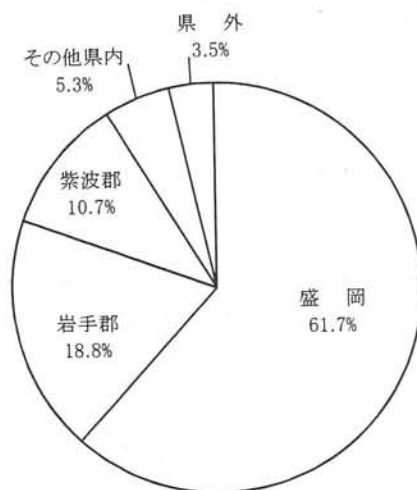


表23 市町村別二次救急患者動態（平成27年1月～12月）

市町村	外来患者数	入院患者数	合 計
盛 岡	31,217	4,294	35,511
雫 石	1,253	276	1,529
葛 巻	104	50	154
岩 手	1,319	233	1,552
滝 沢	4,651	739	5,390
紫 波	2,776	494	3,270
矢 巾	2,502	371	2,873
八 幡 平	1,847	320	2,167
その他県内	2,372	670	3,042
県 外	1,786	241	2,027
合 計	49,827	7,688	57,515

図19 <地区別患者比較>



小児救急病院群輪番制16年目のまとめ

図20～22および表24～27に小児救急病院別の輪番日の受診者数と輪番日以外の受診者数、各病院別受診者数を示す。小児救急患者の総数は8,534名で、うち救急車搬入患者数は458名（5.4％）であった。輪番日の受診者数は5,628名（総数の65.9％）、救急車搬入数338名（輪番日受診者の6.0％）、1コマ単位平均11.5人であった。輪番日以外の受診者数は2,906名（総数の34.1％）、救急車搬入数120名（輪番日以外受診者の4.1％）、1コマ単位平均1.48人であった。病院別では、総数では中央病院が3,001名（35.2％）最も多く、輪番日以外の受診者数は年々減少しており、従来より受診者の多い岩手医大も減少している（前年比295人減）。輪番体制が市民に浸透してきた結果と思われる。

図20 病院患者総数

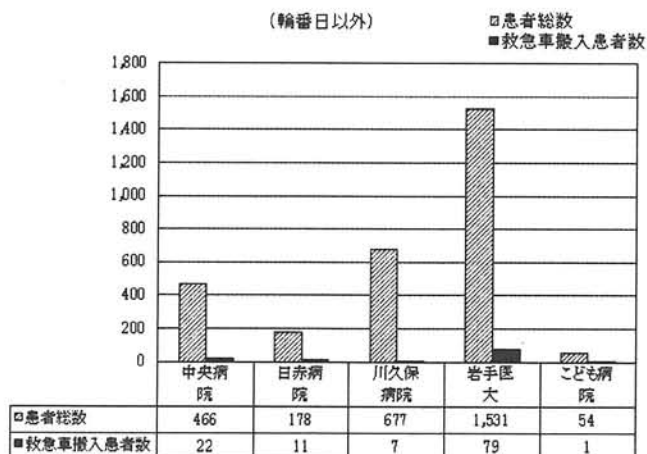
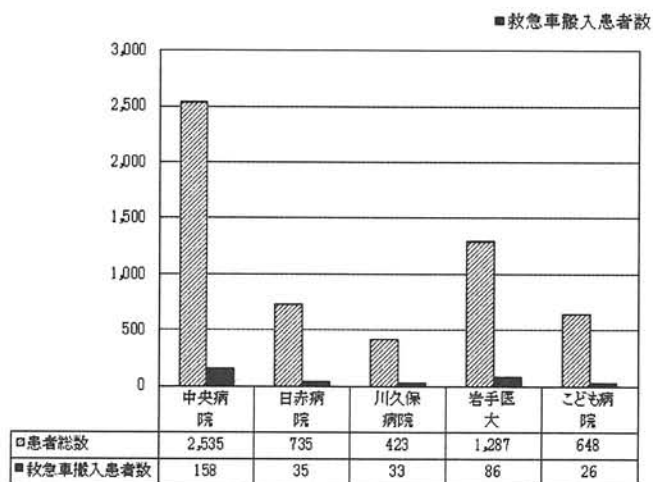


表24 小児救急患者病院別合計表（輪番日）

平成27年1月～12月

病 院	外 来		入 院		総 数			
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	うち救急搬入患者数	比 率
中 央 病 院	2,177 ^名	44.2 [%]	358 ^名	50.9 [%]	2,535 ^名	45.0 [%]	158 ^名	46.7 [%]
日 赤 病 院	591	12.0	144	20.5	735	13.1	35	10.4
川 久 保 病 院	401	8.1	22	3.1	423	7.5	33	9.8
岩 手 医 大	1,174	23.8	113	16.1	1,287	22.9	86	25.4
もりおかこども病院	582	11.8	66	9.4	648	11.5	26	7.7
合 計	4,925	100	703	100	5,628	100	338	100

表25 1コマあたりの病院別小児救急患者数（輪番日）

平成27年1月～12月

病 院	外 患 者 数	入 患 者 数	総 数	
			患 者 数	うち救急搬入入院患者数
中 央 病 院	10.92 人	1.80 人	12.72 人	0.79 人
日 赤 病 院	8.30	2.08	10.38	0.48
川 久 保 病 院	10.48	0.56	11.03	0.85
岩 手 医 大	8.83	0.85	9.68	0.66
もりおかこども病院	12.13	1.38	13.50	0.54
平 均	10.06	1.44	11.50	0.69

図21 小児救急病院別患者比率（輪番日）

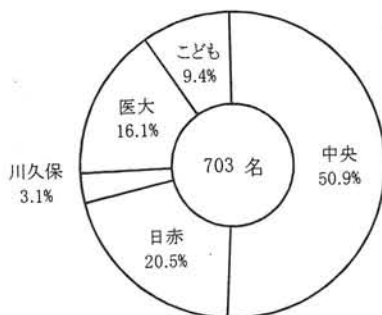
<総患者比率>



<外来患者比率>



<入院患者比率>



<救急車搬入患者比率>

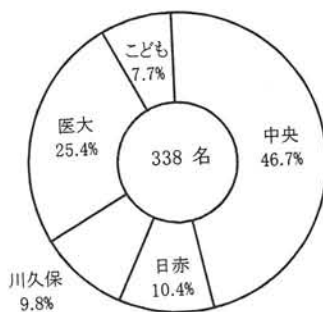


表26 小児救急患者病院別合計表（輪番日以外）

平成27年1月～12月

病 院	外 来		入 院		総 数			
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	うち救急搬入患者数	比 率
中 央 病 院	378 ^名	14.5 [%]	88 ^名	29.1 [%]	466 ^名	16.0 [%]	22 ^名	18.3 [%]
日 赤 病 院	125	4.8	53	17.5	178	6.1	11	9.2
川 久 保 病 院	670	25.7	7	2.3	677	23.3	7	5.8
岩 手 医 大	1,388	53.3	143	47.4	1,531	52.7	79	65.8
もりおかこども病院	43	1.7	11	3.6	54	1.9	1	0.8
合 計	2,604	100	302	100	2,906	100	120	100

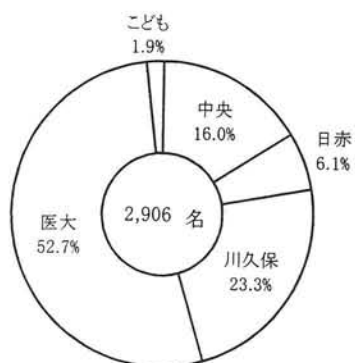
表27 1コマあたりの病院別小児救急患者数（輪番日以外）

平成27年1月～12月

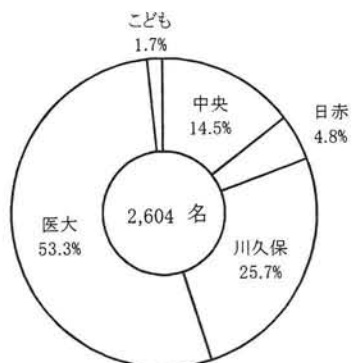
病 院	外 患 者 数	入 患 者 数	総 数	
			患 者 数	うち救急搬入入院患者数
中 央 病 院	1.30 人	0.31 人	1.61 人	0.08 人
日 赤 病 院	0.30	0.13	0.43	0.03
川 久 保 病 院	1.49	0.02	1.50	0.02
岩 手 医 大	3.88	0.40	4.29	0.22
もりおかこども病院	0.09	0.02	0.12	0.002
平 均	1.33	0.15	1.48	0.06

図22 小児救急病院別患者比率（輪番日以外）

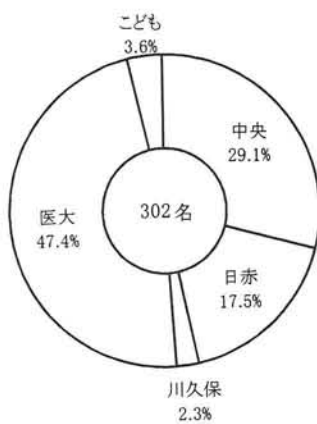
＜総患者比率＞



＜外来患者比率＞



＜入院患者比率＞



＜救急車搬入患者比率＞

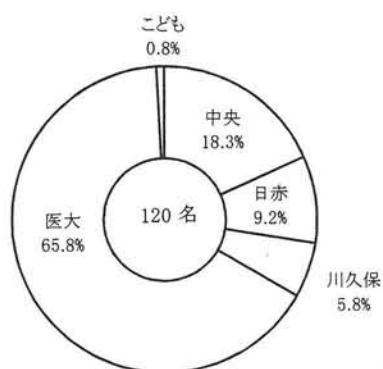


表28 小児救急患者市町村別合計表（輪番日）

平成27年1月～12月

市 町 村	外 来		入 院		総 数	
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛 岡	2,891 名	58.7 %	404 名	57.5 %	3,295 名	58.5 %
雫 石	79	1.6	29	4.1	108	1.9
葛 巻	14	0.3	4	0.6	18	0.3
岩 手	104	2.1	14	2.0	118	2.1
滝 沢	573	11.6	93	13.2	666	11.8
紫 波	366	7.4	44	6.3	410	7.3
矢 巾	308	6.3	26	3.7	334	5.9
八 幡 平	215	4.4	26	3.7	241	4.3
小 計	4,550	92.4	640	91.0	5,190	92.2
その他県外	189	3.8	39	5.5	228	4.1
県 外	186	3.8	24	3.4	210	3.7
合 計	4,925	100	703	100	5,628	100

表29 1コマあたりの市町村別小児救急患者数（輪番日）

平成27年1月～12月

市 町 村	外 来		入 院		総 数	
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛 岡	5.91 名	58.8 %	0.83 名	57.5 %	6.74 名	58.6 %
雫 石	0.16	1.6	0.06	4.1	0.22	1.9
葛 巻	0.03	0.3	0.01	0.6	0.04	0.3
岩 手	0.21	2.1	0.03	2.0	0.24	2.1
滝 沢	1.17	11.6	0.19	13.3	1.36	11.8
紫 波	0.75	7.4	0.09	6.2	0.84	7.3
矢 巾	0.63	6.3	0.05	3.7	0.69	6.0
八 幡 平	0.44	4.4	0.05	3.6	0.49	4.3
小 計	9.30	92.5	1.31	91.1	10.61	92.3
その他県外	0.38	3.8	0.08	5.5	0.46	4.0
県 外	0.37	3.7	0.05	3.4	0.42	3.7
合 計	10.06	100	1.44	100	11.50	100

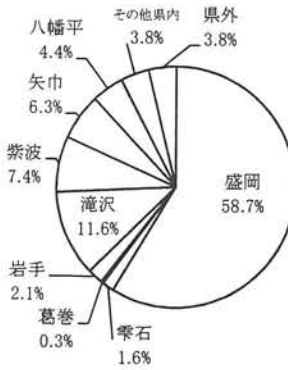
図23 小児救急市町村別患者比率（輪番日）



図24 小児救急郡市別患者比率（輪番日）



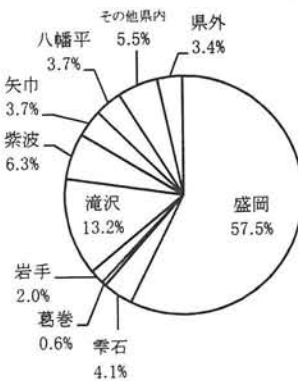
<外来患者比率>



<岩手郡患者比率>



<入院患者比率>



<紫波郡患者比率>

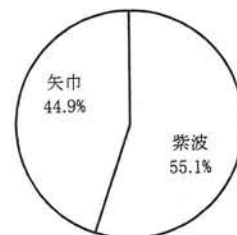


表30 小児救急患者市町村別合計表（輪番日以外）

平成27年1月～12月

市 町 村	外 来		入 院		総 数	
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛 岡	1,723 名	66.2 %	166 名	55.0 %	1,889 名	65.0 %
雫 石	50	1.9	6	2.0	56	1.9
葛 巻	3	0.1	0	0.0	3	0.1
岩 手	32	1.2	2	0.7	34	1.2
滝 沢	256	9.8	35	11.6	291	10.0
紫 波	131	5.0	15	5.0	146	5.0
矢 巾	130	5.0	13	4.3	143	4.9
八 幡 平	78	3.0	9	3.0	87	3.0
小 計	2,403	92.3	246	81.5	2,649	91.2
その他県外	106	4.1	43	14.2	149	5.1
県 外	95	3.6	13	4.3	108	3.7
合 計	2,604	100	302	100	2,906	100

表31 1コマあたりの市町村別小児救急患者数（輪番日以外）

平成27年1月～12月

市 町 村	外 来		入 院		総 数	
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛 岡	0.88 名	66.3 %	0.08 名	54.9 %	0.97 名	65.1 %
雫 石	0.03	1.9	0.003	2.0	0.03	1.9
葛 巻	0.002	0.1	0.0	0.0	0.002	0.1
岩 手	0.02	1.2	0.001	0.7	0.02	1.2
滝 沢	0.13	9.8	0.02	11.6	0.15	10.0
紫 波	0.07	5.0	0.01	4.8	0.07	5.0
矢 巾	0.07	5.0	0.01	4.3	0.07	4.9
八 幡 平	0.04	3.0	0.004	2.9	0.04	3.0
小 計	1.23	92.4	0.13	81.5	1.35	91.3
その他県外	0.05	4.0	0.02	14.3	0.08	5.1
県 外	0.05	3.6	0.01	4.3	0.05	3.7
合 計	1.33	100	0.15	100	1.48	100

図25 小児救急市町村別患者比率（輪番日以外）

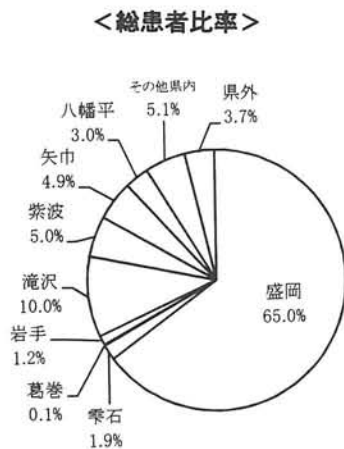


図26 小児救急郡市別患者比率（輪番日以外）



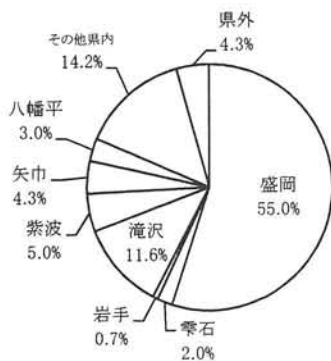
<外来患者比率>



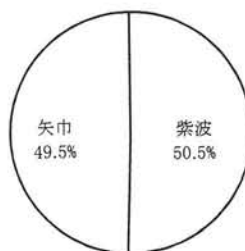
<岩手郡患者比率>



<入院患者比率>



<紫波郡患者比率>



2. 経過報告

平成27年

- | | |
|-----------|--|
| 1月20日(火) | 第123回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 27日(火) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
平成26年度小児科救急医師研修 |
| 2月3日(火) | 盛岡市夜間急患診療所薬品選定会議
盛岡市夜間急患診療所運営協議会 |
| 17日(火) | 第124回小児救急電話相談事業事例検討会
盛岡地区二次救急医療対策委員会 |
| 3月3日(火) | 盛岡地区二次救急医療病院事務長会議 |
| 17日(火) | 第125回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 19日(木) | 第11回岩手県小児救急電話相談事業運営協議会 |
| 24日(火) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 |
| 4月21日(火) | 第126回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 28日(火) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
" 第1回救急医療体制のあゆみ編集委員会 |
| 5月19日(火) | 第127回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 28日(木) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 |
| 6月16日(火) | 第128回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 29日(月) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 |
| 7月3日(金) | 盛岡地区二次救急医療病院事務長会議 |
| 21日(火) | 第129回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 24日(金) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
" 第2回救急医療体制のあゆみ編集委員会 |
| 25日(土) | 盛岡市夜間急患診療所従事者打合せ会 |
| 30日(木) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会(小児輪番に関わる)
盛岡市保健福祉部との打合せ会 |
| 31日(金) | 第12回盛岡救急医療人のつどい |
| 8月4日(火) | 平成27年度盛岡地区二次救急医療関係市町会議 |
| 18日(火) | 第130回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 24日(月) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 |
| 9月4日(金) | 第33回救急医療学術講演会(初期・二次・高次救急医療研修会) |
| 15日(火) | 第131回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 29日(火) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 |
| 10月4日(日) | 平成27年度盛岡市総合防災訓練
(於:岩手大学G'スタ・第一体育館、県立中央病院、市立上田小学校) |
| 20日(火) | 第132回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 27日(火) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 |
| 11月17日(火) | 第133回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 24日(火) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 |
| 12月1日(火) | 盛岡地区二次救急医療病院事務長会議 |
| 15日(火) | 第134回小児救急電話相談事業事例検討会 |
| 17日(木) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会(小児輪番に関わる) |
| 25日(金) | 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 |

3. 平成27年度盛岡地区二次救急医療関係市町村会議

日 時：平成27年8月4日（火） 午後1時

場 所：盛岡市保健所



平成27年度盛岡地区二次救急医療関係市町村会議が盛岡市保健所で開催された。

盛岡市保健所の高橋清実所長と盛岡地区二次救急医療対策委員会の和田利彦委員長の挨拶の後、下記の通りの協議が行われた。

【報告】

(1) 平成26年度盛岡地区二次救急医療補助事業決算

①平成26年度盛岡地区二次救急医療事業決算書

②平成26年度盛岡地区二次救急医療事業（小児救急）決算書

①、②の報告があり、質問等なく了承された。

【協議】

(1) 平成27年度盛岡地区二次救急医療補助事業予算について

①平成27年度盛岡地区二次救急医療事業予算書

②平成27年度盛岡地区二次救急医療事業（小児救急）予算書

(2) 平成27年度盛岡地区二次救急医療補助事業市町別負担金について

①平成27年度盛岡地区二次救急医療事業市町別負担金割当表

②平成27年度盛岡地区二次救急医療事業市町別負担金割当表（小児救急）

平成27年9月以降の小児救急輪番が、諸事情により盛岡赤十字病院の輪番回数が減少し、その分を岩手医大が代行する予定となり、各病院の総額は変わらないが両病院の補助金額に若干の変更がある見込みであることが報告された。上記(1)(2)についていずれも問題なく了承された。

【その他】

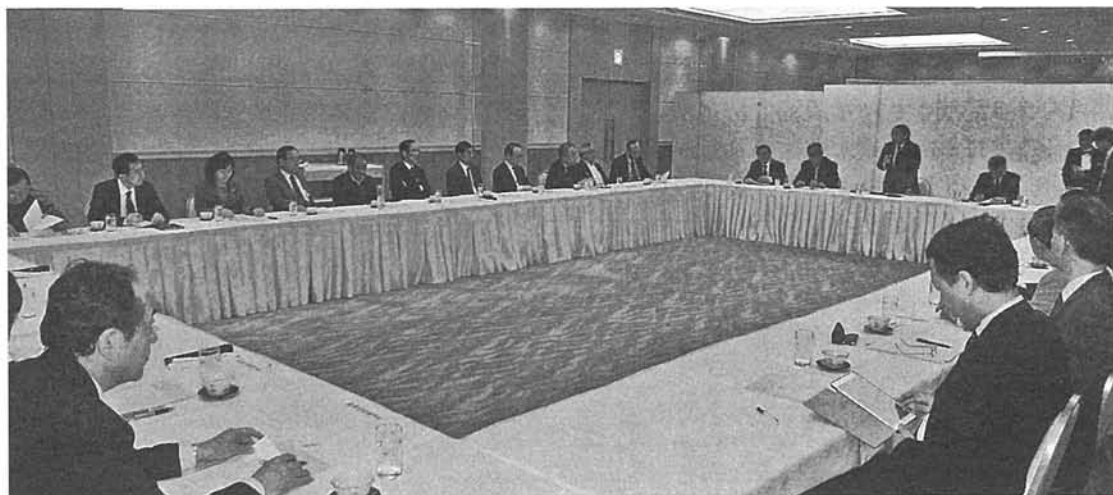
盛岡地区二次救急医療対策委員会会計（平成26年度決算及び平成27年度予算について）について、市医師会より報告され了承された。

（久保直彦）

4. 盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時：平成27年2月17日（火） 午後7時

場 所：盛岡グランドホテル



【報 告】

1. 平成26年1月分患者データについて

二次救急患者は総数6,717名と前年同月より約1,200名増加し、救急者搬送数も同様に867名と増加した。夜間急患診療所の受診者も1,014名と大幅に増加し、インフルエンザの早い流行の影響が示唆された。小児救急は輪番日総数637名、非輪番日337名ともほぼ前年同月より大幅に増加したが、前月よりは減少していた。

2. 平成25年、26年の二次・小児救急患者年間データについて

平成26年は59,506名と前年より1,300名減少しているが、救急車搬送患者は8,801名と増加している。輪番日5,909名、1コマ平均12名、輪番日以外3,412名、1コマ平均1.74名と輪番日への集中が年々顕著になっている。

3. 第124回小児救急電話相談事業事例検討会および年間報告

4. 盛岡市競技別リハーサル大会及び希望郷いわて国体（冬季大会）における医師・看護師配置計画の事前確認について

上記大会への医師・看護師配置計画の素

案が示されたことの報告があった。今後、正式な依頼があった時点で協議することとした。

【協 議】

1. 3月分の二次救急病院当番表について：原案通りに決定された。

2. 平成27年度二次小児救急当番表について：原案通りに決定された。

3. 平成27年4～6月二次小児救急輪番表の公表について：了承された。

4. 平成27年度二次救急対策委員会予算案について：一般会計、特別会計とも原案通り決定された。

5. 医大移転に伴う今後の対応について：特に進展なく、今後とも推移を見ながら検討して行くこととした。

6. 今後の日程について

懇親会 岩手西北医師会の高橋邦尚会長の乾杯の発声にて開会した。救急の諸問題、病院、医師会の諸問題について情報交換した。

（久保直彦）

出席者

委員長 和田利彦

常任委員

江原茂	千田勝一	野崎英二
田中健太郎	原田一穂	久保澤子
千葉知文	小西耕太郎	長澤博純
関博	吉田誠己	金田公文
本間博文	小濱有	久保田
加藤貞直	小吉田研	智田

委員

酒井明夫	遠藤重厚	森野禎浩
望月泉	松田壯正	尾形文智
加藤章信(代理)	佐々木一裕)	米沢俊一
高松正之(代理)	岡田三郎)	遠藤憲
白石秀夫(代理)	菊池喜博)	
高橋邦尚	高橋清実	
	藤井優子	
	企画総務課副主幹兼医事薬事係長	
	八木和康	

岩手県中央保健所

所長	菅原智子
医務主幹	栃内圭子

盛岡市保健所

所長	高橋清実
企画総務課長	藤井優子
企画総務課副主幹兼医事薬事係長	
	八木和康

盛岡市医師会事務局

事務局長	永井亮
次長	水本達彦
係長	佐藤泰之

盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時：平成27年 6 月29日（月） 午後 7 時

場 所：ホテルロイヤル盛岡



平成27年 6 月29日(月)午後 7 時より、ホテルロイヤル盛岡で開催された。

【報 告】

1. 5 月分の患者データについて

二次救急総数6,010名、救急車789名と昨年よりやや増加していた。

輪番日580名、輪番日以外295名と輪番日以外が減少傾向であった。

2. 年度ごとの患者データについて

(1) 二次救急 26年度は7,982名とやや増加し、救急車の搬入患者もやや増加していた。

(2) 小児救急 輪番日総数5,870名、輪番日以外3,279名と輪番日に集中する傾向になっている。

(3) 休日救急当番医、夜間急患診療所：総数では例年並みであったが、これまでに比較して12月、1月に患者が増加しており、インフルエンザの流行が原因と思われる。

3. 第128回小児救急電話相談事業

5 月は325件とやや増加し、溶連菌感染症の相談が多かった。11分以上の長い相談件数が増加していた。26年度のまとめは例年なみであったが、時間数が長い相談件数が増加していた。

4. 「第12回盛岡救急医療人のつどい」の開催について

平成27年 7 月31日(金)午後 7 時より盛岡グランドホテルにて開催。今回のテーマは「糖尿病救急」とした。

5. 7 月分二次救急当番表について：事前協議にて内容変更はなかった。

【協 議】

1. 病院長交代に伴う対策委員の変更

盛岡繋温泉病院 関 博文先生、川久保病院 田村 茂先生が新委員として了承された。

2. 10月～12月分小児救急入院受け入れ当番表及び平成27年度二次・小児救急輪番日程表（8月以降）について
原案通り了承された。

3. 平成27年度小児科救急医師研修事業ブロック別研修会の開催について

1) 紫波郡医師会・西北医師会の共催で行う。

2) 講師は医師会担当理事より選定していただくことになった。

4. 平成26年度二次救急医療対策委員会決算について

一般会計、特別会計とも報告通り承認された。

5. 医大移転に伴う今後の救急医療体制について

岩手医大江原副病院長より

本院の設計がほぼ終了し建設にとりかかる予定であるが、内丸医療センターについてはまだ着手されていない。今後とも諸事情をみながら、当委員会でも検討していく。

6. その他

ドクターヘリのデータも当委員会で把握してはいかかという提案があり、高度救命救急センターへデータ提出をお願いすることになった。

（久保直彦）

出席者

委員長 和田 利彦

常任委員

江原 茂	千田 勝一	野崎 英二
田中健太郎	原田 一穂	久保 直彦
千葉 知	長澤 茂	関 博文
吉田耕太郎	金子 博純	本間 博
金濱 誠己	久保田公宣	加藤 貞文
小林 有一	智田 文徳	佐藤 直也
吉田 研一		

委員

酒井 明夫	森野 禎浩	望月 泉
松田 壯正	加藤 章信	(代理 佐々木一裕)
高松 正之	(代理 高松 三郎)	田村 茂
白石 秀夫	(代理 岡田 行生)	米沢 俊一
菊池 喜博	遠藤 憲幸	高橋 邦尚
木村 宗孝	(代理 加藤 博巳)	

岩手県県央保健所

所長
医務主幹

菅原 智
栃内 圭子

盛岡市保健所

所長
次長兼企画総務課長
企画総務課副主幹兼医事業係長

高橋 清実
藤井 優子
落合 康司

盛岡市医師会事務局

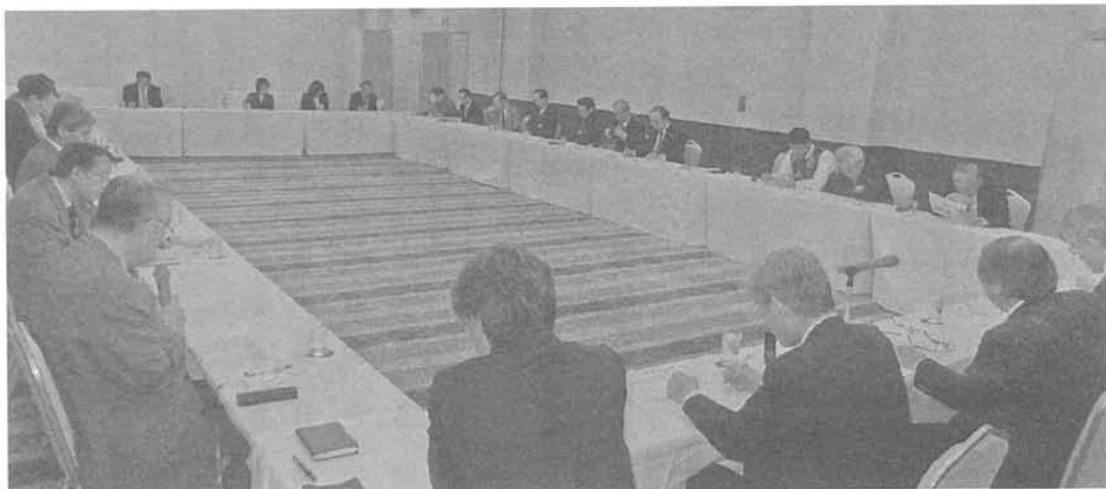
事務局長
次長
係長

永井 亮
水本 達彦
佐藤 泰之

盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時：平成27年11月24日（火） 午後7時

場 所：ホテルロイヤル盛岡



【報 告】

1. 10月分患者データについて

総数4,335名、前年並、先月より減少した。救急搬送739名と増加した。小児救急患者も輪番日367名と前年並、先月より減少した。輪番日以外275名とやや増加した。

2. 平成26～27年の患者データについて

二次救急10月分までは、月平均4,830名と例年より10%減少している。救急車搬送は総数4,278名とやや増加している。小児救急では輪番日月平均467名と昨年より減少し、輪番日以外245名とかなり減少している。

3. 第133回小児救急電話相談事業事例検討会（11/17）及び平成26年1月から10月までの集計について

10月の相談件数は総数283件（一日平均9.1件）であった。薬物誤嚥、熱性けいれん、発熱等について症例検討を行った。本年は大きな変動はなく、順調に経過している。

4. 医療提供体制推進事業費補助金（医療提供体制設備整備事業）について

高松病院、八角病院から事業計画案が提出され、八角病院に決定したことが報告された。

【協 議】

1. 12月分二次救急病院当番表について

原案通り了承された。

2. 平成28年1月～3月分の小児入院受入病院当番表(案)について

原案通り了承された。

3. 平成28年度二次救急・小児救急輪番日程(案)について

各医療機関に持ち帰って、次回本会で決定する。

4. 広報もりおかへの年末年始の救急医療態勢記事掲載について

原案通り了承された。

5. 医大移転後の救急医療体制について

大きな進展はなく、今後とも情報交換、検討することになった。

6. その他

野崎委員より、二次救急輪番制の輪番病院の主旨を各病院の医師に周知させてほしいとの発言があった。輪番病院は「最終受入れ病院」でいわゆるたらい回しを防ぐための制度で、通常の二次救急は各病院が要請に初期対応すべきものである。

（久保直彦）

5. 盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会(小児輪番に関わる)

日 時：平成27年7月30日(火) 午後1時

場 所：盛岡市医師会館 会議室

司 会：盛岡市医師会 救急医療対策部

部 長 久 保 直 彦

出席者

岩手医科大学小児科学講座 講師(医局長)		石 川 健
岩手県立中央病院	小児科長	三 上 仁
盛岡赤十字病院	小児科部長	田 中 健太郎
もりおかこども病院	院 長	米 沢 俊 一
川久保病院	小児科長	蒔 苗 剛
盛岡市医師会小児科医会	会 長	三 浦 義 孝
盛岡市医師会救急医療対策部	部 長	久 保 直 彦
盛岡地区二次救急医療対策委員会	委 員	
盛岡市医師会	副 会 長	関 博 文
	〃	吉 田 耕太郎
	〃	金 子 博 純
盛岡地区二次救急医療対策委員会	委 員	金 濱 誠 己
盛岡地区二次救急医療対策委員会	委 員	小 林 有 一

一 次 第 一

挨拶 議題

1. 9月以降の小児救急輪番体制について

盛岡赤十字病院田中健太郎小児科部長より、3名の常勤医のうち、2名が救急輪番勤務が困難の見込みであることの説明があった。協議の結果、盛岡赤十字病院の輪番回数の約半数を岩手医大小児科が代わって行うことになった。また小児科医会三浦義孝会長より盛岡赤十字病院小児科医の夜間急患診療所の当番を減らす予定とのことであった。

2. 平成28年以降の輪番体制について

輪番体制の維持について同意を得たが、来年以降の人事や各病院の諸事情があるため、年末に再度本委員会を開き検討することになった。

(久保直彦)

盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会(小児輪番に関わる)

日 時：平成27年12月17日(木) 午後7時

場 所：盛岡市医師会館 会議室

司 会：盛岡市医師会 救急医療対策部

部 長 久 保 直 彦

出 席 者

出席者

岩手医科大学小児科学講座 講師(医局長)		石 川 健
岩手県立中央病院	小児科長	三 上 仁
盛岡赤十字病院	小児科部長	田 中 健太郎
もりおかこども病院	院 長	米 沢 俊 一
川久保病院	小児科長	蔭 苗 剛
盛岡市医師会小児科医会	会 長	三 浦 義 孝
盛岡市医師会救急医療対策部	部 長	久 保 直 彦
盛岡地区二次救急医療対策委員会	委 員	
盛岡市医師会	副会長	関 博 文
	〃	吉 田 耕太郎
	〃	金 子 博 純
盛岡地区二次救急医療対策委員会	委 員	金 濱 誠 己
盛岡地区二次救急医療対策委員会	委 員	小 林 有 一

一 次 第 一

挨 拶
議 題

- 各小児救急輪番病院の現状と要望事項等について
 - 盛岡赤十字病院の小児科医師の体制が未定であるが、他の病院は現行の体制を維持できるとのことであった。
- 平成26年～27年 小児救急病院患者データ
 - 輪番日の患者数は、今年度になってやや増加傾向にある。
 - 各病院の輪番日以外の患者数は、減少傾向にある。
 - 赤十字病院は9月以来当番回数の減少に伴い受診者も減少した
- 平成28年度小児救急輪番表(案)について
 - 平成28年度も現行の小児救急二次輪番制を継続して行う。
 - 各病院の担当コマ数は、赤十字病院の常勤医の数が未定であることにより、今年度後半の回数(4回前後)とほぼ同様の割当とする。その分岩手医大が増加する。事務局作成の第3案ではほぼ合意したが、原案を持ち帰り1月の常任委員会までに検討する。
- 休日の輪番病院の受付時間について
 - 従来、小児救急輪番病院の診療時間は、土曜日は13時から17時まで、夜間は17時から午前9時までとなっているので、各病院スタッフへ周知する。休日救急当番医は午前9時から17時までとなっている。但し夜間当番病院の救急車の受け入れ時間は午前8時半までとし、以後は日中の当番病院へ搬送することに申し合わせた。この件について消防本部に連絡する。

(久保直彦)

6. 第12回盛岡救急医療人のつどい

日 時：平成27年7月31日（金） 午後7時

場 所：盛岡グランドホテル



もりおか救急医療人のつどいが、盛岡グランドホテルで開催された。和田利彦会長の挨拶の後、引き続き研修会に入った。

【研修会及びディスカッション】

テーマ 「糖尿病救急」

(1) 盛岡地区広域消防組合より

演題：「救急救命士による

特定行為拡大の現状について」

講師：盛岡中央消防署 救急救助係 主査
伊藤 弘幸 氏

要旨：救急救命士による特定行為のこれまで流れと、本年4月より新たに加わった心肺停止前の静脈路確保及び輸液、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与についての現状報告があった。心肺停止前の



伊藤弘幸氏

静脈路確保及び輸液についてはほとんど実施されていないが、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は10例に実施された。重症低血糖に対し、早期にブドウ糖が投与され、効果があった1例が報告された。

(2) 二次救急病院より

演題：「盛岡救急医療人に役立つ
低血糖に関する知識」

講師：岩手県立中央病院 副院長兼
総合診療科科長 川村 実 氏

要旨：低血糖の病態生理と低血糖の臨床像について説明された。2014年の県立中央病院の救急データでは、年間救急車6,282台中73台（1.2%）の低血糖患者が搬送されており、盛岡医療圏ではこの倍以上の患者が



川村 実氏

低血糖を起こして搬送されていると見込まれる。この10年間で搬入された重症低血糖（60 mg/dl 以下）の特徴は季節では6、7月少なく、時間帯では夕方に多い。年齢、性別では60代以降の男女とも多く、体型は正常者に多い。治療別では糖尿病薬治療、インスリン治療とも約40%であったが、20%が未治療者であった。糖尿病薬治療者中96%はUA 剤を内服していた。

【まとめ】

①低血糖による中枢症状は意識障害を含むあらゆる症状として出現する。②救急の意識

障害患者さんには現場での血糖を測定することが重要である。③低血糖に伴う症状と判断できれば、一次二次病院も受け入れやすくなり、患者さんの迅速な治療に役に立つと思われる。

【情報交換会】

加藤 彰消防長の乾杯で懇親会が開催された。出席者は約140名であった。

(久保直彦)

7. 盛岡市医師会・盛岡市保健福祉部 平成27年度打合せ会議

日 時：平成27年 7月30日（木） 午後 7 時30分

場 所：ホテル東日本



7月30日(木)午後7時30分からホテル東日本で開催された。

和田利彦盛岡市医師会長、熊谷俊彦盛岡市保健福祉部長の挨拶に引きつづき議事に入った。

1 平成27年度盛岡市保健福祉部主要事業について

組織機構図が示され、事業内容が示された。

1. 保健福祉部

(1) 地域福祉課

- 1) 地域福祉計画推進事業
(事業費7,789千円)【新規】
- 2) 民生・児童委員関係事業
(66,643千円)
- 3) 介護保険事業特別会計 包括的支援事業・任意事業
(19,476千円)【一部新規】
- 4) 避難行動要支援者避難支援事業
(6,003千円)【新規】
- 5) 仕事と生活の調和推進事業

(7,738千円)【新規】

- 6) 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金に係る受付事務

7) 臨時福祉給付金支給事業

(358,862千円)

8) 盛岡地域振興商品券発行事業

(222,252千円)【新規】

9) 社会福祉法人及び社会福祉施設等指導監督業務

(14,458千円)

- ①社会福祉法人等指導監督業務
- ②社会福祉施設等指導監督業務
- ③介護保険施設・障害福祉施設の実地指導及び有料老人ホーム立ち入り指導

(2) 障がい福祉課

- 1) 障がい者相談支援事業 (34,038千円)
- 2) 介護給付等給付事業 (2,531,239千円)
- 3) 訓練等給付事業 (1,809,002千円)
- 4) 地域生活支援事業 (243,508千円)
- 5) 障がい児通所給付費等給付事業
(398,165千円)

- 6) 福祉サービス事業所等指定事務 (210,977千円)
(801千円)
 - 7) 盛岡市自立支援協議会 (53,735千円)
 - 8) 障がい者福祉施設整備助成事業 (16,812千円)
(116,100千円)
 - 9) 段差解消スロープ設置事業 (16,461千円)
(450千円)【新規】
 - 10) 高齢者保健福祉サービス
- (3) 子ども未来課
- 1) 待機児童解消強化事業 (16,324千円)【新規】
 - 2) 私立児童福祉施設整備助成事業 (113,497千円)【新規】
 - 3) 子ども・子育て支援事業計画推進事業 (1,384千円)【新規】
 - 4) 子どものための教育・保育給付事業 (743,510千円)【新規】
 - 5) 子育て世帯臨時特例給付金給付事業 (148,955千円)
 - 6) 保育士等処遇改善臨時特例事業 (104,744千円)
 - 7) 保育料軽減事業 (712,711千円)
 - 8) 私立児童福祉施設等運営事業 (4,799,427千円)
 - 9) 特別保育事業 (512,914千円)
 - ①延長保育
 - ②休日保育
 - ③一時預かり
 - ④発達支援児保育
 - ⑤病児・病後児保育
 - 10) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 (59,684千円)
 - 11) 児童館管理運営事業 (446,875千円)
- (4) 長寿社会課
- 1) 地域包括ケアシステム構築推進事業 (1,426千円)【新規】
 - 2) 認知症対策推進事業 (4,365千円)【新規】
 - 3) 在宅医療介護連携促進事業 (36,000千円)【一部新規】
 - 4) 地域包括支援センターの充実 (212,412千円)
 - 5) (仮称) みたけ老人福祉センター整備事業 (70,050千円)
 - 6) 老人福祉センター等管理運営事業
- (5) 介護保険課
- 1) 介護保険給付 (21,490,305千円 (対前年度比3.6%増))
 - 2) 施設整備 (474,408千円)
 - ①入所系施設
 - ②居宅系施設
- (6) 生活福祉第一課・第二課
- 1) 生活保護事業 (7,975,500千円)
 - 2) 生活保護受給者就労支援事業 (20,331千円)
 - 3) 生活困窮者自立相談支援事業 (25,000千円)
 - 4) 学習支援事業 (9,599千円)
2. 盛岡市保健所
- (1) 企画総務課
- 1) 保健所管理運営事業 (38,457千円)
 - 2) 衛生統計調査事業 (1,127千円)
 - 3) 墓園管理運営事業 (18,760千円)
 - 4) 夜間急患診療所管理運営事業 (67,326千円)
 - 5) 医務薬務指導事業 (3,880千円)
 - 6) 患者輸送事業 (5,464千円)
 - 7) 第二次救急医療事業 (125,023千円)
 - 8) 在宅当番医制事業 (8,260千円)
 - 9) 小児救急輪番制病院事業 (198,212千円)
 - 10) 医師等養成事業 (32,340千円)
- (2) 健康推進課
- 1) 母子保健事業 (366,657千円)
 - ①母子保健指導
 - ②妊婦健康診査
 - ③乳幼児健康診査・総合審査
 - 2) 医療費給付事業 (160,074千円)
 - ①未熟児養育医療費給付事業

- ②自立支援医療(育成医療)費給付事業
- ③結核児童の療育給付事業
- ④小児慢性特定疾病対策事業
- ⑤不妊に悩む方への特定治療支援事業
- 3) 成人保健事業(494,165千円)
 - ①もりおか健康21プランの推進
 - ②食育推進計画の推進
 - ③成人健康診査事業
 - ④特定保健指導
- (3) 健康予防課
 - 1) 予防接種事業(761,302千円)
 - ①法定接種
 - ②費用助成
 - 2) 栄養改善指導事業(1,124千円)
 - 3) 感染症予防事業(25,344千円)
 - 4) 精神保健福祉事業(3,757千円)

- (4) 生活衛生課
 - 1) 食品衛生指導事業(8,376千円)
 - 2) 生活衛生指導事業(968千円)
 - 3) 試験検査事業(7,002千円)
 - 4) 動物愛護事業(9,224千円)

2 盛岡市医師会からの要望事項

5項目の要望事項(ロタウイルス・おたふくかぜ等任意接種ワクチンへの公費助成、認定こども園における健診に係る補助金、耳鼻咽喉科健診に係る器具の確保、地域包括支援センター等との連携推進、子どもの医療費助成の現物給付化後の対応)について説明と質疑が行われた。

打ち合わせ会終了後、高橋清実盛岡市保健所長の乾杯で懇親会となり、終始和やかな雰囲気であった。

(本間 博)

出席者			
〔盛岡市医師会〕		〔盛岡市保健福祉部〕	
会 長	和田 利彦	保健福祉部 部長	熊谷 俊彦
副会長	関 博文	保健福祉部 次長	村上 秀樹
副会長	吉田耕太郎	参事兼子ども未来課長	石橋 浩幸
副会長	金子 博純	地域福祉課長	玉山 正彦
理事(総務部長)	本間 博	障がい福祉課長	晴山 陽夫
理事(医療安全・医療事故予防対策部長)	齋藤 達雄	長寿社会課長	藤澤 忠範
理事(地域医療部長)	工藤 卓次	介護保険課長	藤原 真人
理事(学幼保医部長)	金濱 誠己	生活福祉第一課長	安ヶ平 潤
理事(保険部長)	鈴木 知己	生活福祉第二課長	大志田 進
理事(検診部長)	久保田公宜		
理事(母子保健・思春期保健対策部長)	小林 有一	〔盛岡市保健所〕	
理事(看護学院部長)	智田 文徳	保健所長	高橋 清実
理事(地域医療部)	橋本 真生	次長兼企画総務課長	藤井 優子
理事(地域医療部)	千葉 隆史	参事兼生活衛生課長	佐藤 圭
理事(産業保健部長)	佐藤 直也	健康推進課長	吉田 信二
事務局長	永井 亮	保健師長	村上富美子
次 長	水本 達彦	保健予防課長	高橋 悟

8. 第33回救急医療学術講演会

日 時：平成27年 9 月 4 日（火） 午後 6 時40分

場 所：岩手県医師会館 4 階大ホール



恒例の第33回救急医療学術講演会が岩手県医師会館で開催された。

今回は「岩手県におけるドクターヘリの運用について」をテーマに、岩手医科大学救急医学講座名誉教授の遠藤重厚先生の座長で、

1) 救急隊の立場から盛岡中央消防署救急救助係 一盃森博徳氏、2) 看護師の立場から救急センター看護師 金子 拓氏、3) 医師の立場から岩手医科大学救急医学講座講師 大間々真一氏により、岩手県におけるドクターヘリの運行状況と問題点について、それぞれの立場から、救急搬送事例を詳しく説明された。

大間々医師の発表では、最近、1日10件の出動要請があり、受傷種類によっては対応出来ない事例があった事（ハチ刺されによるアナフィラキシー、指の切断等） また、このような重複要請があった場合の対応について、今後考えていかなければならないとの問題提起もあった。最後に遠藤重厚先生より、岩手県におけるこの2年半の運用について、「関係機関の連携によりうまくいっているので、今後とも宜しく願いたい」との事であった。出席者は医師・医療機関関係約70名、消防65名、行政5名であった。

（久保直彦）

9. 二次救急医療病院事務長会議

日 時：平成27年3月3日（火） 午後1時

場 所：盛岡市医師会館 会議室

盛岡市医師会	会 長	和田 利彦
	副 会 長	関 博文
	副 会 長	金子 博純
	総務部長	本間 博
	救急医療課長	久保 直彦
岩手医科大学附属病院	病院事務次長	齋藤 俊哉
	医事課長	小野 圭子
岩手県立中央病院	事務局長	村田 幸治
盛岡赤十字病院	事務部長	野田 博克
盛岡市立病院	事務局長	小笠原一郎
遠山病院	事務部長	千葉 俊祐
栃内病院	事 務	中田ヨシ子
高松病院	事務長	高松 正則
盛岡繁温泉病院	事務部長	菅野 孝弘
盛岡友愛病院	経営企画課長	小原 孝文
川久保病院	事務長	菊地 宏
独立行政法人国立病院機構盛岡病院	事務部長	伊藤 幸淑
もりおかこども病院	事務部長	佐藤 巖
八角病院	事務長	藤原 正孝
盛岡市保健所	企画総務課副主幹兼医事課係長	
		八木 和康
盛岡市医師会事務局	事務局長	永井 亮
	次 長	水本 達彦
	係 長	佐藤 泰之

一 次 第 一

挨拶 盛岡地区二次救急医療対策委員会委員長
盛岡市医師会会長 和田 利彦

報 告

1. 1月分患者データについて
2. 25～26年の患者データについて
(p1～p5：二次救急 p6～p16：小児救急)
3. 第124回小児救急電話相談事業事例検討会（2/17）及びH26.1月から12月までの集計について
4. 盛岡市競技別リハーサル大会及び希望郷いわて国体（冬季大会）における医師・看護師配置計画について
5. 3月分二次救急病院当番表について
6. 平成27年度二次・小児当番表について
7. 平成27年4月～6月分の小児救急当番表の公表について
8. 平成27年度二次救急対策委員会運営予算について
9. 医大移転後の救急医療体制について

二次救急医療病院事務長会議

日 時：平成27年7月3日(金) 午後1時

場 所：盛岡市医師会館 2階会議室

盛岡市医師会	会 長	和田 利彦
	副 会 長	関 博文
	副 会 長	吉田耕太郎
	副 会 長	金子 博純
	総務部長	本間 博
	総務課長	久保 直彦
岩手医科大学附属病院	病院事務部長	千葉 久人
	医事課長	小野 圭子
岩手県立中央病院	事務局長	千葉 雅弘
盛岡赤十字病院	事務部長	野田 博克
盛岡市立病院	事務局長	小笠原一郎
遠山病院	事務部長	千葉 俊祐
栃内病院	事務部長代理	中田ヨシ子
高松病院	事務長	高松 正則
盛岡繋温泉病院	事務部長	菅野 孝弘
盛岡友愛病院	経営企画課長	小原 孝文
川久保病院	事務長	菊地 宏
独立行政法人国立病院機構盛岡病院	事務部長	伊藤 幸淑
もりおかこども病院	事務副部長	木村 正樹
八角病院	事務長	藤原 正孝
盛岡市保健所	企画総務課副主幹兼医事課係長	
		落合 康司
盛岡市医師会事務局	事務局長	永井 亮
	次 長	水本 達彦
	係 長	佐藤 泰之

一 次 第 一

挨拶 盛岡地区二次救急医療対策委員会委員長

盛岡市医師会会長 和田 利彦

報 告

- 5月分患者データについて
- 年度毎の患者データについて
 - (1) 二次救急: 1～10頁
 - (2) 小児救急: 11～25頁
 - (3) 休日当番医・夜間急患所: 26～30頁
- 第128回小児救急電話相談事業事例検討会(6/16)及びH26.4月からH27.5月までの集計について
- 「第12回盛岡救急医療人のつどい」の開催について(7/31)
- 7月分二次救急病院当番表について
- 病院長交代に伴う、対策委員会委員の変更について
 - (1) 盛岡繋温泉病院 小西一樹先生 → 関博文先生(H27.4.1より)
 - (2) 川久保病院 尾形文智先生 → 田村茂先生(H27.6.20より)
- 10～12月分小児救急入院受入病院当番表及び平成27年度二次・小児科輪番日程表(8月以降)について
- 平成27年度小児科救急医師研修事業ブロック別研修会の開催について
- 平成26年度二次救急医療対策委員会決算について

二次救急医療病院事務長会議

日 時：平成27年12月1日(火) 午後7時

場 所：盛岡グランドホテル

盛岡市医師会 会 長 和田 利彦

副 会 長 関 博文

副 会 長 吉田耕太郎

副 会 長 金子 博純

総務部長 本間 博

救急医療部長 久保 直彦

岩手医科大学附属病院 病院事務部次長 齊藤 俊哉

岩手県立中央病院 事務局次長 館澤 文男

医事経営課長 青砥 勝

盛岡赤十字病院 事務部長 野田 博克

盛岡市立病院 事務局長 小笠原一郎

遠 山 病 院 事務部長 千葉 俊祐

栃 内 病 院 事務部長代理 中田ヨシ子

高 松 病 院 事務長 高松 正則

盛岡繁温泉病院 事務部次長 佐藤 人美

盛岡友愛病院 経営企画室次長 小原 孝文

川 久 保 病 院 事務長 菊地 宏

独立行政法人国立病院機構盛岡病院 事務部長 伊藤 幸淑

もりおかこども病院 事務部長 佐藤 巖

八 角 病 院 事務長 藤原 正孝

盛岡市保健所 企画総務課副主幹兼医事課係長

落合 康司

盛岡市医師会事務局 事務局長 永井 亮

係 長 佐藤 泰之

— 次 第 —

挨拶 盛岡地区二次救急医療対策委員会委員長

盛岡市医師会会長 和田 利彦

報 告

1. 10月分患者データについて

2. 26～27年の患者データについて

(1) 二次救急: 1～4 頁

(2) 小児救急: 5～15 頁

(3) 休日当番医・夜間診療所: 16～20 頁

3. 第133回小児救急電話相談事業事例検討会 (11/17) 及びH27.1月から10月までの集計について

4. 医療提供体制推進事業費補助金 (医療提供体制設備整備事業) について

5. 平成27年度小児科救急医師研修事業ブロック別研修会の開催について (2/1)

6. 12月分二次救急病院当番表について

7. 平成28年1月～3月分の小児入院受入病院当番表について

8. 平成28年度二次救急・小児救急輪番日程 (案) について

9. 二次救急医療対策委員会委員の変更について

10. 広報もりおかへの年末年始の救急医療態勢記事掲載について

11. 医大移転後の救急医療体制について

12. その他

10. 平成27年度盛岡総合防災訓練

日 時：平成27年10月 4 日（日） 午後 8 時

場 所：岩手大学グラウンド、県立中央病院他



平成27年10月4日(日)午前8時より、岩手大学グラウンド、上田小学校、県立中央病院を会場に開催された。岩手大学グラウンドでのトリアージ訓練・医療救護訓練には、医師12名、看護師5名、事務1名(県立中央病院含む)、県立中央病院での病院支援訓練には、県立中央病院スタッフ約60名(医師・看護師・事務)、開業医3名と看護師1名が訓練に参加した。住民・自主防災隊も合わせると約3,500名の参加者であった。

(久保直彦)

病院支援訓練

午前8時頃盛岡市で震度6弱の大地震が発生し、この地震により電話、電気、ガス、水

道などライフラインと施設および道路、橋梁などの損壊したほか、多くの建物が倒壊し、人的および物的に甚大な被害が発生した。という災害想定で、医師会員3名と看護師1名

が県立中央病院の支援訓練に参加した。

我々はトリアージ緑の軽症群を担当し、医師、看護師、薬剤師、事務の4名が1チームとして診療にあたった。想定患者は100名の予定だが約7割程度が軽症患者で打撲、挫創、切創、腹痛、胸痛、呼吸困難、動悸、めまい、過呼吸などさまざまな症状の患者が設定されていた。救護現場でのトリアージ後の症状とバイタルサインと来院時の視診、触診、問診のみで判断が求められる状況だった。

大災害の診療は検査機器、処置、薬剤も不十分な状況のため、訓練に参加して経験する事が非常時に役立つものと感じた。

(工藤卓次)



寄稿

「防災訓練に参加して」

中村医院 看護師 一條優子

盛岡市総合防災訓練が10月4日に行われました。私は防災訓練に参加した経験がなく、とても不安な気持ちで当日を迎えました。朝8時に携帯電話の災害緊急アラームが鳴り更に緊張が増しました。

私が参加したのは、岩手大学グラウンドに於いて行われた「トリアージ訓練及び医療救護訓練」でした。訓練に先がけ大まかな流れが説明されトリアージ訓練、トリアージタグの扱い方等を教えて頂きました。

その後チームごとに分かれての訓練となり負傷者役の方が運ばれて来ました。

訓練なので胸に負傷部位やバイタルが記されているのですが、実際の現場となればどんなに大変な状況になるのだろうと考えさせられました。

私たちの訓練終了後に自衛隊、消防、救助犬による救出訓練や防災ヘリによる患者（ダミー）の搬送が行われ、災害時には様々な人達の力が必要なのだと改めて実感しました。私も医療従事者として少しでも役に立てるよう努力していかなければと痛感し、また今回訓練に参加させて頂いて本当に良かったと感じました。

盛岡市総合防災訓練に参加して

岩手県立中央病院 看護師 高 柴 莉 子

今回初めて防災訓練に参加し、トリアージや災害時の対応・処置を体験することで、実際の現場をイメージすることができた。看護師となってから3年間は、所属する病棟看護以外の経験はなく、災害時には医療者として地域に貢献できるようになりたいと強く実感した機会であった。

私は緑エリアに配置され、医師・薬剤師・事務職員とともに診断、処置、記録の訓練を実施した。約100人の傷病者が来院し、トリアージを行ったのち各エリアに搬送された。受傷者は事務職員によって待合場所へ案内され、編成されたチームが身体所見、バイタルサイン、意識レベルなどの情報をアセスメントし医師の診断のもと処置を行った。緑エリアへの搬送患者の数の多さに圧倒され、マニュアルに沿った対応が難しく、自分の思うように動くことができなかった。しかし、訓練が進むにつれ、声を出せるようになり、チーム内で声を掛け合いながら患者の状態や行われる処置など状況の

情報共有を密にすることができるようになったチームのコミュニケーションが円滑になることで診療も円滑に進み、受傷者の帰宅と新しい患者の受け入れが滞ることなく進むようになった。

医療者一人ひとりが自分の役割を理解し、チームの中で多職種との連携や迅速かつ的確な診療を行うことの重要性を学ぶとともに、災害時の対応の難しさも実感した。今回の訓練において、最も印象に残ったことはチーム内でのコミュニケーションを一人ひとりがより意識を持ち積極的に行うことの重要性であった。実際の災害現場においては、多くの混乱の中で、今回の訓練を実践できるようにしていかなければならない。そのため、日頃の看護実践において、より医療チームの連携を意識して自分の役割やできることを常に考え実践していきたい。そして、一人でも多くの受傷者を助けられることができるよう今回の訓練の学びを振り返り、院内の災害訓練の経験を積み重ねていきたい。

盛岡市総合防災訓練に参加して

岩手県立中央病院 2年次研修医 藤 田 洸太郎

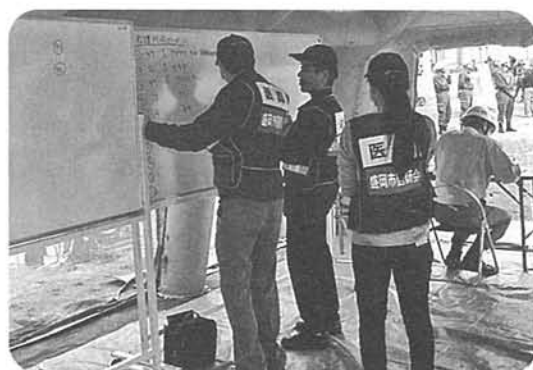
10月4日に盛岡市総合防災訓練が行われ、赤エリアの担当チームとして参加させていただきました。訓練は、実際に倒壊家屋のモデルも設置され、救助隊によって救出されてきた受傷者をまずトリアージブースにて篩い分けをし、重症度に応じて赤エリアまたは黄色エリアで各々の医療チームが対応するという災害現場さながらの環境で行われました。災害訓練に参加した経験はありましたが、院外での訓練は初めてだったためやや緊張した心持で臨みました。

赤エリアであることもあり、訓練では緊張性気胸、骨盤骨折など重症感のある疾患が疑われる患者が多数運ばれてきました。実際の現場で生じるであろう傷病者の数と、疾患重症度はやや高めに設定してあったとの事でしたが、同チームの医師およびコメディカルのスタッフとコンタクトを取り合いながら、記載のある

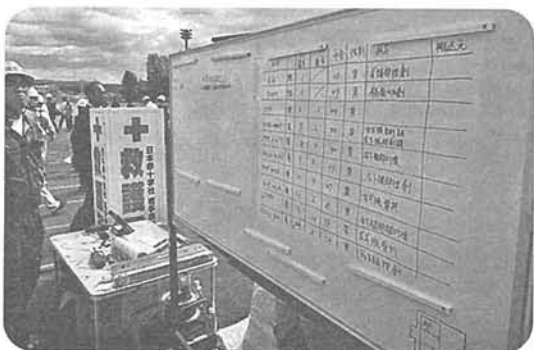
症状より疾患を想定しそれに応じた処置を施し、各病院へ搬送するという段取りを理解することができました。トリアージタグは普段からあまり使い慣れているものではありませんでしたが、事前に取り扱いに関する説明もありそれに準じて記載していきました。災害現場の紙カルテともいえる重要なタグですが、こちらもやはり医師と看護師が共同して身体所見を取る・タグに記載する作業をスムーズに行う必要があると感じました。

今回は訓練のため患者の症状や所見は全て患者役のゼッケンに記載してありましたが、実際の災害現場では患者を迅速に診察し的確な身体所見を得られる診察能力も大いに必要とされると思われます。万一災害が起きた際に適切な対応が出来る為にも、普段の臨床現場より地道に訓練を積んでおく事が重要であると実感致しました。





岩手大学



県立中央病院





11. 岩手県小児救急電話相談事業実績

(平成27年1月～12月)

はじめに

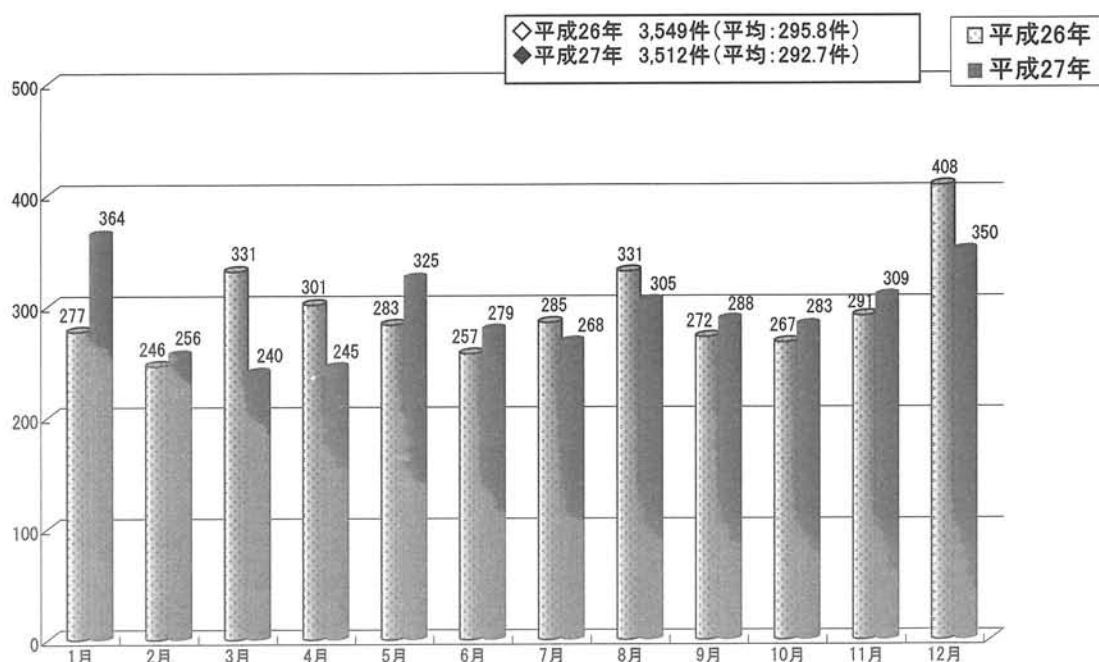
平成16年10月より、岩手県では「看護師によるこども救急相談電話」事業を実施している。この事業は、岩手県から岩手県医師会が受託し、実務的な業務は盛岡市医師会に委託されている。この相談員は、岩手県看護協会が推薦し、盛岡市医師会が雇用するものとし、10名を登録している。

相談業務は年中無休で午後7時から午後11時まで行われ、登録した看護師のうち2名ずつで担当している。相談内容の検証、より良い相談方法、相談員の技術向上のため、毎月1回相談員全員と小児科医3～4名が同席し、相談事例の検討会を行っている。その内容は市医師会の理事会で毎月報告されている。

1. 相談件数推移 (H16.10～H25.12)

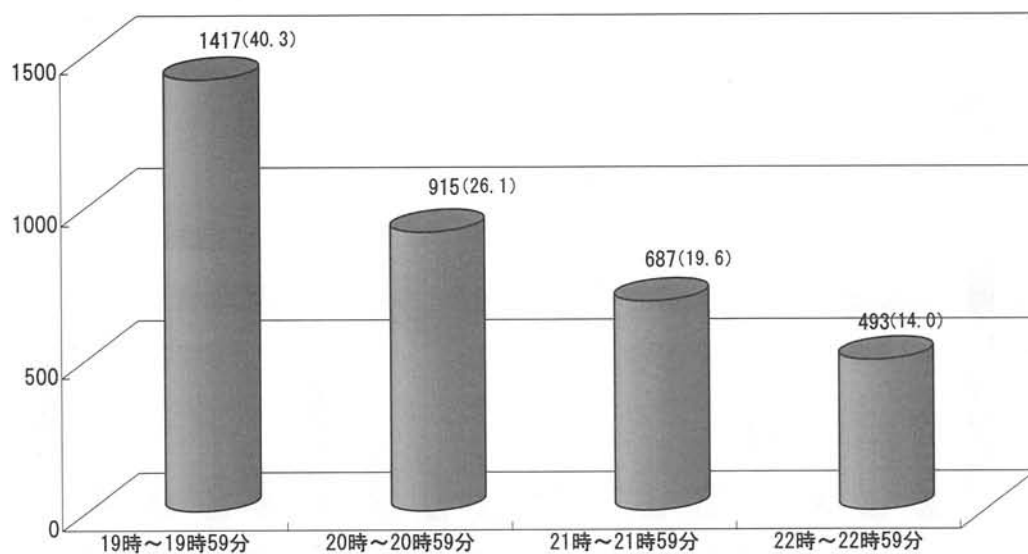
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
平成16年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	122	118	104	344	114.7
平成17年	118	224	281	185	219	199	191	145	138	200	169	248	2,317	193.1
平成18年	172	163	184	193	243	207	182	174	149	191	225	332	2,415	201.3
平成19年	220	221	271	245	239	226	189	175	191	172	251	347	2,747	228.9
平成20年	236	225	197	205	222	212	217	210	201	214	250	380	2,769	230.8
平成21年	296	266	262	242	276	274	209	249	309	454	493	494	3,824	318.7
平成22年	348	317	343	285	359	317	332	307	242	269	346	413	3,878	323.2
平成23年	368	325	297	262	350	314	351	345	307	303	331	360	3,913	326.1
平成24年	333	360	330	349	323	260	291	306	288	314	351	320	3,825	318.8
平成25年	305	255	277	303	331	297	297	334	362	314	292	353	3,720	310.0
平成26年	277	246	331	301	283	257	285	331	272	267	291	408	3,549	295.8
平成27年	364	256	240	245	325	279	268	305	288	283	309	350	3,512	292.7

2. 月別件数 (前年度との比較)



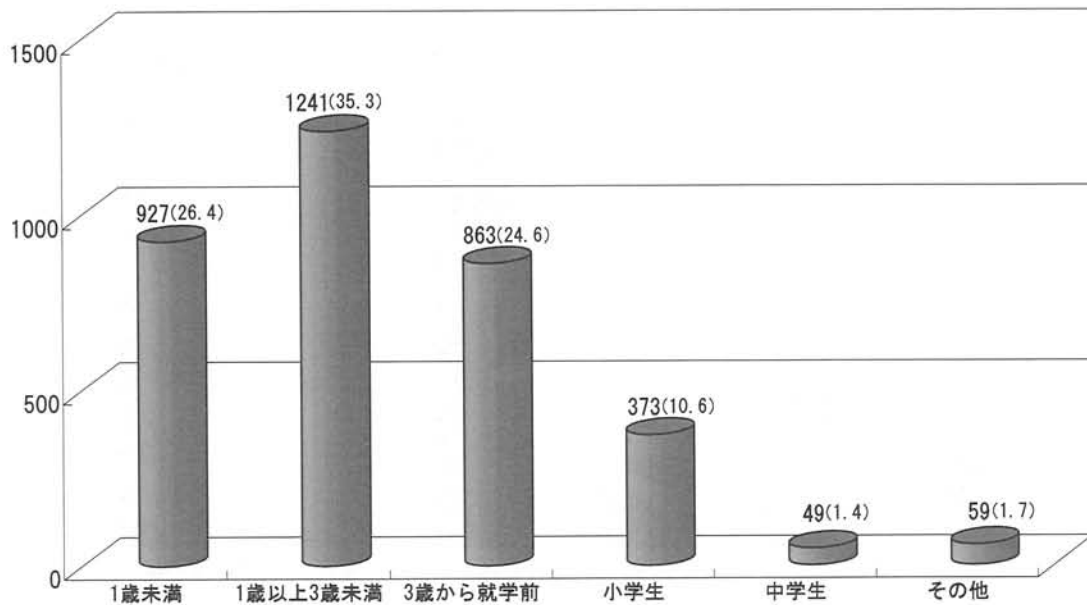
3. 時間帯別内訳 (H27.1～12)

() 内%

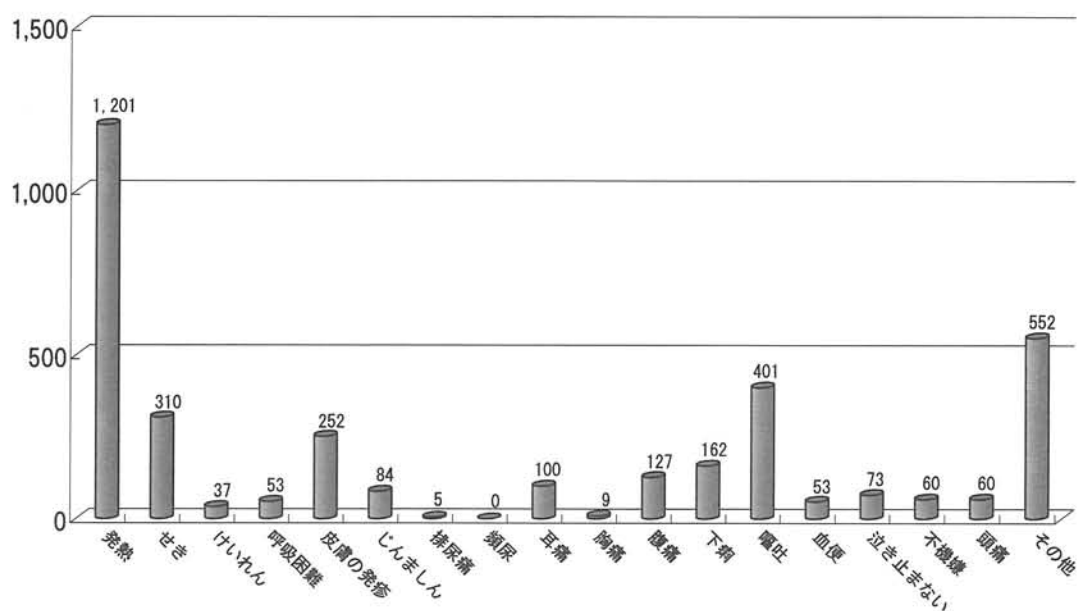


4. 年齢別内訳 (H27.1～12)

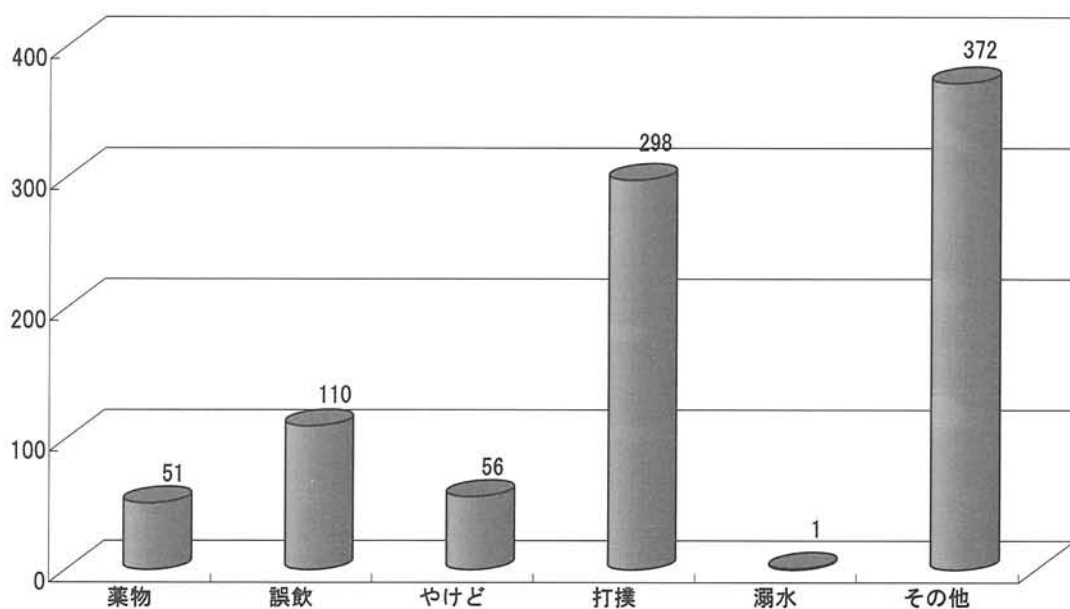
() 内%



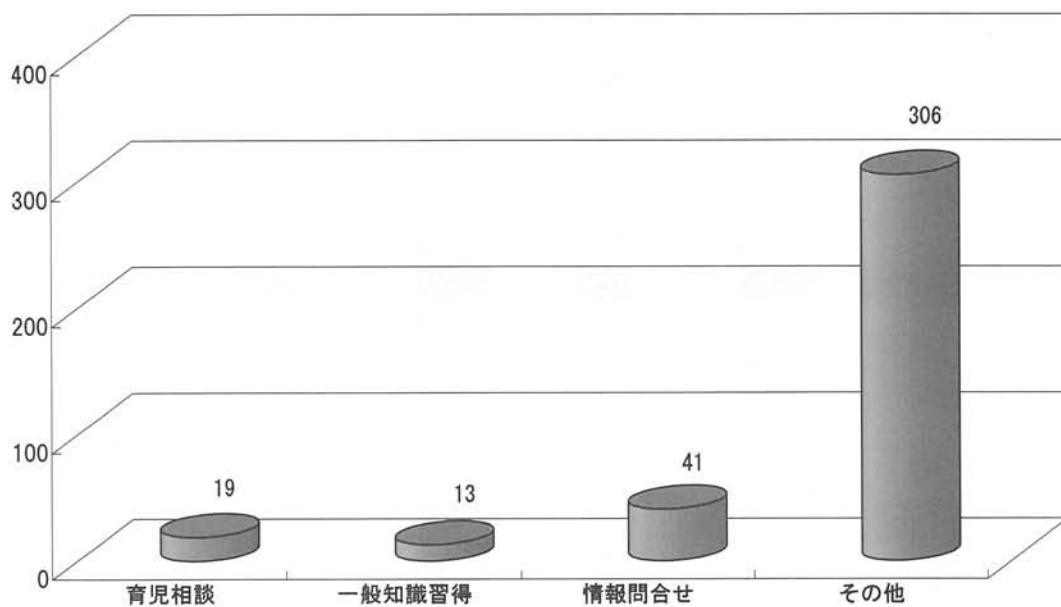
5. 相談別内容（病気）（H27.1～12）



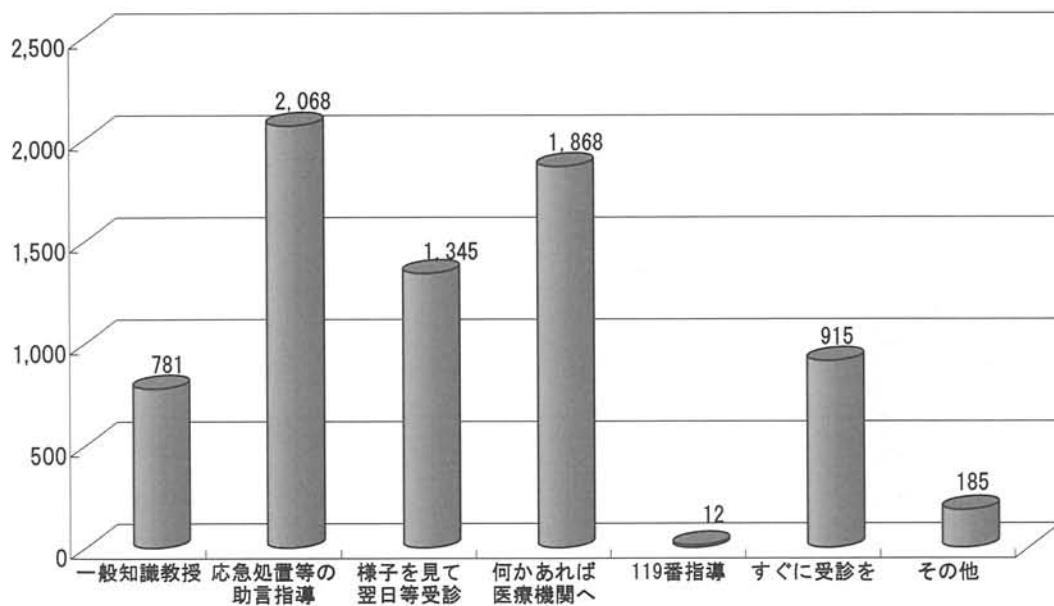
6. 相談内容別内訳（事故）（H27.1～12）



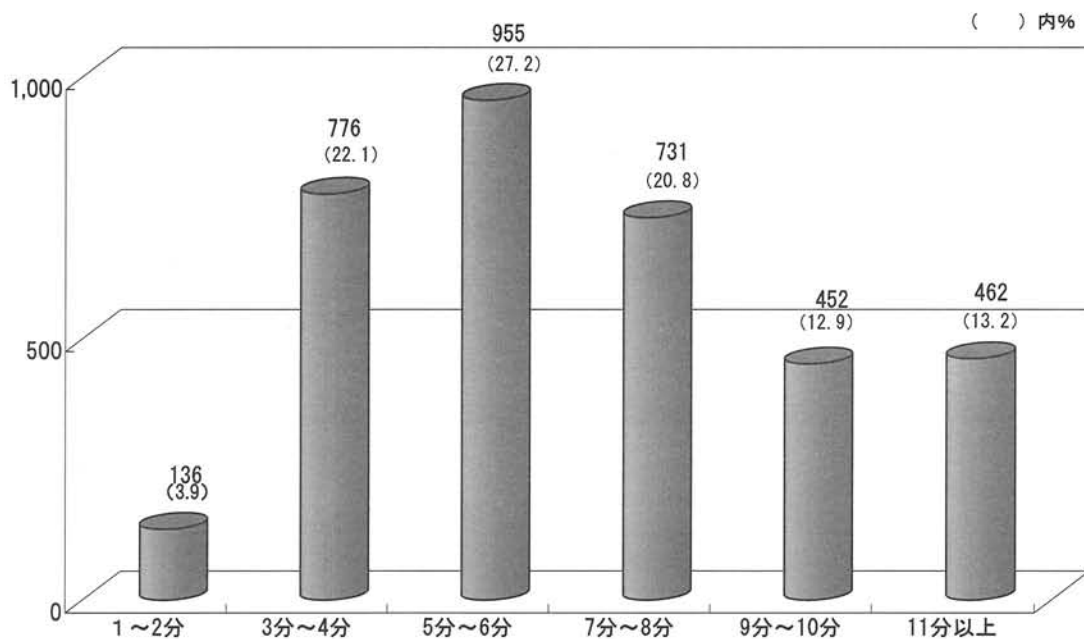
7. 相談内容別内訳（その他）（H27.1～12）



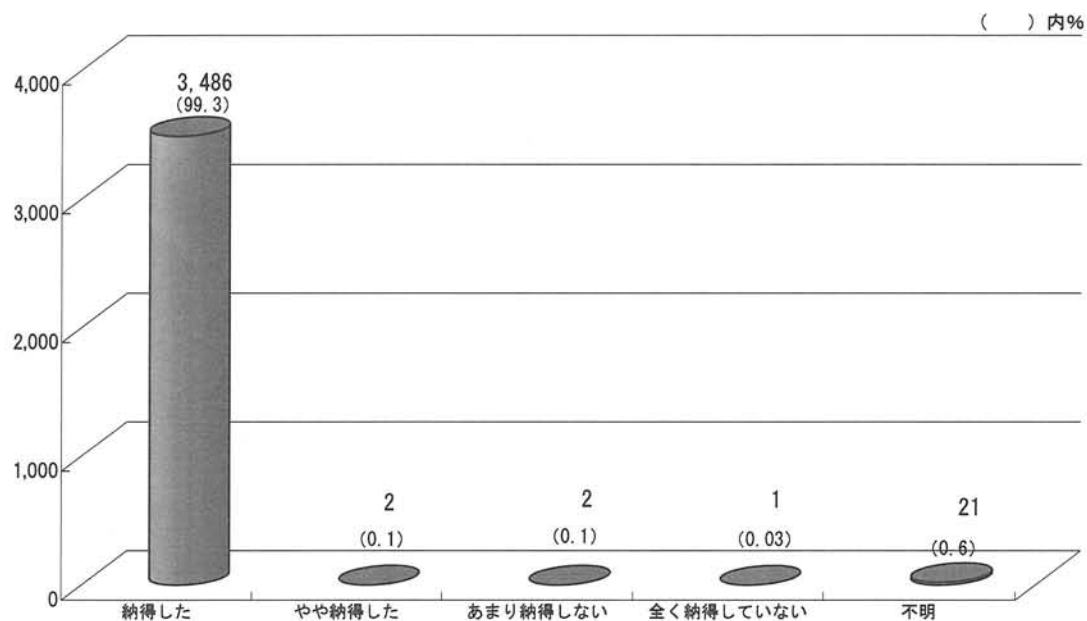
8. 対応内容別内訳（H27.1～12）



9. 相談時間別内訳 (H27.1～12)



10. 相談者の印象別内訳 (H27.1～12)



11. 市町村別件数（H27.1～12）

市 町 村 名	相 談 件 数	() 内 %
市 部 計	3,092	(88.04)
盛 岡 市	1,131	(32.20)
宮 古 市	96	(2.73)
大 船 渡 市	43	(1.22)
奥 州 市	315	(8.97)
花 巻 市	407	(11.59)
北 上 市	232	(6.61)
久 慈 市	40	(1.14)
遠 野 市	73	(2.08)
一 関 市	362	(10.31)
陸 前 高 田 市	23	(0.65)
釜 石 市	40	(1.14)
二 戸 市	49	(1.40)
八 幡 平 市	53	(1.51)
滝 沢 市	228	(6.49)
岩 手 郡	77	(2.19)
雫 石 町	27	(0.77)
葛 巻 町	10	(0.28)
岩 手 町	40	(1.14)
紫 波 郡	164	(4.67)
紫 波 町	98	(2.79)
矢 巾 町	66	(1.88)
県 外	31	(0.88)
不 明	24	(0.68)

市 町 村 名	相 談 件 数	() 内 %
和 賀 郡	9	(0.26)
西 和 賀 町	9	(0.26)
胆 沢 郡	25	(0.71)
金 ヶ 崎 町	25	(0.71)
西 磐 井 郡	16	(0.46)
平 泉 町	16	(0.46)
気 仙 郡	6	(0.17)
住 田 町	6	(0.17)
上 閉 伊 郡	5	(0.14)
大 槌 町	5	(0.14)
下 閉 伊 郡	27	(0.77)
山 田 町	11	(0.31)
岩 泉 町	9	(0.26)
田 野 畑 村	5	(0.14)
普 代 村	2	(0.06)
九 戸 郡	20	(0.57)
軽 米 町	3	(0.09)
洋 野 町	14	(0.40)
野 田 村	2	(0.06)
九 戸 村	1	(0.03)
二 戸 郡	16	(0.46)
一 戸 町	16	(0.46)

合計 3,512 件

おわりに

平成27年の電話相談の月平均は292.7件であった。平成16年の開設当初は月平均114.7件だったが、その後右肩上がりに増加し、平成21年以降は300件台前半で推移、ここ数年は微減している。年齢別内訳では3歳未満が61.2%を占め、発熱に関する相談(36.4%)が最も多いという傾向は例年同じである。市町村別では、盛岡市からの相談が32.2%と最も多く、その他全県下から相談が寄せられているが、県外からの相談も0.88%認めた。また、相談時間が長くなるケースもみられ、対応に苦慮する事例も少なくない。しかし相談者の99.3%は相談員の対応に納得しており、適切に対応しているといえる。「はじめに」で述べたように、相談員は事例検討会を開催したりするなど日々の相談技術の向上に努めており、その努力に敬意と感謝を表したい。

V 東日本大震災関連

1. 被災地等の医療支援のために派遣した医師

(盛岡市医師会・岩手西北医師会・紫波郡医師会)

(1) 岩手県医師会 高田診療所診療応援医師 (各診療部会からの派遣)

(※平成27年1月～平成28年3月分 順不同)

1) 盛岡市医師会

出勤日	出 勤 医 師									
【平成27年】										
1月3日（土）	本 間 博									
4日（日）	小 林 有 一	三 善 恵	森 康 記							
	加 藤 明 子									
11日（日）	金 澤 格	相 上 輝 昭								
12日（月）	逢 坂 宇 一									
18日（日）	菊 池 和 彦									
24日（土）	山 田 行 夫	星 野 健								
25日（日）	高 橋 利 弥	松 田 恭 一								
2月1日（日）	菅 野 恒 治	佐 藤 護 人	小 野 寺 毅							
8日（日）	臼 井 由紀子	千 葉 隆 史	千 葉 太 郎							
11日（水）	和 田 利 彦	遠 藤 直 樹								
14日（土）	加 藤 明 子									
15日（日）	三 浦 義 孝	堀 恵 二	平 野 繁							
21日（土）	金 濱 誠 己									
22日（日）	二 宮 一 見	石 川 健	沖 恵							
3月1日（日）	村 田 淳 子	村 田 正 敏	佐 藤 恵							
	齊 藤 恵 子									
8日（日）	吉 田 幹 夫	石 部 禎								
14日（土）	金 濱 誠 己	水 野 紹 夫								
15日（日）	和 田 博 泰	小田島 葉 子	黒 田 啓 美							
21日（土）	藤 島 敏 智	三 浦 義 孝								
22日（日）	谷 藤 泰 寛	中 村 浩 昭								
29日（日）	金 子 博 純	齋 藤 達 雄	玉 田 康 房							
4月6日（日）	梶 原 和 華									
12日（日）	大 浦 雅 之 子	渡 辺 保 次	朝 倉 章 子							
	佐 藤 雅 子	千 葉 太 郎								
18日（土）	二 宮 由香里	三 浦 義 孝								
19日（日）	吉 田 俊 巳	前 多 治 雄	渡 邊 聡 哉							
	清 野 雅 子									
25日（土）	金 濱 誠 己	川 村 繁 美								
26日（日）	臼 井 由紀子	河 嶋 寛	小野寺 英 恵							
	平 野 繁									
29日（水）	遠 藤 直 樹									
5月2日（土）	村 田 淳									

5月3日(日)	三浦義孝	千葉隆史	
4日(月)	本間博	三浦義孝	
5日(火)	逢坂宇一		
6日(水)	岩動孝		
9日(土)	水野紹夫		
10日(日)	小田澄	佐々木豪	千葉太郎
17日(日)	松田恭一	佐藤俊樹	
23日(土)	星野健		
24日(日)	和田博泰	石川健	
31日(日)	蒔苗剛		
6月6日(土)	小林有一		
7日(日)	永塚健		
13日(土)	齊藤恵子		
14日(日)	佐々木正孝	臼井由紀子	相上輝昭
	村田さおり		
20日(土)	金濱誠己		
21日(日)	川村光郎	菊池和彦	
27日(土)	佐々木千恵子		
28日(日)	和田博泰	今泉利雄	加藤明子
7月5日(日)	山田宏之	高橋譲	
11日(土)	村田淳		
12日(日)	青山洋二	高橋利弥	橋本真生
	千葉太郎		
19日(日)	鈴木孝輝	小野寺けい子	谷藤典子
	中村浩昭		
25日(土)	加藤明子		
26日(日)	和田博泰	吉田幹夫	堀恵二
8月1日(土)	吉田研一		
2日(日)	佐藤護人	沖藤恵雄	
9日(日)	菅野恒治	齋藤達雄	佐藤恵
	齊藤恵子		
15日(土)	和田利彦		
16日(日)	河嶋寛		
22日(土)	滝川佐波子	蒔苗剛	
23日(日)	渡辺保次	小笠原孝祐	平野繁
29日(土)	阿部弘一	三浦義孝	
30日(日)	小田島葉子	黒田啓美	
9月5日(土)	金濱誠己		
6日(日)	小野寺英恵		
12日(土)	星野健		
13日(日)	栃内秀貴	臼井由紀子	千葉太郎
19日(土)	三浦義孝		
20日(日)	佐々木美香	千葉隆史	村田正敏
	佐々木豪		
21日(月)	逢坂宇一		

9月22日(火)	本間博					
23日(水)	岩動孝					
26日(土)	水野紹夫子					
27日(日)	佐藤雅子					
10月4日(日)	渡邊聡哉子					
10日(土)	加藤明子					
12日(月)	本間博					
18日(日)	和田博	石川健			佐藤俊樹	
24日(土)	蒔苗剛	水野紹夫				
25日(日)	鎌田広基	小田			星野健	
31日(土)	森田友明					
11月1日(日)	齋藤達雄					
3日(火)	本間博					
7日(土)	金濱誠己					
8日(日)	尾形文智	三浦義孝			吉田幹夫	
14日(土)	梶原和華					
15日(日)	佐藤由香子	菊池和彦			近藤駿	
22日(日)	石井基弘	臼井由紀子			相上輝昭	
23日(月)	望月泉					
29日(日)	金澤格	村田淳			高橋俊明	
	平野繁					
12月5日(土)	金濱誠己					
6日(日)	菅野啓一					
12日(土)	金濱誠己	星野健				
13日(日)	千金太郎					
20日(日)	金能人彦	三浦義孝			小田島葉子	
23日(水)	加藤藤直樹					
26日(土)	山田行夫					
27日(日)	鈴木恒男	河嶋寛			堀恵二	
29日(火)	本間博					
【平成28年】						
1月2日(土)	逢坂宇一	三浦義孝				
3日(日)	本間博					
10日(日)	蒔苗太郎	加藤千晶			沖恵	
11日(月)	千葉太利彦					
17日(日)	和田博	高橋利弥			清野雅子	
23日(土)	佐藤恵次					
24日(日)	工藤卓一	水野紹夫人			高橋譲	
30日(土)	三浦義孝					
31日(日)	大浦雅之	渡辺保次			加藤宗彦	
2月6日(土)	金濱誠己					

2月7日(日)	原 田 達 男		
14日(日)	小 林 有 一	千 葉 隆 史	小野寺 英 恵
20日(土)	岩 勲 孝		
21日(日)	吉 田 俊 巳	和 田 博 泰	石 川 健
	谷 藤 典 子		
27日(土)	逢 坂 宇 一	星 野 健	
28日(日)	吉 田 幹 夫	佐 藤 雅 子	
3月13日(日)	渡 邊 聡 哉	中 村 浩 昭	
20日(日)	三 浦 義 孝	河 嶋 寛	千 葉 太 郎

2) 岩手西北医師会

出勤日	出勤医師	出勤日	出勤医師
【平成27年】		8月15日(土)	山 口 淑 子
1月2日(金)	山 口 淑 子	16日(日)	山 口 淑 子
24日(土)	藤 井 裕	23日(日)	藤 井 裕
2月11日(水)	山 口 淑 子	30日(日)	吉 田 雅 美
3月1日(日)	佐 渡 豊	9月5日(土)	立 本 仁
7日(土)	浮 田 昭 彦	6日(日)	須 原 富 次
8日(日)	樋 口 清 一	19日(土)	岡 本 和 美
	藤 井 裕	26日(土)	北 上 明
14日(土)	坂 井 博 毅	27日(日)	篠 村 達 雅
15日(日)	折 祖 清 蔵	10月4日(日)	藤 井 裕
22日(日)	高 橋 邦 尚	17日(土)	山 口 淑 子
	山 口 淑 子	25日(日)	藤 原 貴 光
28日(土)	村 上 英 恵	11月1日(日)	藤 井 裕
29日(日)	藤 井 裕	22日(日)	松 尾 尚
4月4日(土)	鈴 木 彰	12月13日(日)	藤 井 裕
5日(日)	木 村 久 雄	【平成28年】	
	金 井 猛 子	1月10日(日)	阿 部 郁 夫
	小豆嶋 純 子		阿 部 郁 夫
12日(日)	篠 村 達 雅	31日(日)	藤 井 裕
19日(日)	大 澤 泰 介	2月6日(日)	立 本 仁
25日(土)	立 本 仁	14日(日)	阿 部 克 久
26日(日)	阿 部 克 久	21日(日)	鈴 木 一 彦
5月17日(日)	藤 井 裕		藤 原 貴 光
31日(日)	松 尾 尚	7月5日(日)	藤 井 裕
6月13日(土)	町 田 孝	19日(日)	金 井 猛
8月1日(土)	金 森 一 郎		藤 原 貴 光
2日(日)	樋 口 清 一	2月21日(日)	篠 村 達 雅
8日(土)	植 田 修	27日(土)	藤 井 裕
9日(日)	松 井 美紀夫	3月13日(日)	藤 井 裕

3) 紫波郡医師会

出動日	出動医師	出動日	出動医師
【平成27年】		8月2日(日)	伊東宗行 早坂朗
1月11日(日)	箱崎誠司 遠藤直樹	22日(土)	藤島幹彦
17日(土)	徳永三郎	9月12日(日)	田金順弘
25日(日)	松尾力	27日(日)	南吉昇
31日(土)	伊東宗行	10月10日(土)	川守田安彦
2月1日(日)	木村達郎	11日(日)	木村達郎
3月28日(土)	田金順弘	18日(日)	生内久人
4月5日(日)	伊東宗行	24日(土)	西城精一
5月3日(日)	野崎有一	25日(日)	伊東宗行
9日(土)	関英政	11月8日(日)	加藤典博
10日(日)	志和克紀	14日(土)	松尾力
17日(日)	佐藤義浩 南吉昇	28日(土)	徳永三郎 沼里進
23日(土)	藤井正範 田金順弘	29日(日)	箱崎誠司 遠藤直樹
6月7日(日)	伊東宗行	12月6日(日)	早坂朗
14日(日)	堀江圭	20日(日)	木村達郎
20日(土)	松尾力	27日(日)	伊東宗行
21日(日)	遠藤直樹	【平成28年度】	
27日(土)	田金順弘	3月6日(日)	伊東宗行 三浦秀悦
7月20日(月)	木村宗孝	12日(土)	田金順弘
25日(土)	佐久間芳文	20日(日)	小原進

2. 岩手県医師会立高田診療所が平成28年3月20日で閉所

日 時：平成28年3月20日（日）

場 所：岩手県医師会高田診療所



東日本大震災で市街地が壊滅した陸前高田市に、岩手県医師会が平成23年8月に開設した仮設の高田診療所が3月20日をもって閉鎖され、同日、現地で閉所式が行われました。

11あった陸前高田市内の医療施設は10施設が被災し、このうち6施設が再開、大規模な仮設住宅がある第一中敷地内の高田診療所を含め2施設が新設されました。同診療所は3月20日までに、10診療科を週3日、内陸部の開業医を中心に延べ3,122人の医師、1,033人の看護師が交代で出張し住民の診察に当たり、被災地医療の一翼を担いました。患者数は2万8,194人に上りました。

閉所式終了後、達増拓也岩手県知事、石川育成岩手県医師会長、戸羽太陸前高田市長、小川彰岩手医科大学理事長より看板が外され、4年8カ月に亘り地域の医療を支えた診療所に関係者らから感謝の拍手が送られました。

この間の医療支援にご協力をいただいた盛岡市医師会員の皆様、またスタッフの皆様をはじめ、派遣の調整に当たって頂いた各診療部会に深く感謝申し上げます。

盛岡市医師会

会長 和田 利彦

岩手県医師会高田診療所出動医名簿 盛岡市医師会分

期間：平成23年 8 月 7 日～平成28年 3 月20日

岩手県医師会からの派遣

外 科 系	石川 育成	岩動 孝	遠藤 直樹	逢坂 宇一	望月 泉
内 科 系	本間 博	和田 利彦			

各診療部会からの派遣

内 科 系	青山 洋二	阿部 弘一	池田 富好	石井 基弘	白井 康雄
	内山 聡之	永塚 健	及川 慶一	大浦 雅之	大屋敬一郎
	尾形 文智	桂 泰鴻	加藤 隆幸	金澤 格	金子 博純
	金子 能人	鎌田 広基	川村 光郎	久保田公宜	児島 陽一
	佐々木正孝	佐藤 公也	佐藤由香子	澤田 哲伸	鈴木 孝輝
	鈴木 恒男	鈴木 知己	鈴木 昇	滝川佐波子	武内 健一
	柄内 秀貴	二宮 一見	二宮由香里	原田 達男	藤島 敏智
	本間 博	山田 宏之	吉田 俊巳	吉田 順子	和田 利彦

外 科 系	遠藤 直樹	池田健一郎	石田茂登男	岩見 大二	小野寺健一
	葛 泰孝	黒田 清司	坂本 公児	高橋 克郎	長野 隆行
	双木 慎	松谷 英樹	吉田 弘之	吉野 仁浩	吉野 裕之

眼 科	朝倉 章子	石部 禎	今泉 利雄	小笠原孝祐	小野寺 毅
	加藤 千晶	加藤 宗彦	近藤 駿	清野 雅子	高橋 俊明
	高橋 譲	谷藤 典子	谷藤 泰寛	玉田 康房	中島 理子
	橋本 真生	松田 恭一	三善 恵	村田さおり	村田 正敏
	森 敏郎				

小 児 科	白井由紀子	小野寺けい子	梶原 和華	金濱 誠己	菅野 啓一
	菅野 恒治	小林 有一	佐々木美香	佐藤 陽子	高砂子祐平
	高野 長邦	高橋 明雄	寺井 泰彦	中辻 幸恵	米沢 俊一
	前多 治雄	蒔苗 剛	三浦 義孝	村田 淳	森田 友明
	吉田 研一	吉田 信一	和田 博泰		

耳鼻咽喉科	相上 輝昭	石川 健	小田 澄	小田烏葉子	河嶋 寛
	菊池 和彦	齋藤 達雄	佐藤 護人	高橋 利弥	千葉 隆史
	二井 一成	村井 盛子	吉田 幹夫	渡邊 聡哉	渡辺 保次

皮 膚 科	沖 恵	小野寺英恵	黒田 啓美	佐々木 豪	佐々木洋子
	佐藤 恵	佐藤 俊樹	佐藤 雅子	中村 浩昭	堀 恵二
	森 康記				

泌 尿 器 科	赤坂俊太郎	岩動 孝	逢坂 宇一	大日向 充	加藤 香廉
	川村 繁美	工藤 卓次	佐々木千恵子	品川 剛廣	清野 耕治
	長根 裕	沼里 進	船木 廣英	山田 行夫	

心 療 内 科	加藤 明子	齊藤 恵子	千葉 太郎	平野 繁	星野 健
	水野 紹夫				

五十音順・敬称略

VI 救急医療年譜

- 昭和40.1.10 休日当番医制発足（内科、一日2ヵ所）
- 41.7 休日当番医制に小児科および外科（それぞれ1日1ヵ所）が参加
- 51.12.1 盛岡市夜間急患診療所が少年センター内（中の橋際、旧商工会議所）に開設
- 53.3 岩手県医薬課より岩手県医師会、盛岡市医師会に二次体制確立要請
- 53.6.16 盛岡市夜間急患診療所開設1周年記念式典開催
- 54.12.1 盛岡地区二次救急医療体制発足、二次救急病院群輪番制9病院にて開始
 岩手県立中央病院 盛岡市立病院 盛岡赤十字病院
 岩手医科大学附属病院 遠山病院 高松病院
 栃内病院 河南病院 はらた病院
- 55.11.1 岩手県高次救急センター開設
- 56.9.10 盛岡市夜間急患診療所開設5周年記念懇談会開催
- 56.12 内丸病院が二次救急病院群輪番制に参加
- 57.2.6 盛岡市夜間急患診療所が若園町・市役所若園町分庁舎1階に移転、診療開始
- 57.10.15 盛岡市夜間急患診療所診療時間の変更（夜8:00～12:00→夜7:30～11:30）
- 58.7 はらた病院が二次救急病院群輪番制を辞退
- 62.11.1 盛岡市夜間急患診療所が肴町盛岡市保健センター2階に新築移転、診療開始
- 62.11.14 盛岡市夜間急患診療所落成式開催
- 平成5.1 河南病院が二次救急病院群輪番制を辞退
- 4.4.1 盛岡市・都南村合併
- 7.4.1 盛岡繋温泉病院・盛岡友愛病院・川久保病院が二次救急病院群輪番制に参加
 輪番病院を南北2ヶ所におく
- 8.12.7 盛岡市夜間急患診療所開設20周年記念式典開催
- 11.4.1 小児救急病院群輪番制7病院にて開始
 岩手県立中央病院 盛岡市立病院 盛岡赤十字病院
 岩手医科大学附属病院 川久保病院 国立療養所盛岡病院
 もりおかこども病院
- 11.11.1 盛岡市夜間急患診療所診療時間の変更（夜7:30～11:00→夜7:00～11:00）
- 12.4.1 国立療養所盛岡病院が二次救急病院群輪番制に参加
- 12.9.1 南北にそれぞれおいていた輪番病院をA、Bの二グループに変更
 Aグループ
 岩手県立中央病院 盛岡赤十字病院 岩手医科大学附属病院
 Bグループ
 盛岡市立病院 遠山病院 高松病院 栃内病院 内丸病院
 盛岡繋温泉病院 盛岡友愛病院 川久保病院 国立療養所盛岡病院
- 13.2.22 盛岡地区二次救急医療体制20周年記念式典開催
- 14.2.1 岩手県高次救急センターを「岩手県高度救命救急センター」と改称
- 14.9.1 国立療養所盛岡病院が小児救急病院群輪番制を休止
- 16.10.1 看護師によるこども救急電話相談の開設
- 17.4.1 川久保病院が小児救急病院群輪番制を休止
- 17.9.1 西根町・松尾村・安代町が合併し「八幡平市」となる
- 18.1.10 玉山村が盛岡市と合併

- 19.3.24 盛岡市夜間急患診療所開設30周年を祝う会開催
- 19.4.1 盛岡市立病院が小児救急病院群輪番制を休止（産婦人科も休止）
- 20.4.1 内丸病院が二次救急病院群輪番制を辞退
- 20.4.1 盛岡市が中核市となる
盛岡市夜間急患診療所が盛岡市保健所（神明町：旧競馬会館ビル）に移転開設
- 20.6.14 岩手・宮城内陸地震発生（最大震度6強）
- 20.6 盛岡市医師会災害時対応マニュアルの作成（全会員へ送付）
- 20.7.24 岩手県沿岸北部を中心とする地震発生（最大震度6強）
- 21.1 川久保病院が小児救急病院群輪番制を再開
- 21.3 メキシコにおける豚インフルエンザの発生
- 21.5 新型インフルエンザの国内発生
- 21.6 新型インフルエンザの県内発生
- 21.10 夜間急患診療所小児科診療を2人体制で対応（H22.1.3まで）
- 21.11.26 盛岡地区二次救急医療体制30周年記念式典開催
- 22.4.1 八角病院が二次救急病院群輪番制に参加（B群病院として）
- 23.3.11 東北太平洋沖地震発生（後に東日本大震災）
PM2:46発災、最大震度9.0、津波による死者・行方不明者19,000人超
- 23.3.12 遺体検案応援が始まる（盛岡市・岩手郡・紫波郡医師会は6月まで応援）
- 23.5.7 山田町保健センター救護所への当直応援開始（7/3まで）
※盛岡医師会・岩手郡医師会・二戸医師会で派遣対応
- 23.7.10 岩手県立山田病院 仮設診療所への日曜・祝祭日の当直応援開始
※盛岡医師会・岩手郡医師会・二戸医師会で派遣対応
- 23.8.7 岩手県医師会高田診療所への診療応援開始
※各診療部会で派遣対応
- 24.5.8 岩手県による「ドクターヘリ」が運行開始（岩手医大矢巾岬パース基地）
- 24.12.30 岩手県立山田病院 仮設診療所への日曜・祝祭日の当直応援終了
- 25.8.9 大雨により「大雨・洪水警報」発令
雫石町国道46号線付近で乗用車・バスが孤立、消防本部による救助活動有
- 25.9.16 台風18号の影響により玉山区の松川が氾濫、浸水地域で消防本部による救助活動有
- 26.1.1 滝沢村が「滝沢市」となる26.1.1
- 28.3.20 岩手県医師会高田診療所への診療応援終了（閉所式）

Ⅶ 規程・協定書及び設置要項等資料

1. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則

(昭和52年2月1日盛岡市長決裁)

改正 昭和52年4月19日

昭和55年12月1日

平成9年4月1日

平成20年4月1日(平成20年4月1日副市長専決)

平成22年4月1日(平成22年3月3日副市長専決)

平成24年6月1日(平成24年5月30日副市長専決)

第 1 条 盛岡市夜間急患診療所(以下「診療所」という。)の円滑な運営を図るため、盛岡市夜間急患診療所運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

第 2 条 協議会は、次に掲げる団体等をもって組織し、事務局を盛岡市保健所企画総務課内に置く。

- (1) 盛岡市医師会
- (2) 盛岡薬剤師会
- (3) 岩手県看護協会
- (4) 盛岡市

第 3 条 協議会は、次に掲げる事項について協議決定の推進に努めるものとする。

- (1) 診療所における医師その他従事者の勤務に関すること。
- (2) 診療所において生じた事故処理に関すること。
- (3) 診療所の事務改善に関すること。
- (4) その他診療所の運営に必要な事項に関すること。

第 4 条 前条各号に掲げる事項を審議するため、協議会に次の各号に掲げる構成団体の区分に応じ、当該各号に定める数の委員を置く。

- (1) 盛岡市医師会 7人
- (2) 盛岡薬剤師会 2人
- (3) 岩手県看護協会 1人
- (4) 盛岡市 2人

第 5 条 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。協議会に会長及び副会長1人を置く。

- (1) 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- (2) 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

第 6 条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。

第 7 条 協議会の事務を処理させるため、協議会に事務局長及び事務局職員を置く。
2 事務局長は盛岡市職員のうちから、事務局職員は構成団体職員のうちから会長が委嘱する。

第 8 条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、昭和52年4月19日から施行する。

附 則

この規約は、昭和55年12月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1 この規約は、平成24年6月1日から施行する。

2 第4条の2の規定によらず、平成24年6月1日から委嘱する委員の任期については、平成24年6月1日から平成26年3月31日までの1年10か月とし、その後に委嘱する委員の任期については、従前のとおりとする。

2. 災害時の医療救護活動に関する協定書

盛岡市医師会長 石川 育成

近時、集団災害時医療救助の体制確立は大きな社会問題であると同時に焦眉の急である。

外国に目を移すとその救助活動は目を見張るものであり、残念乍ら我が国は「富国日本は金も出さず人も出さず国際的役割を果たしていない」と批判的であると言う。国内の体制が整備されない現実を視ればそれも頷かざるをえない事実であろう。

過去を省みるまでもなく、国内に発生した集団災害の医療救助体制は付け焼刃であり必ずしも満足出来るものではない。災害対策基本法に基づいて夫々の地方自治体に体制が現存するとは言え、過去においてその体制の本格的作動は皆無に近い。

地方小都市と言えども集団災害に無縁ではない。近年の高層ビルの林立は集団災害発生 の 素地を有し、飛行機事故、大地震、津波等々の発生予見は不可能である。斯かる事態発生を想定しての医師集団率先による具体的体制確立が急務であることは言を待たない。

盛岡市医師会は数年来、斯かる問題に鋭意検討、研究を重ねて来たところであるが、出勤時の死傷補償が大きな壁であった。然し乍ら補償問題決着の待事では埒があかず、体制確立と平行しての行政接衝を条件とし、医道・医心を弁えた会員の総意による『盛岡市医師会災害救助隊設置要項』が昭和61年5月の総会承認を得たのである。

此の度盛岡市当局は勇断をもって盛岡市医師会との協定を締結したが、この協定は医師集団の理念を充分理解したものであり、この実績が県内各市町村に波及する事によって15郡市医師会の足並みが完全に揃い、岩手県医師会の提唱する大目的が達成される原動力になる事を期待するものである。

此の種の問題は画一的にとらえて実行に移す事は極めて困難な部分が多い。地域環境、会員数等々の地域事情も考慮しなければならないが、災害における人命救助活動は医師集団の組織活動力以外にない。地域事情の困難性を越えての体制作りこそ医師集団への期待と信頼が倍加する事になろう。

岩手県医師会は災害救助体制確立を急務としている。底辺からの対応策の集積が「岩手県と岩手県医師会」「岩手県医師会と郡市医師会」「郡市医師会と市町村」「岩手県と市町村」の協定図式の基盤となる事は明白である。

「盛岡地区救急医療体制のあゆみ 1988」より

①岩手県と岩手県医師会との協定書

岩手県（以下「甲」という。）と社団法人岩手県医師会（以下「乙」という。）は災害時における医療救護について、次のとおり協定を締結する。

（趣 旨）

第1条 この協定は岩手県地域防災計画に基づき、甲が行う医療救護に対する乙の協力に関し、必要な事項を定めるものとする。

（医療班の派遣）

第2条 甲は、岩手県地域防災計画に基づき、医療救護活動を実施する必要がある場合は、乙に対し医療班の編成及び派遣を要請するものとする。

2 乙は、前項の規定により甲から要請を受けた場合は、直ちに医療班を編成し災害現場等の救護所等に派遣するものとする。

（自主出動）

第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待ついとまがないときは、自主的に被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療班を派遣する必要があると認めた場合は、自主的に医療班を編成して、派遣することができる。

2 乙は、前項の規定により医療班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。

3 乙が前項の規定により派遣した後において、甲が前条に基づき医療班の派遣が必要と認めたときは、乙が派遣したときに要請があったものとみなす。

（災害医療救護計画）

第3条 乙は、前2条の規定により医療救護活動の円滑な実施を図るため、災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出するものとする。

（医療班に対する指揮）

第4条 医療救護活動の総合調整を図るため、乙が派遣する医療班に対する指揮は、甲が指定するものを行う。

（医療班の業務）

第5条 乙が派遣する医療班は、甲または市町村が避難所及び災害現場等に設置する救護所において医療救護活動を行うことを原則とする。

2 医療班の業務は次の通りとする。

- (1) 傷病者に対する応急処置及び医療
- (2) 傷病者の収容医療機関への転送の要否及び転送順位の決定
- (3) 被災者の死亡の確認

（医薬品等の供給）

第6条 乙が派遣する医療班が使用する医薬品等は、当該医療班が携行するもののほか、甲が供給するものとする。

(収容医療機関の指定)

第7条 乙は、甲が傷病者の収容医療機関を指定しようとするときは、これに協力するものとする。

(医療費)

第8条 救護所における医療費に無料とする。

2 収容医療機関における医療費は、原則として患者負担とする。

(費用の弁償等)

第9条 甲の要請に基づき、乙が医療救護活動を実施した場合に要する次の費用は、甲が負担するものとする。

- (1) 医療班の編成及び派遣に要する経費
- (2) 医療班が携行した医薬品等を使用した場合の実費
- (3) 医療班員が医療救護活動において負傷し、疾病にかかりまたは死亡した場合の扶助金
- (4) 前各号に該当しない費用であって、この協定実施のために要したもの

(細 目)

第10条 この協定を実施するための必要な事項については、別に定める。

(協 議)

第11条 この協定に定めのない事項、またはこの協定に関し疑義が生じた事項については、甲乙協議のうえ定めるものとする。

(有効期間)

第12条 この協定の有効期間は、協定の締結の日から起算して1年間とする。ただし、この協定の有効期間満了の日の1月前までに、甲乙いずれからも何らかの意思表示がないときは、有効期間満了の日の翌日から起算して1年間この協定は延長され、以降同様とする。

この協定を証するため、本書2通を作成し、甲乙者記名押印のうえ、各自その1通を保有する。

平成10年3月19日

甲 岩 手 県

代表者 岩手県知事 増 田 寛 也

乙 盛岡市菜園二丁目8番20号

社団法人 岩手県医師会

会 長 石 川 育 成

②岩手県医師会と盛岡市医師会との協定書

社団法人岩手県医師会（以下「甲」という。）と社団法人盛岡市医師会（以下「乙」という。）とは、平成元年４月20日岩手県知事と岩手県医師会長との間に締結された「災害時の医療救護に関する協定書」に基づき、災害時の医療救護活動について、次のとおり協定を締結する。

（総 則）

第1条 この協定書は、岩手県地域防災計画に基づき、岩手県が行う医療救護活動に対し、岩手県知事と岩手県医師会長との間に協定された災害時の医療救護活動についての乙の協力に関し、必要な事項を定める。

（医療救護班の派遣）

第2条 甲は、医療救護活動を実施する必要が生じた場合は乙に対し、医療救護班の派遣を要請するものとする。

2 乙は、前項の協定により、甲から要請を受けたときは、直ちに乙の災害医療救護計画に基づき、医療救護班を派遣するものとする。

（自主出動）

第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待ついとまがないときは、自主的に被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療班を派遣する必要があると認めた場合は、自主的に医療班を編成して、派遣することができる。

2 乙は、前項の規定により医療班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。

3 乙が前項の規定により派遣した後において、甲が前条に基づき医療班の派遣が必要と認めたときは、乙が派遣したときに要請があったものとみなす。

（災害医療救護計画）

第3条 乙は、医療救護活動の円滑な実施を図るため災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出するものとする。

（指揮命令）

第4条 医療救護班に係る指揮命令及び医療救護活動の連絡調整は、甲の指定する者が行うものとする。

（医療救護班の業務）

第5条 乙が派遣する医療救護班は、岩手県または市町村が避難場所、避難所及び災害現場等に設置する救護所において医療救護を行う。

2 医療救護班の業務は次のとおりとする。

- (1) 傷病者に対する応急処置及び医療
- (2) 傷病者の収容医療機関への転送の要否及び転送順位の決定
- (3) 被災者の死亡の確認

（医薬品等の供給）

第6条 乙が派遣する医療救護班が使用する医薬品等は、当該医療救護班が携行するもののほか、原則として岩手県が供給するものとする。

（収容医療機関の指定）

第7条 乙は、岩手県が地域防災計画に基づく収容医療機関を指定しようとするときは、これに協力するものとする。

(医療費)

第8条 救護所における医療費は無料とする。

2 収容医療機関における医療費は、原則として患者負担とする。

(費用弁償等)

第9条 甲の要請に基づき、乙が医療救護活動を実施した場合に要する次の費用については、乙が甲に請求するものとする。

(1) 医療救護班の編成及び派遣に要する経費

(2) 医療救護班が携行した医薬品等を使用した場合の実費

(3) 医療救護班員が医療救護活動において負傷し、疾病にかかり、または死亡した場合の扶助金

(4) 前各号に該当しない費用であって、この協定実施のために要したもの

2 前項第1号、第2号の定めにより請求する費用弁償等の額については、岩手県知事と岩手県医師会長との間に締結された「災害時の医療救護に関する協定書及び同実施細則」によるものとする。

(費用弁償等の請求、報告)

第10条 前条の定めによる費用弁償等の請求、報告については、医療救護活動終了後、速やかに乙が一括して別に定める方式により甲に請求、報告するものとする。

(費用弁償等の支払)

第11条 甲は、乙からの請求、報告に基づき費用弁償等を岩手県へ請求するものとし、岩手県から入金後速やかに乙に支払うものとする。

(協 議)

第12条 前各条に定めのない事項及び協定実施にあたって疑義を生じた場合には、甲乙協議のうえ決定するものとする。

(有効期間)

第13条 この協定の有効期間（以下「協定期間」という。）は、協定の締結の日から起算して1年間とする。ただし、この協定の有効期間満了の日の1月前までに、甲乙いずれからも何らかの意思表示がないときは、有効期間満了の日の翌日から起算して1年間この協定は延長され、以降同様とする。

この協定を証するため、本書2通を作成し、甲乙両者記名押印のうえ各自その1通を保有する。

平成10年3月31日

岩手県盛岡市菜園二丁目8番20号

甲 社団法人 岩手県医師会
会 長 石 川 育 成

岩手県盛岡市愛宕町18番6号

乙 社団法人 盛岡市医師会
会 長 小 林 高

③盛岡市と盛岡市医師会との協定書

盛岡市（以下「甲」という。）と社団法人盛岡市医師会（以下「乙」という。）とは、災害が発生した場合の医療救護活動について、次のとおり協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、盛岡市地域防災計画（以下「防災計画」という。）に基づき、甲が乙の協力を得て行う医療救護活動を円滑に実施するため、その実施に関し必要な事項を定めるものとする。

（医療救護班の派遣）

第2条 甲は、防災計画に基づく医療救護活動を行う必要が生じたときは、乙に対し、医師、看護婦等で編成する医療救護班（以下「医療救護班」という。）の派遣を要請するものとする。

2 乙は、前項の規定により甲の要請を受けたときは、直ちに、医療救護班を甲の指定する場所に派遣するものとする。

第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待ついとまがないときは、自主的に被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療救護班を派遣する必要があると認めた場合は、自主的に医療救護班を編成して、派遣することができる。

2 乙は、前項の規定により医療救護班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。

（医療救護班の業務）

第3条 医療救護班の業務は、次のとおりとする。

- (1) 傷病者に対する応急処置
- (2) 後送医療施設への転送の要否及び転送順位の決定
- (3) 助産
- (4) 死亡の確認

（医療救護班の輸送）

第4条 医療救護班の輸送は、原則として甲が行う。

（救護所の設置）

第5条 甲は、災害の状況により必要に応じて救護所を設置する。

2 甲は、前項に定めるもののほか、災害の状況により必要と認めたときは、医療救護活動が可能な被災地周辺の医療施設に乙の協力を得て救護所を設置する。

（使用医薬品等）

第6条 医療救護活動に使用する医薬品、医療材料その他医療関係物品（以下「医療品等」という。）は、原則として甲が備える医薬品等とする。

2 前項の医薬品の輸送は、原則として甲が行う。

（救護所における給食等）

第7条 救護所において必要とする給食及び給水は、甲が行う。

（医療費）

第8条 救護所における医療費は、無料とし、患者に対しては請求しないものとする。

2 後送医療施設における医療費は、患者が負担する。

(費用弁償)

第9条 甲は、次の各号に掲げる費用について、当該各号に定める額を負担する。

- (1) 医療救護班を派遣したときの人件費 災害救助法（昭和22年法律第118号）の規定に基づく実費弁償の程度を基準として、甲、乙協議して定める額
- (2) 医療救護班が調達した医薬品等を使用したときのその使用した医薬品等の費用実費の額
- (3) 後送医療施設及び救護所において行った医療救護活動に伴い、当該後送医療施設及び救護所の施設又は設備を損傷したときの当該施設又は設備の現状回復に要する費用 実費の額
- (4) 前各号に該当しない費用で、この協定実施のため要したもの 甲、乙協議して定める額

(扶助費)

第10条 甲は、医療救護班の医師、看護婦等が医療救護活動において負傷し、疾病にかかり、又は死亡したときは、災害救助法の規定に基づき支給される扶助金の例により扶助費を支給する。

(医事紛争の措置)

第11条 医療救護班が医療活動により患者との間に医事紛争が生じたときは、乙は、直ちに甲に連絡するものとする。

2 甲は、前項の連絡を受けたときは速やかに調査し、乙と協議の上誠意をもって解決のため適当な措置を構ずるものとする。

(報告)

第12条 乙は、医療救護活動終了後速やかに甲の定めるところにより医療救護活動従事者の氏名及び人数その他医療救護活動の内容を、甲に報告するものとする。

(費用等の請求)

第13条 乙は、第9条の費用及び第10条の扶助費（以下「費用等」という。）を請求するときは、甲の定めるところにより行うものとする。

(支払)

第14条 甲は、前条の規定により費用等の請求があったときは、その内容を審査し、適当であると認めたときは、その費用等を乙に支払うものとする。

(協議)

第15条 この協定に定めのない事項又はこの協定について疑義が生じた事項については、甲、乙協議して定める。

(協定期間)

第16条 この協定の有効期間は、昭和62年10月1日から昭和63年3月31日までとする。ただし、この協定の有効期間満了前1月までに甲、乙いずれかから何ら意思表示がないときは、更に期間満了の翌日から1年間この協定を更新するものとし、以後この例による。

この協定の締結の証として、本書2通を作成し、甲、乙記名押印して、それぞれその1通を保有するものとする。

平成11年11月15日

甲 盛岡市
代表者 盛岡市長 桑 島 博

乙 盛岡市愛宕町18番6号
社団法人盛岡市医師会
会 長 小 林 高

３．盛岡地区二次救急医療対策委員会 設 置 要 項

（設 置）

第 1 条 盛岡市医師会に二次救急医療対策委員会（以下委員会という）を置く。

（所 掌）

第 2 条 委員会は次に掲げる事項を審議する。

- (1)盛岡地区に於ける救急医療対策に関する事項
- (2)その他二次救急医療対策に伴う必要な事項

（構 成）

第 3 条 委員会は盛岡市医師会会長が任命した委員をもって構成し、委員会に若干名の常任委員を置く。

（任 期）

第 4 条 委員の任期は盛岡市医師会役員の任期と同じとする。

（委 員 長）

第 5 条 委員会に委員長を置き委員長は盛岡市医師会会長とする。

- (1)委員長は会務を総括し会議の議長となる
- (2)委員長が事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する

（会 議）

第 6 条 委員会の会議は必要に応じて委員長が招集する。

- (1)会議は委員会と常任委員会の二種とする
- (2)委員長は必要があるときは関係者を出席させ説明又は意見を求めることが出来る

（会議の結果）

第 7 条 委員会は必要に応じて審議した結果を速やかに医師会会長に報告する。

第 8 条 本委員会の庶務は盛岡市医師会事務局に於いて処理する

（経 費）

第 9 条 委員会の経費は補助金、関連医療機関からの拠出金及びその他の収入金をもって充てる。

- (1)拠出金の額は毎年 3 月に委員会に於いて審議決定する

附 則

第 10 条 この要項は昭和55年4月1日から施行する。

この会則は、平成2年4月1日一部改正する。

この会則は、平成7年4月1日一部改正する。

この会則は、平成8年4月1日一部改正する。

この会則は、平成9年4月1日一部改正する。

この会則は、平成12年4月1日一部改正する。

この会則は、平成20年4月1日一部改正する。

この会則は、平成22年4月1日一部改正する。

この会則は、平成24年6月26日一部改正する。

付 表

一委 員一

岩手医科大学附属病院 院長 他4名

岩手県立中央病院 院長 他1名

盛岡赤十字病院 院長 他1名

盛岡市立病院 院長 他1名

高松病院 院長 1名

栃内病院 院長 1名

遠山病院 院長 1名

盛岡繋温泉病院 院長 1名

盛岡友愛病院 院長 1名

川久保病院 院長 1名

独立行政法人国立病院機構盛岡病院 院長 1名

もりおかこども病院 院長 1名

八角病院 院長 1名

夜間急患診療所運営委員 4名

盛岡市医師会理事 8名

岩手西北医師会 会長 1名

紫波郡医師会 会長 1名

その他 若干名

以上 37名以内

VIII 編集後記

平成27年度は、感染症の流行や大きな事故、災害がなく穏やか1年であった。東日本大震災の災害医療活動の記録として、岩手県医師会立高田診療所へ派遣された関係医師会の医師名を掲載してきたが、同診療所は平成28年3月20日に役目を終え閉所した。医療の復興が進んでいることとして喜ぶたい。長期にわたり支援していただいた各医師に敬意を表します。また名簿には掲載されていない多くのスタッフが関わっていたことも忘れてはならない。

本年4月に熊本地震が発生し、本県からもDMAT、日赤、県医療班をはじめ、多くの医療関係者が医療支援に向かった。大災害を経験し全国から支援を受けた側として、いろいろな思いで熊本の被災者支援を行ったものと思う。悲しいことに日本は5～10年に同様の災害に見舞われるようだ。古からそれを乗り越えてきた歴史がある。医療者としてその教訓を引き継いでいかなければならない。

吉田消防長氏のご挨拶にあるように、盛岡中央消防署が新築移転した。いろいろな新しい設備が入り、これまでより現場到着時間の短縮し現場活動がより高度になるそうである。高規格救急車も増加し、ドクターヘリの出動回数、協働活動も増加しており、さらなる救命救急活動を期待したい。

※盛岡地区救急医療体制のあゆみ編集委員

和田利彦・千田勝一・近藤公亮・野崎英二
吉田耕太郎・金子博純・本間博・久保田公宜
金濱誠己・小林有一・臼井由紀子・久保直彦

盛岡地区救急医療体制のあゆみ

2016

発行日 平成28年9月9日

発行者 盛岡市

盛岡市医師会

盛岡地区二次救急医療対策委員会

印刷所 南博光出版